

令和 6 年度
日常生活圏域ニーズ調査
調査結果報告書

令和 7 年 3 月

行 橋 市

< 目 次 >

第 1 章 調査の概要	1
1. 調査の目的	1
2. 調査設計及び回収結果	1
3. 調査結果の見方	1
第 2 章 回答者の基本属性・生活状況	2
1. 基本属性	2
(1) 性別	2
(2) 年齢階層	2
(3) 居住地区	3
2. 家族や生活状況について	5
(1) 世帯構成	5
(2) 介護・介助の必要性	6
(3) 介護・介助が必要になった主な原因	7
(4) 主な介護・介助者	7
(5) 経済的な暮らしの状況	8
(6) 住まいの形態	9
第 3 章 生活機能等の評価・判定結果	10
1. 介護予防日常生活支援・総合事業対象者の該当状況	10
2. 評価・判定結果の概要（リスク該当者割合一覧）	12
3. 評価・判定結果の詳細	14
(1) 虚弱	14
(2) 運動器	16
(3) 閉じこもり予防	18
(4) 栄養	20
(5) 口腔	22
(6) 認知症予防	24
(7) うつ予防	26
(8) 手段的自立度（IADL）	28
(9) 知的能動性	30
(10) 社会的役割	32
(11) 老研指標総合評価	34
第 4 章 生活機能等に関する詳細調査項目	36
1. 運動・閉じこもりについて	36
(1) 運動や外出の状況	36
(2) 外出を控えている理由	38
(3) 外出時の移動手段	40
2. 転倒について	42
(1) 転倒の状況	42

3. 口腔・栄養について.....	44
(1) 体重等の状況	44
(2) 口腔の状況	46
(3) 歯の数と入れ歯の利用状況	48
(4) 誰かと食事をとにする頻度	50
4. 認知機能について.....	51
(1) 物忘れの状況	51
5. 日常生活について.....	53
(1) 手段的自立度（IADL）の状況	53
6. 社会参加について.....	55
(1) 社会参加の状況	55
(2) 地域活動や趣味活動への参加状況	57
(3) 地域づくりへの参加意向	59
(4) たすけあいの状況	60
(5) 家族や友人・知人以外の相談相手	61
(6) 友人関係について	62
7. 健康について.....	63
(1) 主観的健康感	63
(2) 主観的幸福感	65
(3) うつ傾向について	67
(4) 飲酒・喫煙の状況	69
(5) 疾病の状況	70
8. 自身や家族の認知症の有無や認知症に関する相談窓口の把握について.....	72
参考資料.....	74
1. 調査票	74
2. 生活機能等の評価・判定方法	88
(1) 基本チェックリストによる介護予防事業対象者及びリスク該当者.....	88
(2) 老研式活動能力指標による評価	90

第1章 調査の概要

1. 調査の目的

本調査は市内の日常生活圏域（中学校区）ごとに高齢者の生活実態や課題などを把握することにより、特にリスクが高い回答者を中心に訪問を行い、また介護予防事業を展開していくことで、生活習慣の振り返りや健康への意識を高めることを目的とする。

2. 調査設計及び回収結果

調査対象と 標本数	要介護1～5の認定を受けていない65歳以上の高齢者：3,000人 [無作為抽出] (転出者などの調査対象外20件を含む)
調査方法	郵送配布－郵送回収
有効回収数 (率)	2,003人 (67.2% = $2,003 / 2,980 \times 100$)
調査期間	令和6年11月27日～12月27日 (回収予備期間 令和7年1月13日まで)

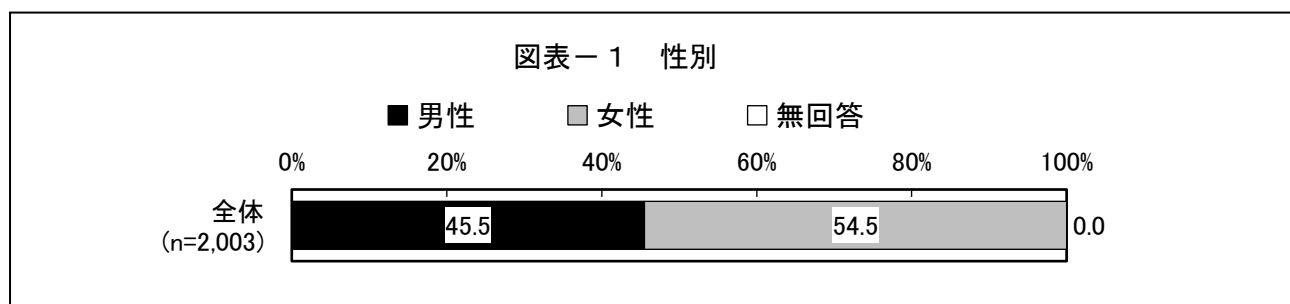
3. 調査結果の見方

- 回答は、原則として各質問の調査数を基数（n）とした百分率（%）で表し、小数第2位を四捨五入している。このため、百分率の合計が100%にならない場合がある。また、2つ以上の回答ができる複数回答の質問では、回答比率の合計が100%を超える場合がある。
- クロス集計の表側に使用している「性・年齢別」「圏域別」「小学校区別」等の基本属性では、副問（サブクエスチョン）等の回答者が限定される質問もあるため、図表中の表側項目の調査数を合計しても、必ずしも調査の有効回収数にならない場合がある。
- クロス集計等において、基数（n）となる調査数が少数となる場合は参考までに数値を見る程度に留め、結果の利用には注意を要する。
- 本文または図表中の質問文及び回答選択肢については、コンピュータ入力の都合上、省略して表記している場合があるため、詳細は「参考資料 1. 調査票」を参照のこと。

第2章 回答者の基本属性・生活状況

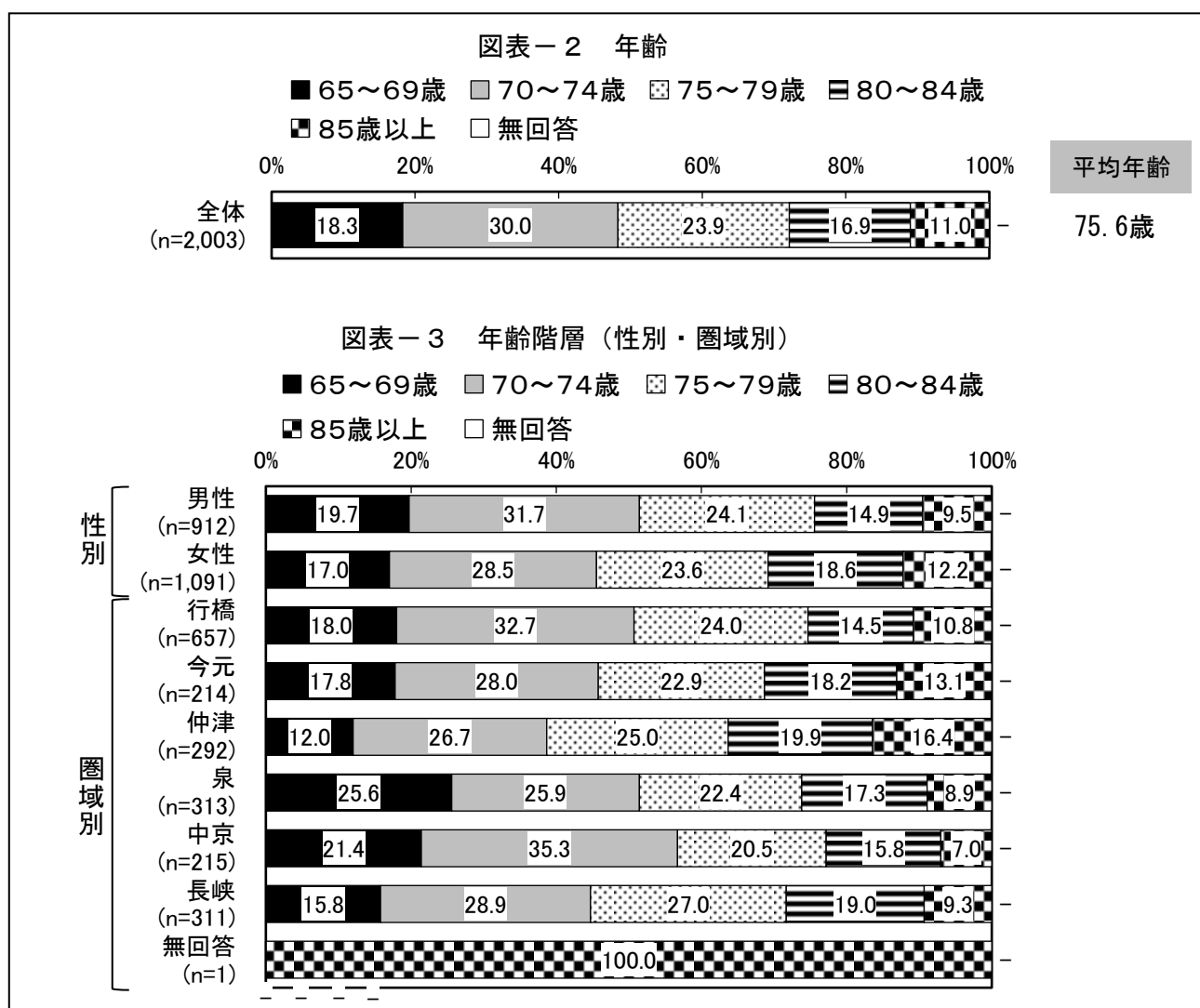
1. 基本属性

(1) 性別



回答者は全体で2,003人となっており、性別は「男性」が45.5%、女性が54.5%となっている。

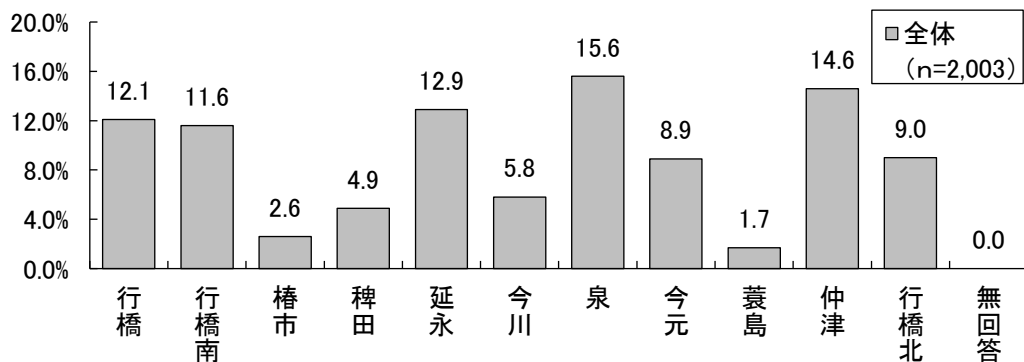
(2) 年齢階層



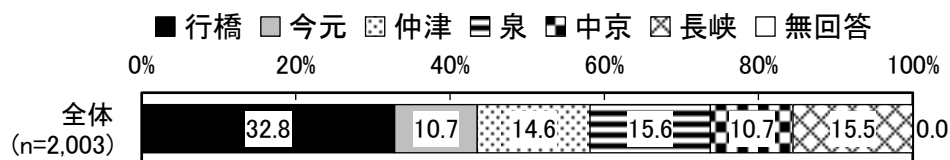
回答者の年齢階層は「70～74歳」が30.0%と最も高く、次いで「75～79歳」が23.9%となっている。性別にみると、男性の方が女性と比べて「70～74歳」の割合が高く、「85歳以上」の割合が低い傾向にある。圏域別にみると、仲津では75歳以上の後期高齢者の割合が61.3%と最も高く、中京は後期高齢者の割合が43.3%と低くなっている。

(3) 居住地区

図表－4 居住地区（小学校区）



図表－5 居住地区（圏域）



<小学校区と圏域の関係>

圏域	小学校区
行橋	行橋・行橋南・行橋北
今元	今元・蓑島
仲津	仲津
泉	泉
中京	稗田・今川
長峽	椿市・延永

回答者の居住地区を小学校区でみると、「泉校区」（15.6%）が最も高く、次いで「仲津校区」（14.6%）、「延永校区」（12.9%）の順に続く。

圏域別にみると「行橋」が32.8%と最も高く、次いで「泉」が15.6%、「長峽」が15.5%の順に続く。

図表－6 性・年齢別 居住地区（圏域）

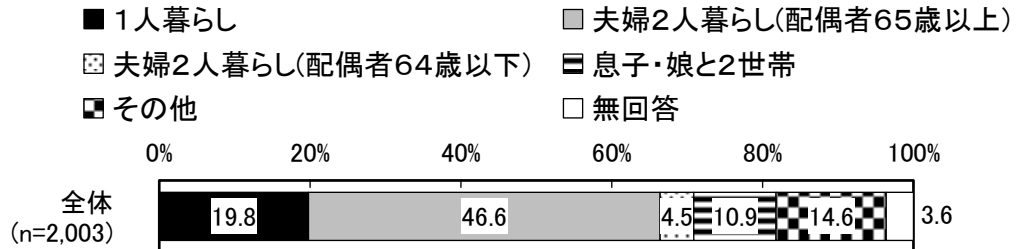
単位：％

		調査数 「人」	行橋	今元	仲津	泉	中京	長峽	無回答
全 体		2,003	32.8	10.7	14.6	15.6	10.7	15.5	0.0
性・年齢別	【男性 計】	912	31.0	11.0	14.7	17.0	10.3	15.9	0.1
	65～69歳	180	30.6	8.9	9.4	24.4	13.3	13.3	－
	70～74歳	289	37.4	10.4	12.1	14.9	11.1	14.2	－
	75～79歳	220	28.2	11.8	15.9	15.5	9.5	19.1	－
	80～84歳	136	25.7	9.6	19.1	17.6	9.6	18.4	－
	85歳以上	87	26.4	17.2	24.1	11.5	4.6	14.9	1.1
	【女性 計】	1,091	34.3	10.4	14.5	14.5	11.1	15.2	－
	65～69歳	186	33.9	11.8	9.7	19.4	11.8	13.4	－
	70～74歳	311	34.4	9.6	13.8	12.2	14.1	15.8	－
	75～79歳	258	37.2	8.9	14.7	14.0	8.9	16.3	－
	80～84歳	203	29.6	12.8	15.8	14.8	10.3	16.7	－
	85歳以上	133	36.1	9.8	20.3	13.5	8.3	12.0	－
	無回答	－	－	－	－	－	－	－	－

2. 家族や生活状況について

(1) 介護・介助の必要性

図表－7 世帯構成



図表－8 性・年齢別、圏域別 世帯構成

単位: %

	調査数「人」	1人暮らし	夫婦2人暮らし（配 偶者65歳以上）	夫婦2人暮らし（配 偶者64歳以下）	息子・娘との2世帯	その他	無回答	
全 体	2,003	19.8	46.6	4.5	10.9	14.6	3.6	
性・年齢別	【男性 計】	912	12.3	52.4	7.8	9.8	13.9	3.8
	65～69歳	180	12.2	26.1	29.4	7.8	21.1	3.3
	70～74歳	289	14.9	56.1	3.1	10.4	12.8	2.8
	75～79歳	220	8.6	63.6	1.8	10.0	12.7	3.2
	80～84歳	136	10.3	59.6	2.9	11.0	11.0	5.1
	85歳以上	87	16.1	55.2	1.1	9.2	10.3	8.0
	【女性 計】	1,091	26.0	41.8	1.8	11.8	15.1	3.4
	65～69歳	186	15.6	46.2	5.9	11.3	20.4	0.5
	70～74歳	311	22.2	49.8	1.0	12.5	12.5	1.9
	75～79歳	258	24.8	50.4	1.2	6.2	14.3	3.1
	80～84歳	203	35.5	32.0	0.5	13.8	11.8	6.4
85歳以上	133	37.6	15.0	1.5	18.8	20.3	6.8	
無回答	－	－	－	－	－	－	－	
圏域別	行橋	657	24.0	41.7	5.0	11.7	13.5	4.0
	今元	214	17.3	50.5	3.3	11.7	14.0	3.3
	仲津	292	18.8	49.7	3.1	8.2	16.4	3.8
	泉	313	17.9	46.6	5.1	12.8	14.4	3.2
	中京	215	20.0	47.4	2.8	9.8	17.7	2.3
	長峽	311	15.1	50.8	6.4	10.0	13.5	4.2
	無回答	1	－	100.0	－	－	－	－

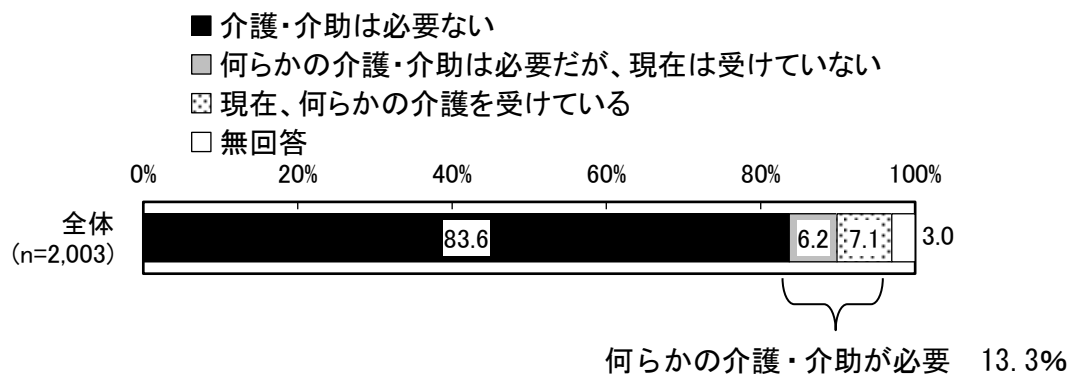
世帯構成は「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」の割合が46.6%と最も高く、次いで「1人暮らし」(19.8%)、「その他」(14.6%)と続く。

男女ともに「夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)」の割合が最も高くなっている。また、女性では、年齢が上がるにつれて「1人暮らし」の割合が高くなっている。

圏域別にみると、行橋では「1人暮らし」の割合が24.0%と他の圏域と比べて高くなっている。

(2) 介護・介助の必要性

図表－9 介護・介助の必要性



図表－10 性・年齢別 介護・介助の必要性

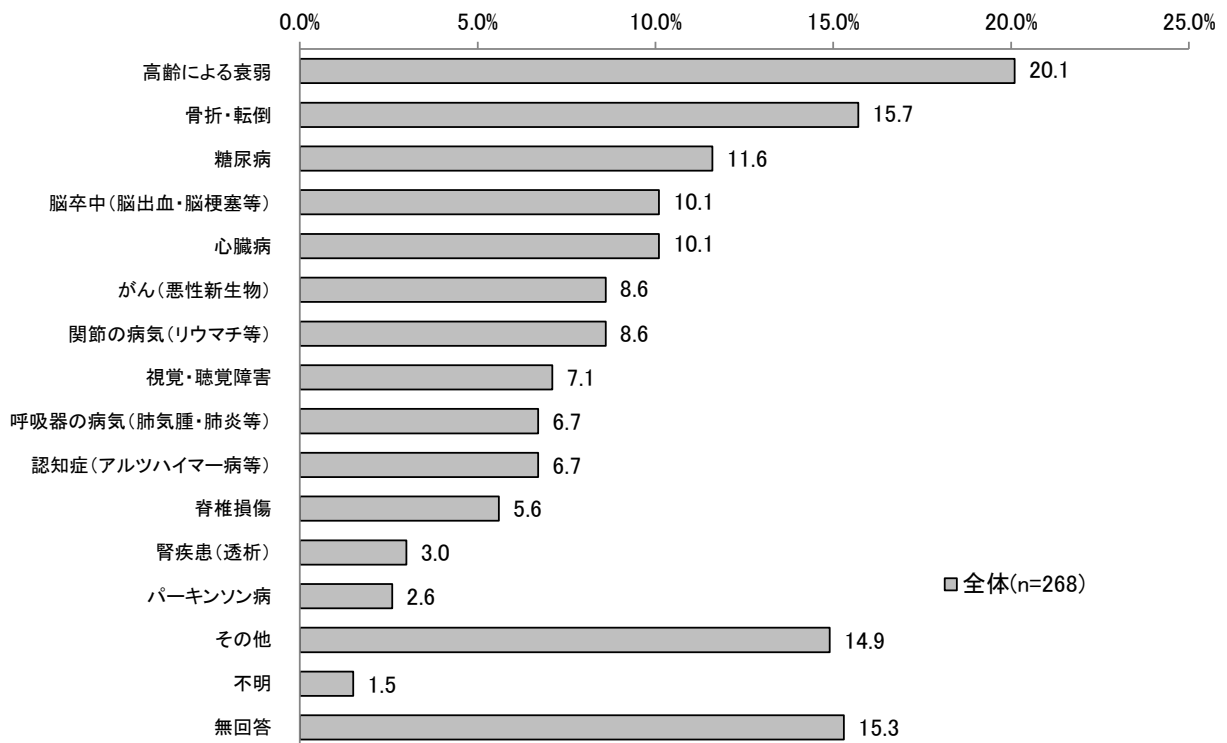
単位: %

	調査数「人」	介護・介助は必要ない	受けていないが、現在、何らかの介護・介助は必要	現在、何らかの介護を受けている	無回答	『何らかの介護・介助が必要』
全 体	2,003	83.6	6.2	7.1	3.0	13.3
性・年齢別						
【男性 計】	912	85.3	5.9	6.1	2.6	12.0
65～69歳	180	92.8	3.3	1.7	2.2	5.0
70～74歳	289	90.0	4.2	4.8	1.0	9.0
75～79歳	220	88.2	5.0	3.6	3.2	8.6
80～84歳	136	74.3	10.3	8.8	6.6	19.1
85歳以上	87	64.4	12.6	21.8	1.1	34.4
【女性 計】	1,091	82.2	6.5	8.0	3.3	14.5
65～69歳	186	94.6	2.7	2.7	—	5.4
70～74歳	311	92.9	3.9	2.3	1.0	6.2
75～79歳	258	86.4	4.3	5.8	3.5	10.1
80～84歳	203	69.5	8.9	13.8	7.9	22.7
85歳以上	133	51.1	18.8	24.1	6.0	42.9
無回答	—	—	—	—	—	—

回答者の現在の介護・介助の必要性について尋ねたところ「介護・介助の必要性はない」が83.6%と最も高くなっている。「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」(6.2%)と「現在、何らかの介護を受けている」(7.1%)を合わせた13.3%の人が『何らかの介護・介助が必要』と回答している。また、男女ともにおおむね年齢が上がるにつれて『何らかの介護・介助が必要』とする割合が増える傾向にある。

(3) 介護・介助が必要になった主な原因

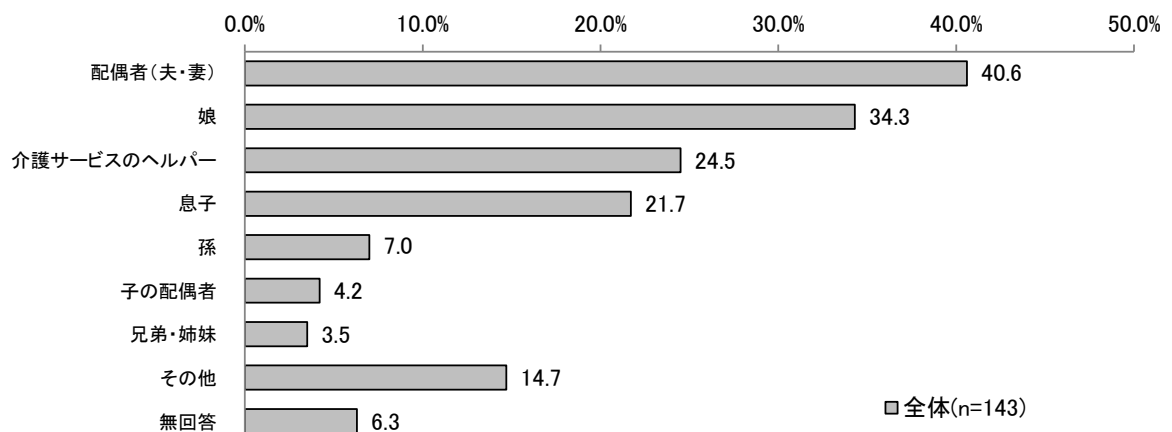
図表－１１ 介護・介助が必要になった主な原因（複数回答）



「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」もしくは「現在、何らかの介護を受けている」と回答した人（268人）のうち、主な原因は「高齢による衰弱」が20.1%と最も高く、次いで「骨折・転倒」（15.7%）と「その他」（14.9%）となっている。

(4) 主な介護・介助者

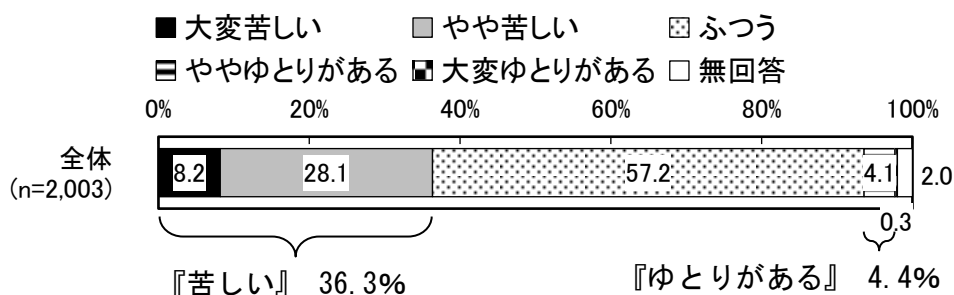
図表－１２ 主な介護・介助者（複数回答）



主な介護者・介助者は「配偶者（夫・妻）」が40.6%で最も高く、次いで「娘」（34.3%）、「介護サービスのヘルパー」（24.5%）となっている。

(5) 経済的な暮らしの状況

図表－13 経済的な暮らしの状況



図表－14 性・年齢別、圏域別 経済的な暮らしの状況

		単位: %						
		調査数「人」	大変苦しい	やや苦しい	ふつう	ややゆとりがある	大変ゆとりがある	無回答
全 体		2,003	8.2	28.1	57.2	4.1	0.3	2.0
性・年齢別	【男性 計】	912	7.9	30.5	55.7	3.9	0.7	1.3
	65～69歳	180	8.3	35.0	53.3	2.8	—	0.6
	70～74歳	289	10.0	28.4	56.7	3.8	0.7	0.3
	75～79歳	220	10.0	35.0	47.7	5.0	—	2.3
	80～84歳	136	2.2	26.5	61.8	5.9	0.7	2.9
	85歳以上	87	3.4	23.0	67.8	1.1	3.4	1.1
	【女性 計】	1,091	8.4	26.1	58.4	4.3	0.1	2.7
	65～69歳	186	8.1	25.3	60.8	3.2	0.5	2.2
	70～74歳	311	6.8	32.2	55.9	3.2	—	1.9
	75～79歳	258	10.5	25.6	55.0	6.2	—	2.7
	80～84歳	203	8.4	22.7	63.5	3.9	—	1.5
	85歳以上	133	9.0	19.5	59.4	5.3	—	6.8
無回答		—	—	—	—	—	—	—
圏域別	行橋	657	9.3	26.9	56.3	4.1	0.8	2.6
	今元	214	7.9	26.2	57.0	6.5	—	2.3
	仲津	292	8.2	30.5	55.1	2.4	0.3	3.4
	泉	313	6.4	29.4	58.8	4.5	—	1.0
	中京	215	6.5	33.5	53.0	4.2	0.5	2.3
	長峽	311	9.0	24.8	62.1	3.9	—	0.3
	無回答	1	—	—	100.0	—	—	—

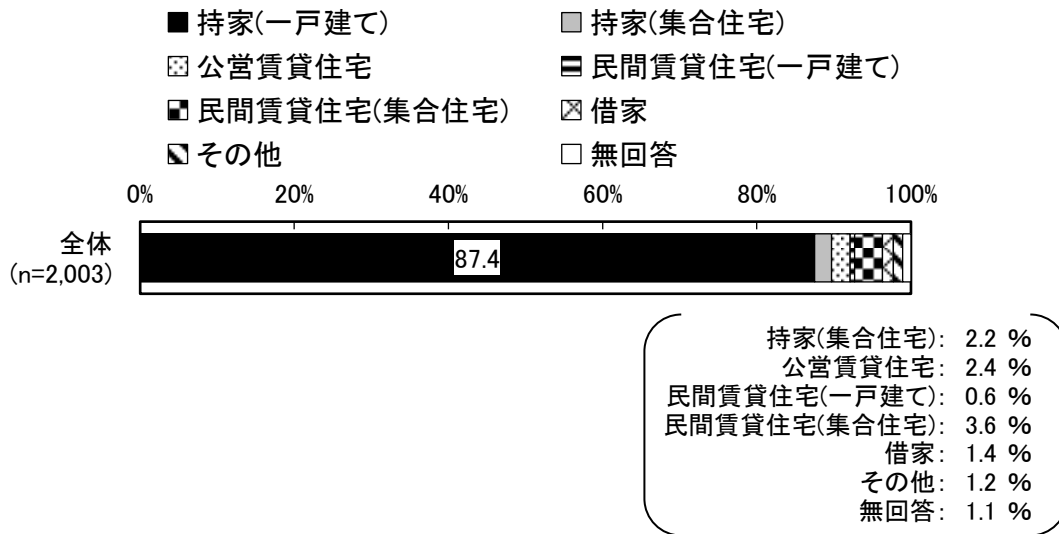
経済的な暮らしの状況について尋ねたところ、「ふつう」の割合が57.2%と最も高くなっている。また、「大変苦しい」と「やや苦しい」を合わせた『苦しい』と感じている人は、36.3%となっている。

男性では、『苦しい』と感じている人が38.4%と女性の割合（34.5%）より高くなっている。

圏域別にみると、『苦しい』と感じている人の割合は、中京で40.0%と他の圏域に比べ高くなっている。

(6) 住まいの形態

図表－15 住まいの形態



図表－16 性・年齢別、圏域別 住まいの形態

単位: %

	調査数「人」	持家(一戸建て)	持家(集合住宅)	公営賃貸住宅	民間賃貸住宅(一戸建て)	民間賃貸住宅(集合住宅)	借家	その他	無回答
全 体	2,003	87.4	2.2	2.4	0.6	3.6	1.4	1.2	1.1
性・年齢別	【男性 計】	912	88.9	2.2	1.2	1.0	3.6	1.0	0.9
	65～69歳	180	86.7	3.9	1.1	0.6	5.0	1.1	1.1
	70～74歳	289	86.9	3.5	1.0	0.7	4.5	1.4	0.3
	75～79歳	220	89.5	0.9	1.8	1.8	2.7	0.9	1.4
	80～84歳	136	93.4	—	0.7	0.7	2.9	0.7	1.5
	85歳以上	87	92.0	1.1	1.1	1.1	—	3.4	—
	【女性 計】	1,091	86.1	2.3	3.4	0.4	3.7	1.7	1.3
	65～69歳	186	88.7	3.2	2.2	—	2.7	1.6	0.5
	70～74歳	311	85.2	2.6	4.5	0.3	3.9	1.0	0.6
	75～79歳	258	84.5	1.6	4.3	—	5.8	2.3	0.4
	80～84歳	203	90.1	1.5	2.5	1.0	2.0	1.0	1.5
	85歳以上	133	81.2	3.0	2.3	0.8	3.0	3.8	3.8
	無回答	—	—	—	—	—	—	—	—
圏域別	行橋	657	76.1	6.1	4.1	0.8	7.8	2.3	1.1
	今元	214	91.6	0.5	1.9	0.9	—	0.9	2.3
	仲津	292	91.4	—	1.0	1.4	2.1	1.7	2.4
	泉	313	96.2	0.3	0.3	0.6	1.3	0.3	0.3
	中京	215	94.4	0.5	1.9	—	1.9	0.9	—
	長峽	311	90.7	0.6	2.9	—	2.6	1.0	0.6
	無回答	1	100.0	—	—	—	—	—	—

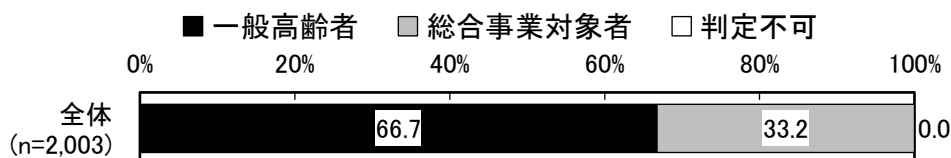
住んでいる住居の形態は「持家(一戸建て)」が87.4%と最も高く、次いで「民間賃貸住宅(集合住宅)」(3.6%)、「公営賃貸住宅」(2.4%)の順となっている。

圏域別にみると、「持家(一戸建て)」の割合は、泉が96.2%で最も高く、行橋では76.1%と他の圏域に比べ低くなっている。

第3章 生活機能等の評価・判定結果

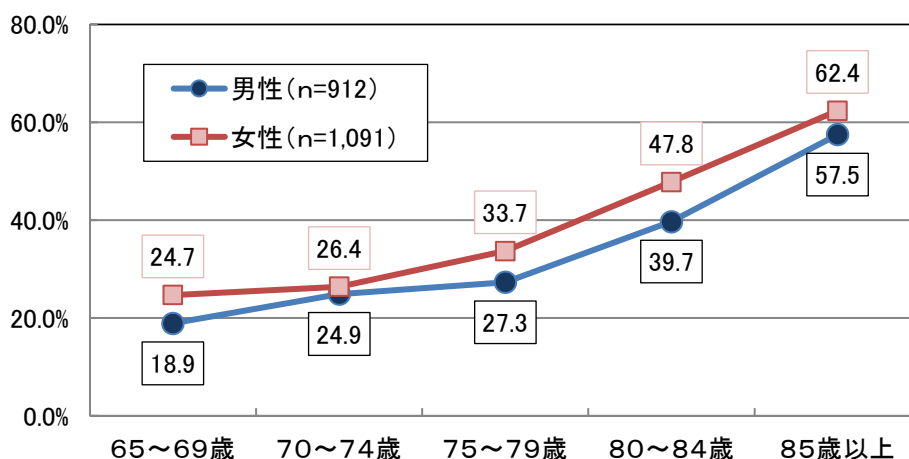
1. 介護予防日常生活支援・総合事業対象者の該当状況

図表－17 総合事業対象者の該当状況



(注) 一般高齢者：下記の「総合事業対象者」以外の者
 総合事業対象者：調査回答結果から国の基準に基づき総合事業対象者と判定された者

図表－18 性・年齢別 総合事業対象者の該当状況



今回調査の回答者における総合事業対象者の該当状況は、全体では一般高齢者が66.7%を占め、総合事業対象者は33.2%となっている。

性・年齢別にみると、男女ともに高い年齢層で総合事業対象者の割合が高くなる傾向にあり、85歳以上から、一般高齢者の割合を上回っている。特に85歳以上の女性では、「総合事業対象者」の割合が6割を超え、男性や他の年齢層と比べて高くなっている。

圏域別にみると、いずれも一般高齢者の割合が高いが、仲津(36.6%)と今元(36.0%)で、他の圏域に比べ総合事業対象者の割合が高くなっている。

小学校区別にみると、行橋北校区(40.3%)で総合事業対象者の割合が他に比べ高くなっている。

図表－１９ 性・年齢別、圏域別、小学校区別 総合事業対象者の該当状況

単位: %

		調 査 数 「人」	一 般 高 齢 者	総 合 事 業 対 象 者	判 定 不 可
全 体		2,003	66.7	33.2	0.0
性・年 齢 別	【男性 計】	912	70.4	29.6	－
	65～69歳	180	81.1	18.9	－
	70～74歳	289	75.1	24.9	－
	75～79歳	220	72.7	27.3	－
	80～84歳	136	60.3	39.7	－
	85歳以上	87	42.5	57.5	－
	【女性 計】	1,091	63.7	36.2	0.1
	65～69歳	186	75.3	24.7	－
	70～74歳	311	73.6	26.4	－
	75～79歳	258	66.3	33.7	－
	80～84歳	203	51.7	47.8	0.5
	85歳以上	133	37.6	62.4	－
	無回答	－	－	－	－
圏 域 別	行橋	657	64.7	35.3	－
	今元	214	63.6	36.0	0.5
	仲津	292	63.4	36.6	－
	泉	313	72.2	27.8	－
	中京	215	70.7	29.3	－
	長峽	311	68.2	31.8	－
	無回答	1	100.0	－	－
小 学 校 区 別	行橋	243	70.4	29.6	－
	行橋南	233	62.7	37.3	－
	椿市	52	73.1	26.9	－
	稗田	98	70.4	29.6	－
	延永	259	67.2	32.8	－
	今川	117	70.9	29.1	－
	泉	313	72.2	27.8	－
	今元	179	61.5	38.0	0.6
	菟島	35	74.3	25.7	－
	仲津	292	63.4	36.6	－
	行橋北	181	59.7	40.3	－
	無回答	1	100.0	－	－

2. 評価・判定結果の概要（リスク該当者割合一覧）

図表－20 生活機能、日常生活・社会参加に係るリスク該当者の割合

単位：％

		調査数 「人」	生活機能							日常生活・社会参加			
			虚弱	運動器	閉じこもり 予防	栄養	口腔	認知症 予防	うつ 予防	手段的 自立度 (IADL)	知的能 動性	社会的 役割	老研指 標総合 評価
			（該 当 10 点 以 上）	（該 当 3 点 以 上）	（該 当 1 点 以 上）	（該 当 2 点 以 上）	（該 当 2 点 以 上）	（該 当 1 点 以 上）	（該 当 1 点 以 上）	（低 下 4 点 以 下）	（低 下 3 点 以 下）	（低 下 3 点 以 下）	（低 下 1 0 点 以 下）
全体		2,003	10.9	16.4	18.7	1.5	23.7	57.0	40.5	16.4	59.8	61.8	39.7
性別	男性	912	10.4	12.2	16.7	1.8	22.1	57.1	36.0	20.4	61.4	67.6	45.8
	女性	1,091	11.3	20.0	20.3	1.4	24.9	56.9	44.3	13.2	58.4	57.0	34.5
状況別	一般	1,337	0.0	0.0	10.9	0.0	0.0	47.4	30.6	9.3	54.9	55.3	30.9
	総合事業	665	32.8	49.5	34.3	4.7	71.3	76.4	60.5	31.0	69.5	75.0	57.6
	判定不可	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
圏域別	行橋	657	11.7	16.7	17.0	1.7	25.4	56.8	42.3	17.4	61.0	61.9	40.4
	今元	214	12.6	16.4	20.6	1.4	28.0	55.1	39.7	16.4	64.5	59.4	36.5
	仲津	292	12.0	18.8	22.6	1.4	24.7	61.3	43.2	16.7	56.5	65.4	45.2
	泉	313	8.9	13.4	13.7	1.9	20.1	53.0	36.4	15.3	61.6	58.8	38.4
	中京	215	11.6	16.3	20.0	1.4	18.6	59.5	43.3	13.5	57.2	63.7	39.0
	長峽	311	8.4	16.7	21.2	1.3	23.2	57.2	37.0	17.7	56.9	62.1	37.3
小学校区別	行橋	243	9.9	14.0	18.1	1.2	22.2	55.6	39.1	15.2	63.3	62.5	39.5
	行橋南	233	13.7	19.3	17.2	2.6	25.3	58.8	42.9	19.8	57.5	59.2	41.6
	椿市	52	3.8	11.5	25.0	0.0	21.2	53.8	32.7	17.3	63.5	59.6	32.7
	稗田	98	13.3	18.4	19.4	1.0	18.4	60.2	40.8	14.3	63.3	66.3	40.8
	延永	259	9.3	17.8	20.5	1.5	23.6	57.9	37.8	17.8	55.6	62.5	38.2
	今川	117	10.3	14.5	20.5	1.7	18.8	59.0	45.3	12.8	52.2	61.5	37.6
	泉	313	8.9	13.4	13.7	1.9	20.1	53.0	36.4	15.3	61.6	58.8	38.4
	今元	179	12.8	17.3	22.3	1.7	29.6	55.3	39.7	16.2	64.8	59.8	34.6
	蓑島	35	11.4	11.4	11.4	0.0	20.0	54.3	40.0	17.2	62.9	57.1	45.7
	仲津	292	12.0	18.8	22.6	1.4	24.7	61.3	43.2	16.7	56.5	65.4	45.2
	行橋北	181	11.6	17.1	15.5	1.1	29.8	55.8	45.9	17.1	62.5	64.6	39.8

■ 全体に比べて、リスク該当者・低下者の割合が高い（＋3ポイント以上）
■ 全体に比べて、リスク該当者・低下者の割合が低い（－3ポイント以上）

国の「日常生活圏域ニーズ調査」では、調査結果から、高齢者の生活機能や日常生活・社会参加に係る11項目について、評価・判定を行うことができる。

本調査においても国の基準（巻末「参考資料 2. 生活機能等の評価・判定方法」参照）に基づき、評価・判定を行ったところ、各項目のリスク該当者の割合は上記のとおりとなった（各項目別の詳細は次頁以降参照）。

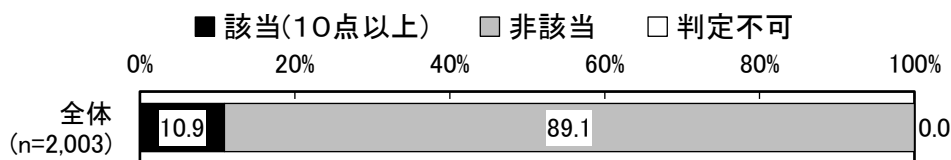
《評価・判定結果の特徴》

- リスク該当者の割合は、全体では『社会的役割』（61.8%）、『知的能動性』（59.8%）、『認知症予防』（57.0%）、『うつ予防』（40.5%）、『老研指標総合評価』（39.7%）の順で高くなっている。
- 男性では『社会的役割』（67.6%）、『老研指標総合評価』（45.8%）、『手段的自立度（IADL）』（20.4%）、女性では『うつ予防』（44.3%）、『運動器』（20.0%）の項目において、全体の割合を3ポイント以上、上回っている。
- 一般高齢者でも『社会的役割』（55.3%）、『知的能動性』（54.9%）、『認知症予防』（47.4%）、『老健指標総合評価』（30.9%）、『うつ予防』（30.6%）などのリスクを抱える人が3割強～5割半ばを占めている。一方で、総合事業対象者では全ての項目で全体の割合を大きく上回っており、特に、『口腔』（71.3%）、『運動器』（49.5%）では30ポイント以上高くなっている。
- 圏域別にみると、泉では他に比べて、6つの項目でリスク該当者の割合が3ポイント以上低くなっている。一方で、仲津では『社会的役割』（65.4%）、『認知症予防』（61.3%）、『老健指標総合評価』（45.2%）、『閉じこもり予防』（22.6%）など全体の割合を上回っている項目が多い。
- 小学校区別にみると、泉校区では他に比べて、6つの項目でリスク該当者の割合が3ポイント以上低くなっている。一方で、仲津校区では『社会的役割』（65.4%）、『認知症予防』（61.3%）、『老健指標総合評価』（45.2%）、『閉じこもり予防』（22.6%）など全体の割合を上回っている項目が多い。

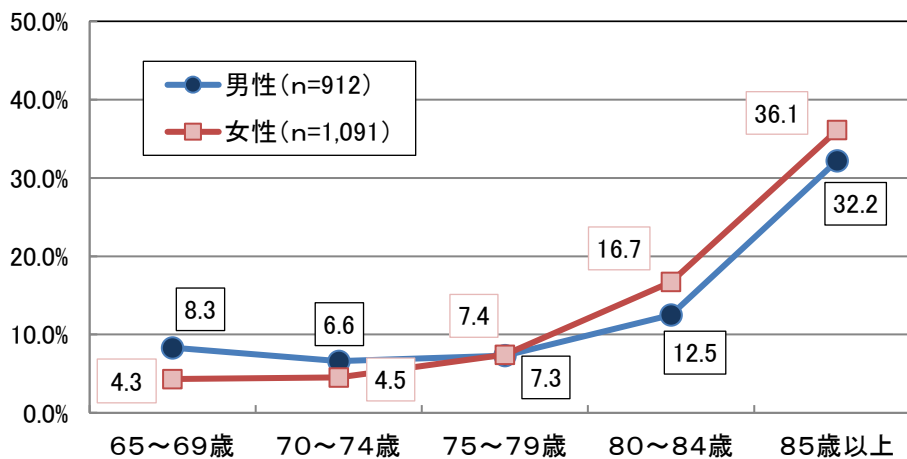
3. 評価・判定結果の詳細

(1) 虚弱

図表－21 虚弱判定



図表－22 性・年齢別 虚弱判定（「該当」の割合）



基本チェックリストに基づく虚弱判定の該当者（10点以上の者）の割合は全体で10.9%となっている。

性・年齢別にみると、該当者の割合は、男女ともにおおむね年齢とともに高くなる傾向にある。総合事業該当状況別にみると、総合事業対象者の3割強（32.8%）が該当している。

圏域別にみると、今元（12.6%）、仲津（12.0%）で他に比べて該当者の割合が高くなっている。

小学校区別にみると、行橋南校区（13.7%）、稗田校区（13.3%）で他に比べて該当者の割合が高くなっている。

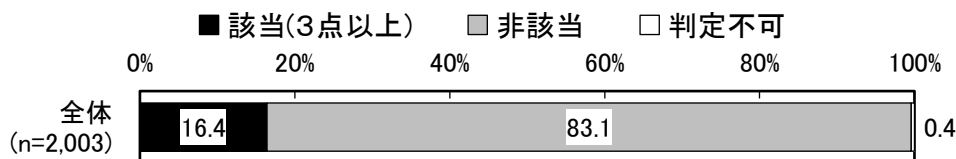
図表－23 該当状況別、圏域別、小学校区別 虚弱判定

単位：％

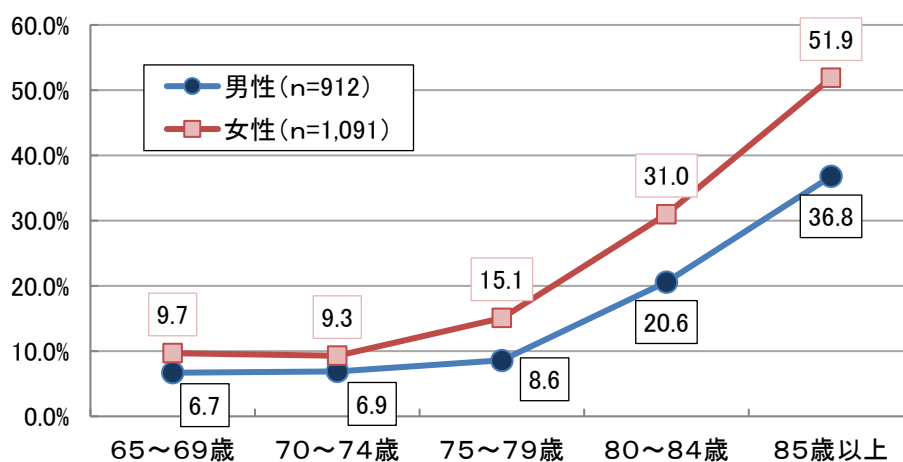
		調査数 「人」	該当 (10点以上)	非該当	判定不可
全 体		2,003	10.9	89.1	0.0
状況別	一般	1,337	－	100.0	－
	総合事業	665	32.8	67.2	－
	判定不可	1	－	－	100.0
圏域別	行橋	657	11.7	88.3	－
	今元	214	12.6	86.9	0.5
	仲津	292	12.0	88.0	－
	泉	313	8.9	91.1	－
	中京	215	11.6	88.4	－
	長峡	311	8.4	91.6	－
	無回答	1	－	100.0	－
小学校区別	行橋	243	9.9	90.1	－
	行橋南	233	13.7	86.3	－
	椿市	52	3.8	96.2	－
	稗田	98	13.3	86.7	－
	延永	259	9.3	90.7	－
	今川	117	10.3	89.7	－
	泉	313	8.9	91.1	－
	今元	179	12.8	86.6	0.6
	菟島	35	11.4	88.6	－
	仲津	292	12.0	88.0	－
	行橋北	181	11.6	88.4	－
	無回答	1	－	100.0	－

(2) 運動器

図表－24 運動器判定



図表－25 性・年齢別 運動器判定（「該当」の割合）



基本チェックリストに基づく運動器判定の該当者（3点以上の者）の割合は全体で16.4%となっている。

性・年齢別にみると、該当者の割合は、男女とも年齢とともに高くなっており、女性では85歳以上で該当者の割合が5割強（51.9%）に達する。また、すべての年齢で、男性に比べ女性の該当者の割合が高くなっている。

総合事業該当状況別にみると、総合事業対象者の5割弱（49.5%）が該当している。

圏域別にみると、仲津（18.8%）で他に比べて該当者の割合が高くなっている。

小学校区別にみると、行橋南校区（19.3%）で他に比べて該当者の割合が高くなっている。

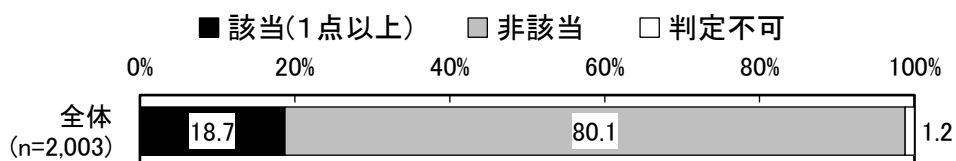
図表－26 該当状況別、圏域別、小学校区別 運動器判定

単位: %

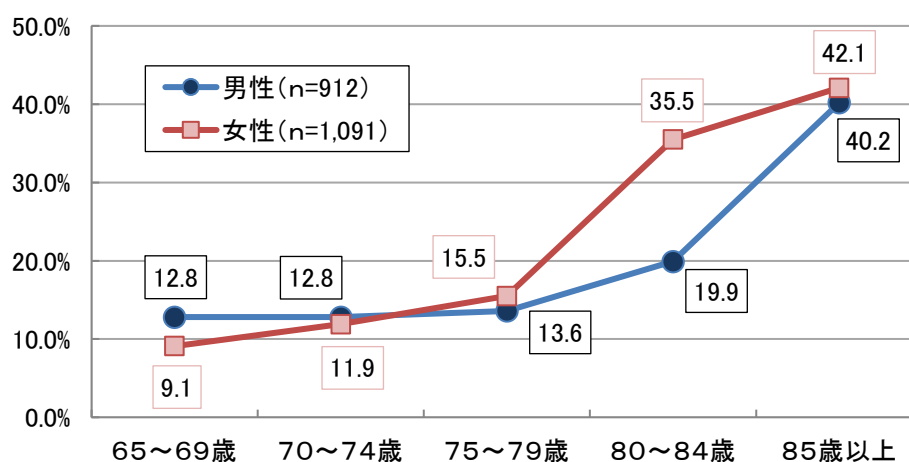
		調査数 「人」	該当 (3点以上)	非該当	判定不可
全 体		2,003	16.4	83.1	0.4
状況別	一般	1,337	－	99.5	0.5
	総合事業	665	49.5	50.4	0.2
	判定不可	1	－	－	100.0
圏域別	行橋	657	16.7	82.8	0.5
	今元	214	16.4	83.2	0.5
	仲津	292	18.8	79.8	1.4
	泉	313	13.4	86.3	0.3
	中京	215	16.3	83.7	－
	長峡	311	16.7	83.3	－
	無回答	1	－	100.0	－
小学校区別	行橋	243	14.0	86.0	－
	行橋南	233	19.3	80.3	0.4
	椿市	52	11.5	88.5	－
	稗田	98	18.4	81.6	－
	延永	259	17.8	82.2	－
	今川	117	14.5	85.5	－
	泉	313	13.4	86.3	0.3
	今元	179	17.3	82.1	0.6
	蓑島	35	11.4	88.6	－
	仲津	292	18.8	79.8	1.4
	行橋北	181	17.1	81.8	1.1
	無回答	1	－	100.0	－

(3) 閉じこもり予防

図表－27 閉じこもり予防判定



図表－28 性・年齢別 閉じこもり予防判定（「該当」の割合）



基本チェックリストに基づく閉じこもり予防判定の該当者（1点以上の者）の割合は全体で18.7%となっている。

性・年齢別にみると、該当者の割合は、男女とも年齢とともにおおむね高くなっており、女性では80～84歳で該当者の割合が大幅に上昇している。

総合事業該当状況別にみると、一般高齢者の該当者は10.9%、総合事業対象者では34.3%となっている。

圏域別にみると、仲津（22.6%）で他に比べて該当者の割合が高くなっている。

小学校区別にみると、椿市校区（25.0%）で他に比べて該当者の割合が高くなっている。

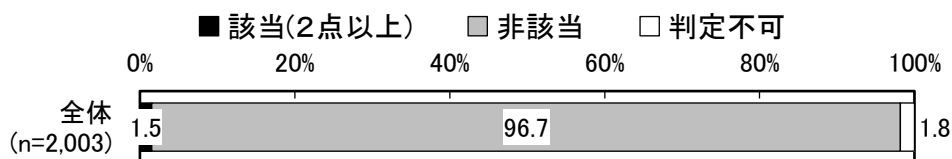
図表－２９ 該当状況別、圏域別、小学校区別 閉じこもり予防判定

単位：％

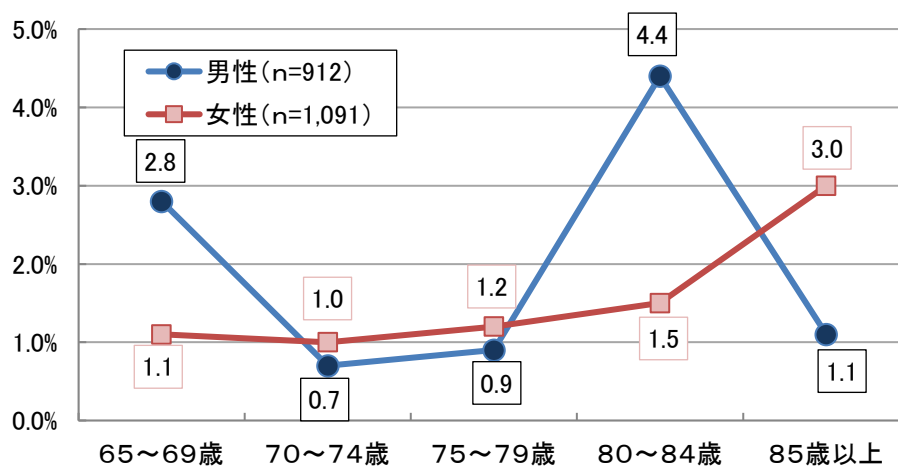
		調査数 「人」	該当 (1点以上)	非該当	判定不可
全 体		2,003	18.7	80.1	1.2
状況別	一般	1,337	10.9	88.0	1.0
	総合事業	665	34.3	64.4	1.4
	判定不可	1	－	－	100.0
圏域別	行橋	657	17.0	82.5	0.5
	今元	214	20.6	77.1	2.3
	仲津	292	22.6	75.3	2.1
	泉	313	13.7	84.3	1.9
	中京	215	20.0	79.5	0.5
	長峡	311	21.2	77.8	1.0
	無回答	1	－	100.0	－
小学校区別	行橋	243	18.1	81.9	－
	行橋南	233	17.2	82.4	0.4
	椿市	52	25.0	75.0	－
	稗田	98	19.4	79.6	1.0
	延永	259	20.5	78.4	1.2
	今川	117	20.5	79.5	－
	泉	313	13.7	84.3	1.9
	今元	179	22.3	76.0	1.7
	蓑島	35	11.4	82.9	5.7
	仲津	292	22.6	75.3	2.1
	行橋北	181	15.5	83.4	1.1
	無回答	1	－	100.0	－

(4) 栄養

図表－30 栄養改善判定



図表－31 性・年齢別 栄養改善判定（「該当」の割合）



基本チェックリストに基づく栄養改善判定の該当者（2点以上の者）の割合は全体で1.5%となっており、他の項目に比べて非常に低くなっている。

性・年齢別にみると、いずれの性・年齢層でも該当者は1割未満である。

総合事業該当状況別にみると、総合事業対象者の4.7%が該当している。

圏域別、小学校区別でみると、ほとんど差は見られない。

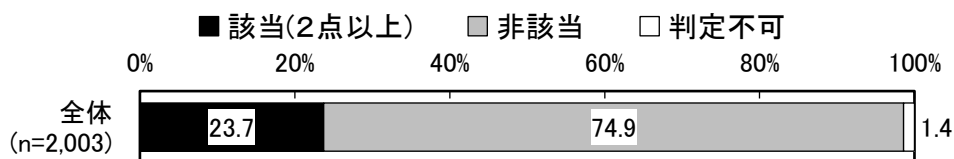
図表－32 該当状況別、圏域別、小学校区別 栄養改善判定

単位: %

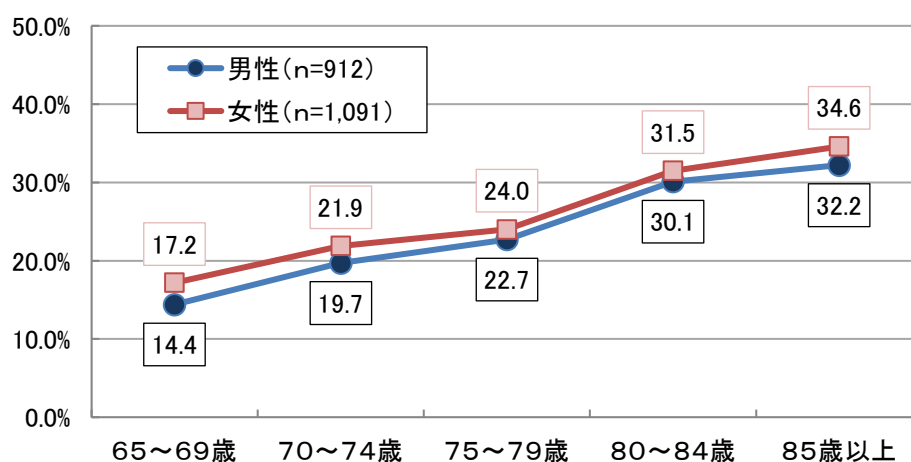
		調査数 「人」	該当 (2点以上)	非該当	判定不可
状況別	全 体	2,003	1.5	96.7	1.8
	一般	1,337	－	98.4	1.6
	総合事業	665	4.7	93.4	2.0
	判定不可	1	－	－	100.0
圏域別	行橋	657	1.7	96.8	1.5
	今元	214	1.4	95.8	2.8
	仲津	292	1.4	95.2	3.4
	泉	313	1.9	96.8	1.3
	中京	215	1.4	97.7	0.9
	長峡	311	1.3	97.4	1.3
	無回答	1	－	100.0	－
小学校区別	行橋	243	1.2	97.9	0.8
	行橋南	233	2.6	94.8	2.6
	椿市	52	－	100.0	－
	稗田	98	1.0	98.0	1.0
	延永	259	1.5	96.9	1.5
	今川	117	1.7	97.4	0.9
	泉	313	1.9	96.8	1.3
	今元	179	1.7	95.0	3.4
	蓑島	35	－	100.0	－
	仲津	292	1.4	95.2	3.4
	行橋北	181	1.1	97.8	1.1
	無回答	1	－	100.0	－

(5) 口腔

図表－33 口腔機能判定



図表－34 性・年齢別 口腔機能判定（「該当」の割合）



基本チェックリストに基づく口腔機能判定の該当者（2点以上の者）の割合は全体で23.7%となっている。

性・年齢別にみると、該当者の割合は、おおむね男女とも年齢とともに高くなっており、85歳以上では3割強程度に達する。

総合事業該当状況別にみると、総合事業対象者の7割強（71.3%）が該当している。

圏域別にみると、今元（28.0%）で他に比べて該当者の割合が高くなっている。

小学校区別にみると、行橋北校区（29.8%）、今元校区（29.6%）で他に比べて該当者の割合が高くなっている。

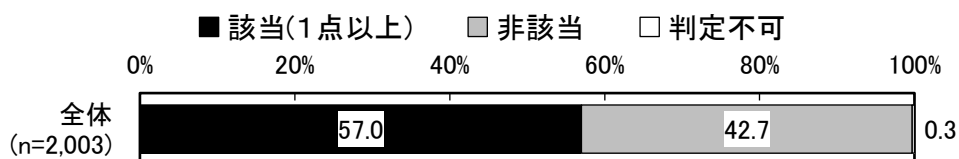
図表－35 該当状況別、圏域別、小学校区別 口腔機能判定

単位: %

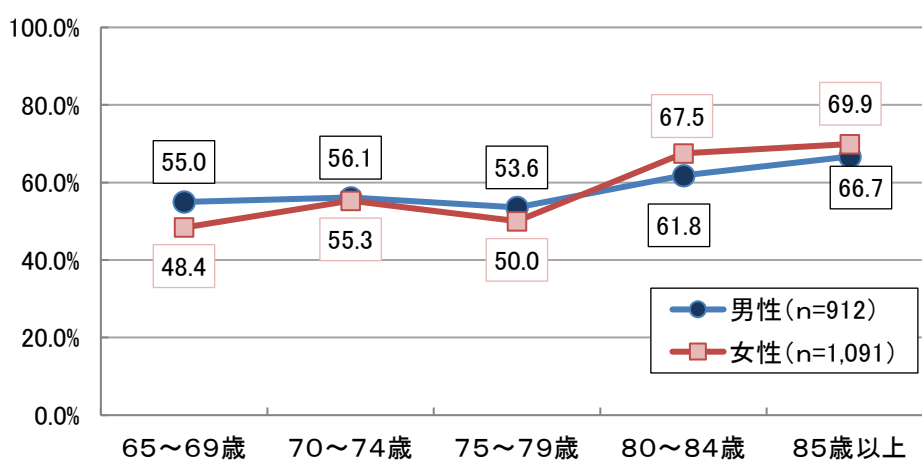
		調査数 「人」	該当 (2点以上)	非該当	判定不可
全 体		2,003	23.7	74.9	1.4
状況別	一般	1,337	—	98.4	1.6
	総合事業	665	71.3	27.8	0.9
	判定不可	1	—	—	100.0
圏域別	行橋	657	25.4	73.2	1.4
	今元	214	28.0	70.1	1.9
	仲津	292	24.7	72.6	2.7
	泉	313	20.1	78.6	1.3
	中京	215	18.6	80.9	0.5
	長峡	311	23.2	75.9	1.0
	無回答	1	—	100.0	—
小学校区別	行橋	243	22.2	76.5	1.2
	行橋南	233	25.3	73.0	1.7
	椿市	52	21.2	78.8	—
	稗田	98	18.4	81.6	—
	延永	259	23.6	75.3	1.2
	今川	117	18.8	80.3	0.9
	泉	313	20.1	78.6	1.3
	今元	179	29.6	68.2	2.2
	蓑島	35	20.0	80.0	—
	仲津	292	24.7	72.6	2.7
	行橋北	181	29.8	69.1	1.1
	無回答	1	—	100.0	—

(6) 認知症予防

図表－36 認知症予防判定



図表－37 性・年齢別 認知症予防判定（「該当」の割合）



基本チェックリストに基づく認知症予防判定の該当者（1点以上の者）の割合は全体で57.0%となっている。

性・年齢別にみると、男女ともに85歳以上で該当者の割合がほぼ7割弱に達する。

総合事業該当状況別にみると、該当者の割合は一般高齢者で47.4%、総合事業対象者で76.4%となっている。

圏域別にみると、仲津（61.3%）で他に比べて該当者の割合が高くなっている。

小学校区別にみると、仲津校区（61.3%）で他に比べて該当者の割合が高くなっている。

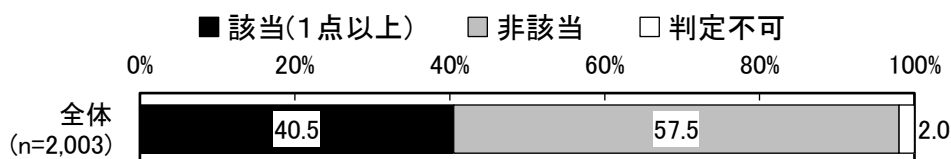
図表－38 該当状況別、圏域別、小学校区別 認知症予防判定

単位: %

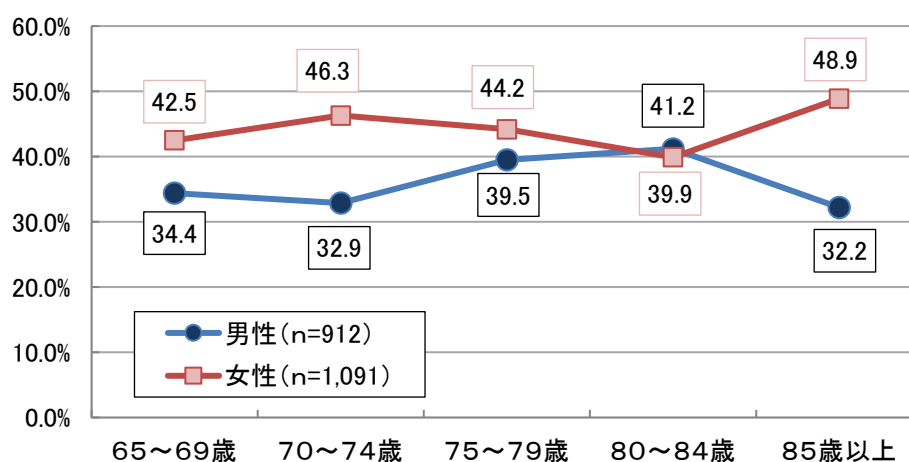
		調査数 「人」	該当 (1点以上)	非該当	判定不可
全 体		2,003	57.0	42.7	0.3
状況別	一般	1,337	47.4	52.4	0.2
	総合事業	665	76.4	23.3	0.3
	判定不可	1	－	－	100.0
圏域別	行橋	657	56.8	42.9	0.3
	今元	214	55.1	44.4	0.5
	仲津	292	61.3	38.0	0.7
	泉	313	53.0	46.6	0.3
	中京	215	59.5	40.5	－
	長峡	311	57.2	42.8	－
	無回答	1	－	100.0	－
小学校区別	行橋	243	55.6	44.4	－
	行橋南	233	58.8	40.8	0.4
	椿市	52	53.8	46.2	－
	稗田	98	60.2	39.8	－
	延永	259	57.9	42.1	－
	今川	117	59.0	41.0	－
	泉	313	53.0	46.6	0.3
	今元	179	55.3	44.1	0.6
	蓑島	35	54.3	45.7	－
	仲津	292	61.3	38.0	0.7
	行橋北	181	55.8	43.6	0.6
	無回答	1	－	100.0	－

(7) うつ予防

図表－３９ うつ予防判定



図表－４０ 性・年齢別 うつ予防判定（「該当」の割合）



基本チェックリストに基づくうつ予防判定の該当者（１点以上の者）の割合は全体で40.5%となっている。

性・年齢別にみると、該当者の割合は、男性では各年齢層において３割強を、女性では約４割を超えている。また、８０～８４歳を除いて女性の方が該当者の割合が高くなっている。

総合事業該当状況別にみると、該当者の割合は、一般高齢者で30.6%、総合事業対象者では60.5%となっている。

圏域別にみると、中京（43.3%）、仲津（43.2%）で他に比べて該当者の割合が高くなっている。

小学校区別にみると、行橋北校区（45.9%）、今川校区（45.3%）で他に比べて該当者の割合が高くなっている。

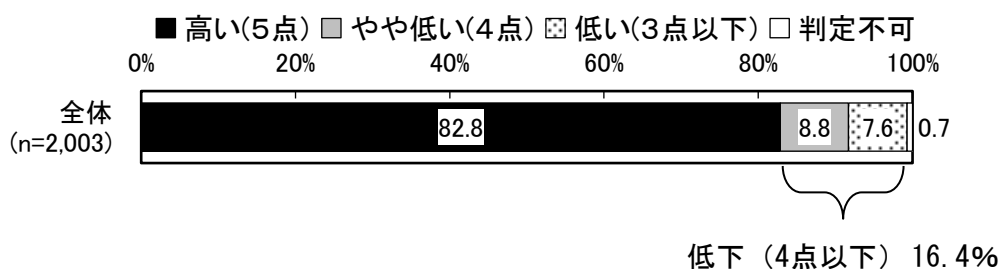
図表－4 1 該当状況別、圏域別、小学校区別 うつ予防判定

単位: %

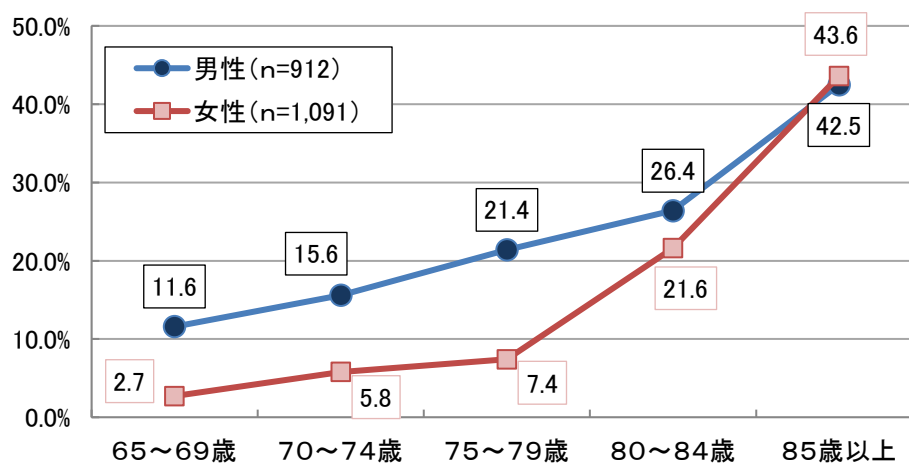
		調査数 「人」	該当 (1点以上)	非該当	判定不可
全 体		2,003	40.5	57.5	2.0
状況別	一般	1,337	30.6	67.8	1.6
	総合事業	665	60.5	37.0	2.6
	判定不可	1	－	－	100.0
圏域別	行橋	657	42.3	55.9	1.8
	今元	214	39.7	56.5	3.7
	仲津	292	43.2	55.5	1.4
	泉	313	36.4	62.0	1.6
	中京	215	43.3	54.9	1.9
	長峽	311	37.0	60.8	2.3
	無回答	1	－	100.0	－
小学校区別	行橋	243	39.1	59.7	1.2
	行橋南	233	42.9	54.9	2.1
	椿市	52	32.7	65.4	1.9
	稗田	98	40.8	57.1	2.0
	延永	259	37.8	59.8	2.3
	今川	117	45.3	53.0	1.7
	泉	313	36.4	62.0	1.6
	今元	179	39.7	57.5	2.8
	蓑島	35	40.0	51.4	8.6
	仲津	292	43.2	55.5	1.4
	行橋北	181	45.9	51.9	2.2
	無回答	1	－	100.0	－

(8) 手段的自立度 (IADL)

図表－42 手段的自立度[IADL]



図表－43 性・年齢別 手段的自立度[IADL] (「低下」の割合)



買い物や金銭管理等の手段的自立度(IADL)の低下者(4点以下の者)の割合は全体で16.4%となっている。

性・年齢別にみると、低下者の割合は男女とも年齢とともに高くなる傾向にあり、85歳以上で4割強に達する。また、85歳以上を除いた全ての年齢層で男性の方が低下者の割合が高くなっている。

総合事業該当状況別にみると、低下者の割合は一般高齢者で9.3%、総合事業対象者では31.0%となっている。

圏域別にみると、長峽(17.7%)、行橋(17.4%)で他に比べて低下者の割合がやや高くなっている。

小学校区別にみると、行橋南校区(19.8%)で他に比べて低下者の割合が高くなっている。

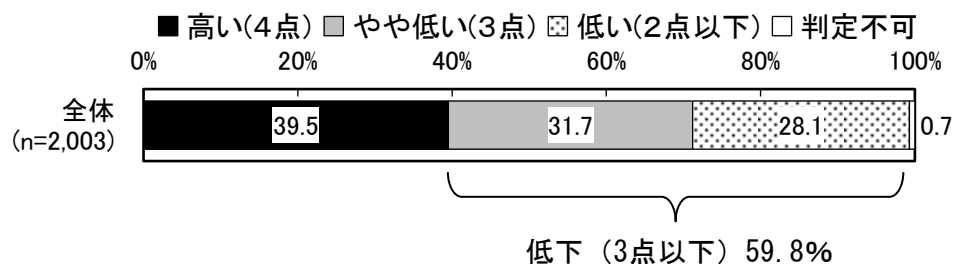
図表－4 4 該当状況別、圏域別、小学校区別 手段的自立度[IADL]

単位: %

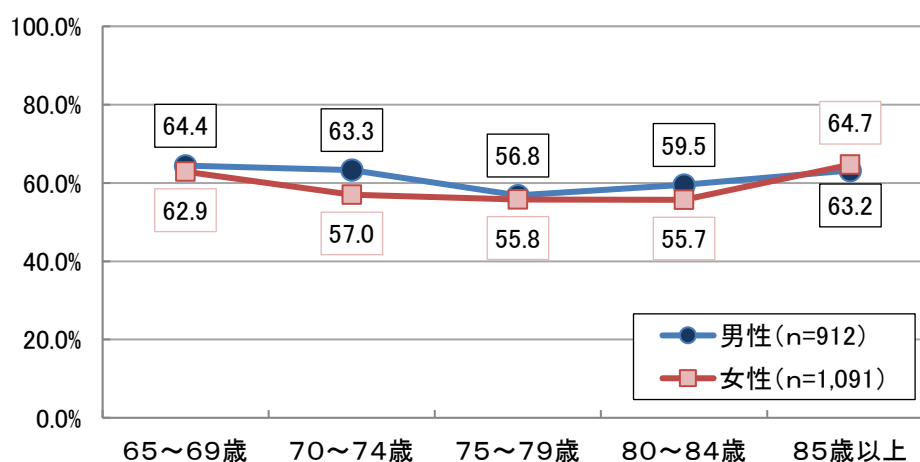
		調査数 「人」	高い (5点)	やや低い (4点)	低い (3点以下)	判定不可	「再計」 (4点以下) 「低下」
全 体		2,003	82.8	8.8	7.6	0.7	16.4
該 当 状 況 別	一般	1,337	90.0	6.9	2.4	0.7	9.3
	総合事業	665	68.6	12.8	18.2	0.5	31.0
	判定不可	1	—	—	—	100.0	—
圏 域 別	行橋	657	82.0	10.4	7.0	0.6	17.4
	今元	214	82.2	7.5	8.9	1.4	16.4
	仲津	292	82.2	6.8	9.9	1.0	16.7
	泉	313	83.7	7.3	8.0	1.0	15.3
	中京	215	86.0	6.5	7.0	0.5	13.5
	長峽	311	82.3	11.6	6.1	—	17.7
	無回答	1	100.0	—	—	—	—
小 学 校 区 別	行橋	243	84.4	8.2	7.0	0.4	15.2
	行橋南	233	79.8	12.9	6.9	0.4	19.8
	椿市	52	82.7	11.5	5.8	—	17.3
	稗田	98	85.7	9.2	5.1	—	14.3
	延永	259	82.2	11.6	6.2	—	17.8
	今川	117	86.3	4.3	8.5	0.9	12.8
	泉	313	83.7	7.3	8.0	1.0	15.3
	今元	179	82.1	7.3	8.9	1.7	16.2
	蓑島	35	82.9	8.6	8.6	—	17.2
	仲津	292	82.2	6.8	9.9	1.0	16.7
	行橋北	181	81.8	9.9	7.2	1.1	17.1
	無回答	1	100.0	—	—	—	—

(9) 知的能動性

図表－45 知的能動性



図表－46 性・年齢別 知的能動性（「低下」の割合）



読み書き等の知的能動性の評価結果における低下者（3点以下の者）の割合は、全体で59.8%となっている。

性・年齢別にみると、低下者の割合は、男女ともに各年齢層において5割半ばを超えている。

総合事業該当状況別にみると、低下者の割合は一般高齢者で54.9%、総合事業対象者では69.5%となっている。

圏域別にみると、今元（64.5%）で他に比べて低下者の割合が高くなっている。

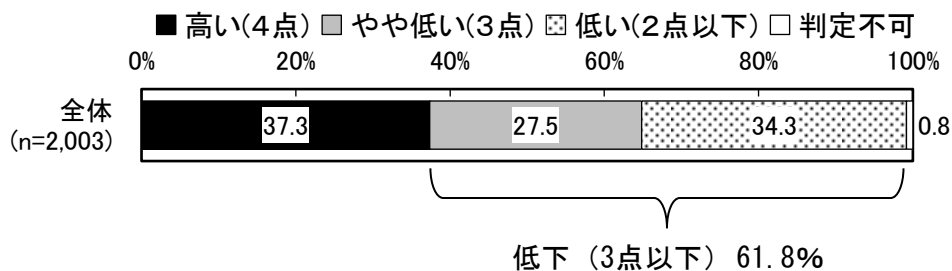
小学校区別にみると、今元校区（64.8%）で他に比べて低下者の割合が高くなっている。

図表－47 該当状況別、圏域別、小学校区別 知的能動性

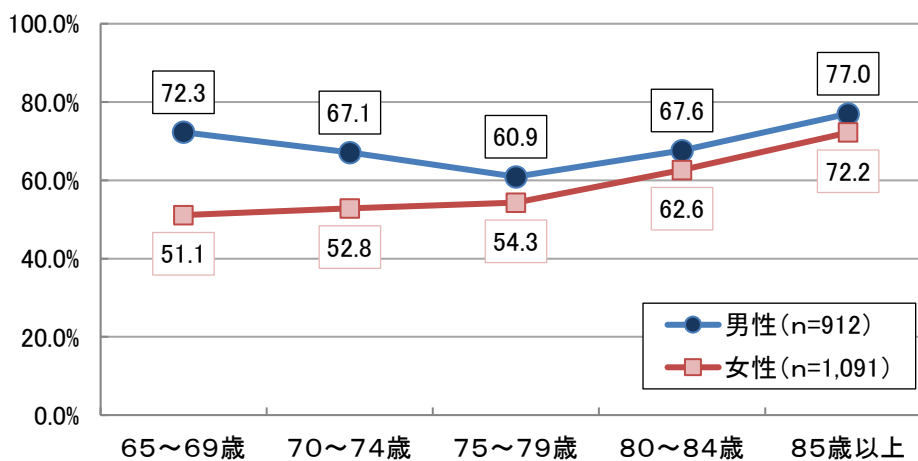
							単位: %
		調 査 数 「人」	高 い （ 4 点 ）	やや 低 い （ 3 点 ）	低 い （ 2 点 以 下 ）	判 定 不 可	「再計」 （3点以下） 「低下」
全 体		2,003	39.5	31.7	28.1	0.7	59.8
該 当 状 況 別	一般	1,337	44.3	32.5	22.4	0.7	54.9
	総合事業	665	30.1	30.1	39.4	0.5	69.5
	判定不可	1	－	－	－	100.0	－
圏 域 別	行橋	657	38.4	33.8	27.2	0.6	61.0
	今元	214	34.1	37.9	26.6	1.4	64.5
	仲津	292	42.5	28.8	27.7	1.0	56.5
	泉	313	37.4	31.6	30.0	1.0	61.6
	中京	215	42.3	27.4	29.8	0.5	57.2
	長峽	311	43.1	28.9	28.0	－	56.9
	無回答	1	100.0	－	－	－	－
小 学 校 区 別	行橋	243	36.2	37.4	25.9	0.4	63.3
	行橋南	233	42.1	29.6	27.9	0.4	57.5
	椿市	52	36.5	30.8	32.7	－	63.5
	稗田	98	36.7	34.7	28.6	－	63.3
	延永	259	44.4	28.6	27.0	－	55.6
	今川	117	47.0	21.4	30.8	0.9	52.2
	泉	313	37.4	31.6	30.0	1.0	61.6
	今元	179	33.5	39.7	25.1	1.7	64.8
	菟島	35	37.1	28.6	34.3	－	62.9
	仲津	292	42.5	28.8	27.7	1.0	56.5
	行橋北	181	36.5	34.3	28.2	1.1	62.5
	無回答	1	100.0	－	－	－	－

(10) 社会的役割

図表－48 社会的役割



図表－49 性・年齢別 社会的役割（「低下」の割合）



人との交流等の社会的役割の評価結果における低下者（3点以下の者）の割合は全体で61.8%となっている。

性・年齢別にみると、低下者の割合は、すべての年齢で男性の方が高くなっている。

総合事業該当状況別にみると、低下者の割合は一般高齢者で55.3%、総合事業対象者では75.0%となっている。

圏域別にみると、仲津（65.4%）で他に比べて低下者の割合が高くなっている。

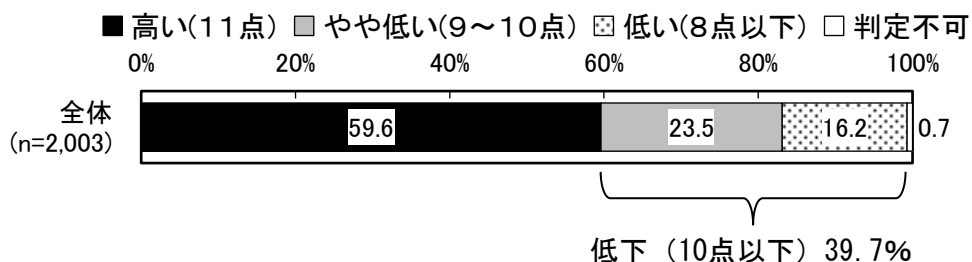
小学校区別にみると、稗田校区（66.3%）で他に比べて低下者の割合が高くなっている。

図表－50 該当状況別、圏域別、小学校区別 社会的役割

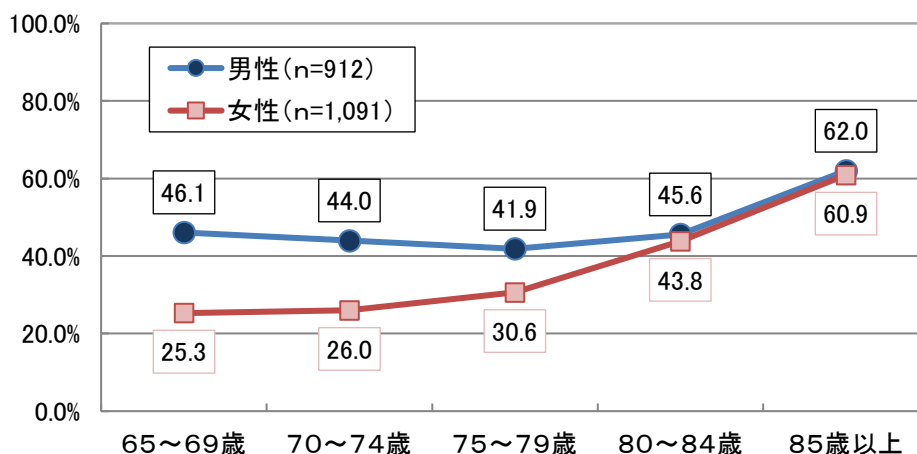
							単位: %
		調 査 数 「人」	高 い （ 4 点 ）	やや 低 い （ 3 点 ）	低 い （ 2 点 以 下 ）	判 定 不 可	「再計」 （3点以下） 「低下」
全 体		2,003	37.3	27.5	34.3	0.8	61.8
該 当 状 況 別	一 般	1,337	43.8	28.4	26.9	0.8	55.3
	総合事業	665	24.4	25.7	49.3	0.6	75.0
	判定不可	1	－	－	－	100.0	－
圏 域 別	行橋	657	37.4	27.5	34.4	0.6	61.9
	今元	214	38.8	29.0	30.4	1.9	59.4
	仲津	292	33.2	23.6	41.8	1.4	65.4
	泉	313	40.3	26.2	32.6	1.0	58.8
	中京	215	35.8	28.4	35.3	0.5	63.7
	長峽	311	37.9	30.9	31.2	－	62.1
	無回答	1	100.0	－	－	－	－
小 学 校 区 別	行橋	243	37.0	29.6	32.9	0.4	62.5
	行橋南	233	40.3	22.7	36.5	0.4	59.2
	椿市	52	40.4	36.5	23.1	－	59.6
	稗田	98	33.7	31.6	34.7	－	66.3
	延永	259	37.5	29.7	32.8	－	62.5
	今川	117	37.6	25.6	35.9	0.9	61.5
	泉	313	40.3	26.2	32.6	1.0	58.8
	今元	179	38.5	30.7	29.1	1.7	59.8
	菟島	35	40.0	20.0	37.1	2.9	57.1
	仲津	292	33.2	23.6	41.8	1.4	65.4
	行橋北	181	34.3	30.9	33.7	1.1	64.6
	無回答	1	100.0	－	－	－	－

(11) 老研指標総合評価

図表－5 1 老研指標総合評価



図表－5 2 性・年齢別 老研指標総合評価（「低下」の割合）



『手段的自立度（IADL）』・『知的能動性』・『社会的役割』を総合した評価結果（老研指標総合評価）における低下者（10点以下の者）の割合は全体で39.7%となっている。

性・年齢別にみると、低下者の割合は、女性はおおむね年齢とともに高くなる傾向にあり、男女とも85歳以上では6割強に達する。

総合事業該当状況別にみると、低下者の割合は一般高齢者で30.9%、総合事業対象者で57.6%を占める。

圏域別にみると、仲津（45.2%）で他に比べて低下者の割合が高くなっている。

小学校区別にみると、仲津校区（45.2%）で他に比べて低下者の割合が高くなっている（サンプル数の少ない簗島校区は除く）。

図表－５３ 該当状況別、圏域別、小学校区別 老研指標総合評価

単位：％

		調査数「人」	高い (11点以上)	やや高い (9～10点)	低い (8点以下)	判定不可	「再計」 (10点以下) 「低下」
全 体		2,003	59.6	23.5	16.2	0.7	39.7
該 当 状 況 別	一般	1,337	68.4	21.8	9.1	0.7	30.9
	総合事業	665	42.0	26.9	30.7	0.5	57.6
	判定不可	1	－	－	－	100.0	－
圏 域 別	行橋	657	59.1	25.0	15.4	0.6	40.4
	今元	214	62.1	22.0	14.5	1.4	36.5
	仲津	292	53.8	25.0	20.2	1.0	45.2
	泉	313	60.7	22.4	16.0	1.0	38.4
	中京	215	60.5	20.9	18.1	0.5	39.0
	長峽	311	62.7	22.8	14.5	－	37.3
	無回答	1	100.0	－	－	－	－
小 学 校 区 別	行橋	243	60.1	26.3	13.2	0.4	39.5
	行橋南	233	57.9	24.0	17.6	0.4	41.6
	椿市	52	67.3	23.1	9.6	－	32.7
	稗田	98	59.2	22.4	18.4	－	40.8
	延永	259	61.8	22.8	15.4	－	38.2
	今川	117	61.5	19.7	17.9	0.9	37.6
	泉	313	60.7	22.4	16.0	1.0	38.4
	今元	179	63.7	21.2	13.4	1.7	34.6
	菟島	35	54.3	25.7	20.0	－	45.7
	仲津	292	53.8	25.0	20.2	1.0	45.2
	行橋北	181	59.1	24.3	15.5	1.1	39.8
	無回答	1	100.0	－	－	－	－

第4章 生活機能等に関する詳細調査項目

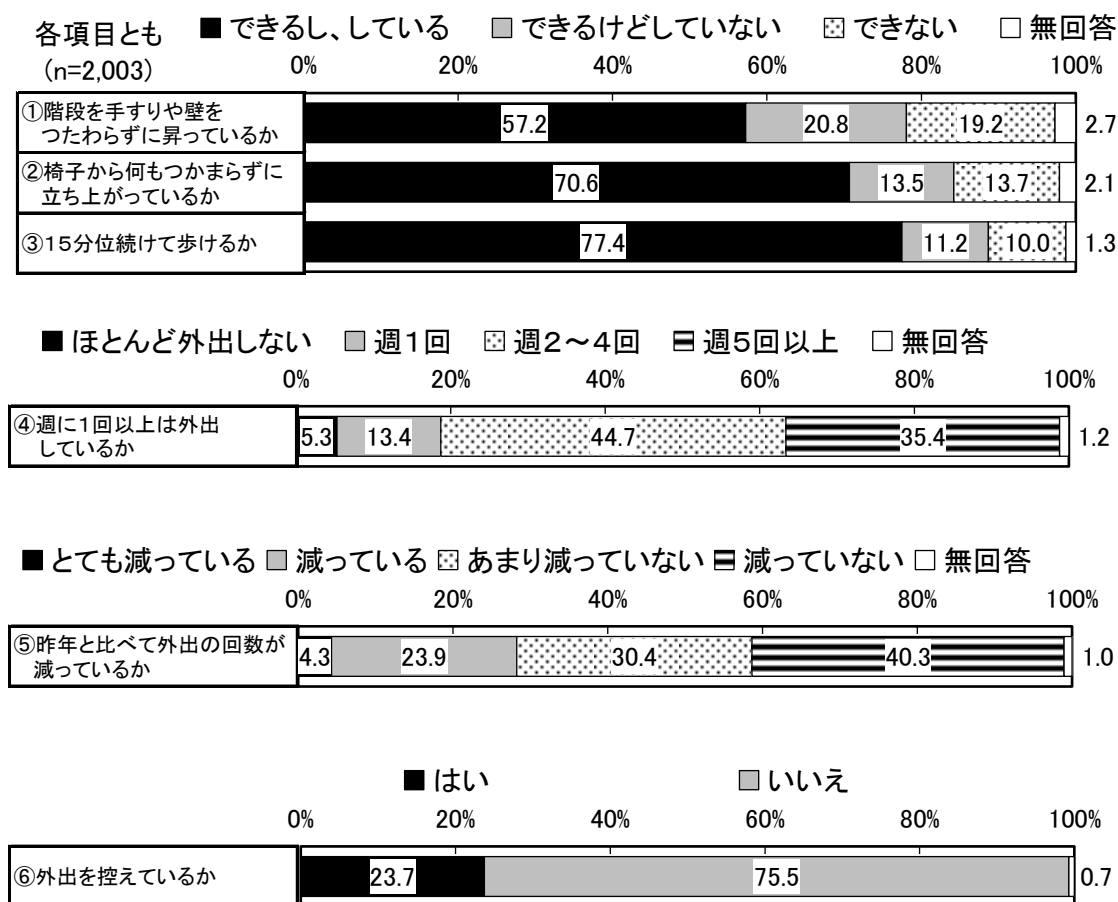
本章では、第3章 - 2の評価・判定のもととなった各調査項目の調査結果を分野ごとに詳述する。

1. 運動・閉じこもりについて

(1) 運動や外出の状況

問2 (1)～(3)、(6)～(8) 運動や外出の状況

図表－54 運動や外出の状況



運動や外出の状況について①～⑥の6項目の状況について質問した。

不安要素がある人の割合（①～③は「できない」、④は「ほとんど外出しない」「週1回」、⑤は「とても減っている」「減っている」、⑥は「はい」）に着目すると、⑤『外出が減っている』（28.2%）で最も高く、次いで⑥『外出を控えている』（23.7%）、①『階段を手すりや壁をつたわずに昇ることができない』（19.2%）、④『週に1回程度、またはほとんど外出していない』（18.7%）、②『椅子から何もつかまらずに立ち上がることができない』（13.7%）、③『15分位続けて歩くことができない』（10.0%）となっている。

性・年齢別にみると、いずれの項目でも、多くの年齢層で男性より女性の方で不安要素がある人の割合が高いが、③『15分位続けて歩くことができない』、④『週に1回程度、またはほとんど外出していない』、⑤『外出が減っている』の65～74歳、⑥『外出を控えている』の65～69歳で、男性の割合が高くなっている。

総合事業該当状況別にみると、一般高齢者と総合事業対象者ともに、⑤『昨年と比べて外出が減っている』（一般高齢者：17.2%、総合事業対象者：50.7%）が他の項目に比べ高くなっている。

圏域別にみると、今元では⑤『昨年と比べて外出が減っている』（32.2%）、⑥『外出を控えている』（25.7%）の割合が、仲津では①『階段を手すりや壁をつたわずに昇ることができない』（21.6%）、②『椅子から何もつかまらずに立ち上がることができない』（16.8%）、③『15分位続けて歩くことができない』（12.7%）、④『週に1回程度、またはほとんど外出していない』（22.6%）の割合が他の圏域と比べて高くなっている。

小学校区別にみると、行橋南校区では⑤『昨年と比べて外出が減っている』（32.6%）の割合（サンプル数の少ない養島校区は除く）が、椿市校区では④『週に1回程度、またはほとんど外出していない』（25.0%）の割合が、稗田校区では②『椅子から何もつかまらずに立ち上がることができない』（18.4%）の割合が、今川校区では⑥『外出を控えている』（27.4%）の割合が、仲津校区では①『階段を手すりや壁をつたわずに昇ることができない』（21.6%）、③『15分位続けて歩くことができない』（12.7%）の割合が他の校区と比べて高くなっている。

図表－５５ 性・年齢別、該当状況別、圏域別、小学校区別 運動や外出の状況
不安要素がある人の割合

（①～③は「できない」、④は「ほとんど外出しない」「週1回」、
⑤は「とても減っている」「減っている」、⑥は「はい」）

		調査数 「人」	① 階段を 手すり や壁 をつた わずに 昇るこ とがで きない	② 椅子か ら何も つかま らずに 立ち上 ることが できな い	③ 15分 位続け て歩く ことが できな い	④ 週に1 回程度 または ほとんど 外出し ない	⑤ 昨年と 比べて 外出が 減って いる	⑥ 外出を 控えて いる
全 体		2,003	19.2	13.7	10.0	18.7	28.2	23.7
性・ 年 齢 別	【男性 計】	912	13.9	10.4	8.9	16.7	26.1	19.3
	65～69歳	180	5.6	5.6	6.1	12.7	21.1	16.7
	70～74歳	289	9.3	7.3	5.2	12.8	23.2	15.6
	75～79歳	220	10.9	9.1	4.5	13.6	22.7	15.0
	80～84歳	136	22.1	11.8	14.0	19.9	31.6	25.0
	85歳以上	87	41.4	32.2	29.9	40.2	45.9	39.1
	【女性 計】	1,091	23.6	16.5	11.0	20.3	30.1	27.4
	65～69歳	186	9.7	7.0	4.8	9.1	19.3	14.5
	70～74歳	311	12.9	7.4	4.2	11.9	21.2	20.3
	75～79歳	258	20.9	12.4	5.0	15.5	33.0	25.2
	80～84歳	203	37.9	25.6	17.7	35.5	38.9	38.9
	85歳以上	133	51.9	45.1	36.8	42.1	46.6	48.9
	無回答	-	-	-	-	-	-	-
状 況 別	一般	1,337	5.5	1.5	1.3	10.9	17.2	12.9
	総合事業	665	46.9	38.3	27.5	34.3	50.7	45.4
	判定不可	1	-	-	-	-	-	-
圏 域 別	行橋	657	19.3	13.5	9.6	17.1	28.5	24.5
	今元	214	17.8	13.1	11.2	20.6	32.2	25.7
	仲津	292	21.6	16.8	12.7	22.6	28.4	25.3
	泉	313	16.6	12.1	9.9	13.7	24.6	19.8
	中京	215	20.9	15.3	8.8	20.0	30.7	23.3
	長峽	311	19.3	12.2	8.7	21.2	27.0	23.5
	無回答	1	-	-	-	-	-	-
小 学 校 区 別	行橋	243	19.3	12.3	9.1	18.1	25.1	25.5
	行橋南	233	19.7	15.0	11.6	17.1	32.6	24.5
	椿市	52	19.2	5.8	7.7	25.0	19.2	19.2
	稗田	98	21.4	18.4	8.2	19.4	28.5	18.4
	延永	259	19.3	13.5	8.9	20.4	28.6	24.3
	今川	117	20.5	12.8	9.4	20.5	32.5	27.4
	泉	313	16.6	12.1	9.9	13.7	24.6	19.8
	今元	179	17.9	14.0	11.7	22.4	30.7	25.7
	養島	35	17.1	8.6	8.6	11.4	40.0	25.7
	仲津	292	21.6	16.8	12.7	22.6	28.4	25.3
	行橋北	181	18.8	13.3	7.7	15.4	27.6	23.2
	無回答	1	-	-	-	-	-	-

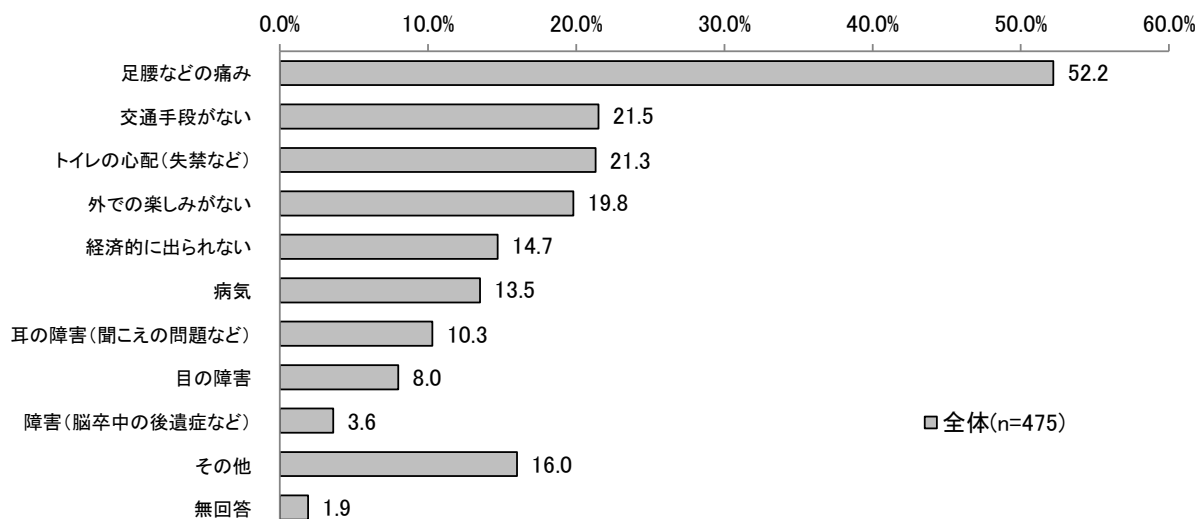
単位：%

(2) 外出を控えている理由

【(8)で「1. はい」(外出を控えている)の方のみ】

問2 (8)－①外出を控えている理由は、次のどれですか(いくつでも)

図表－56 外出を控えている理由



外出を控えている人(475人)にその理由を尋ねたところ、「足腰などの痛み」(52.2%)の割合が最も高く、次いで「交通手段がない」(21.5%)、「トイレの心配(失禁など)」(21.3%)となっている。

性・年齢別にみると、「足腰などの痛み」と「交通手段がない」では、多くの年齢層で女性が男性に比べ割合が高くなっている。一方で「外での楽しみがない」と「病気」と「障害(脳卒中の後遺症など)」では、男性が女性に比べ高い傾向があり、特に「外での楽しみがない」では、65～69歳において11.9ポイント高くなっている。

総合事業該当状況別にみると、一般高齢者、総合事業対象者共に「足腰などの痛み」(一般高齢者：30.1%、総合事業対象者：64.9%)が最も高くなっている。

圏域別にみると、いずれの圏域も「足腰などの痛み」が4割半ば～約6割ほどと最も高くなっている。「足腰などの痛み」は仲津(59.5%)で最も高くなっている。このほか「交通手段がない」は、長峽(30.1%)で他に比べて高くなっている。

小学校区別にみると、いずれの校区も「足腰などの痛み」が4割強～約6割ほどと最も高くなっている。「足腰などの痛み」は仲津校区(59.5%)が他の校区と比べて高くなっている(サンプル数の少ない椿市校区は除く)。このほか、「トイレの心配(失禁など)」は、行橋南校区(28.1%)が他の校区と比べて高く(サンプル数の少ない簗島校区は除く)、「外での楽しみがない」は、今元校区(28.3%)が他の校区と比べて高くなっている。

図表－５７ 性・年齢別、該当状況別、圏域別、小学校区別 外出を控えている理由

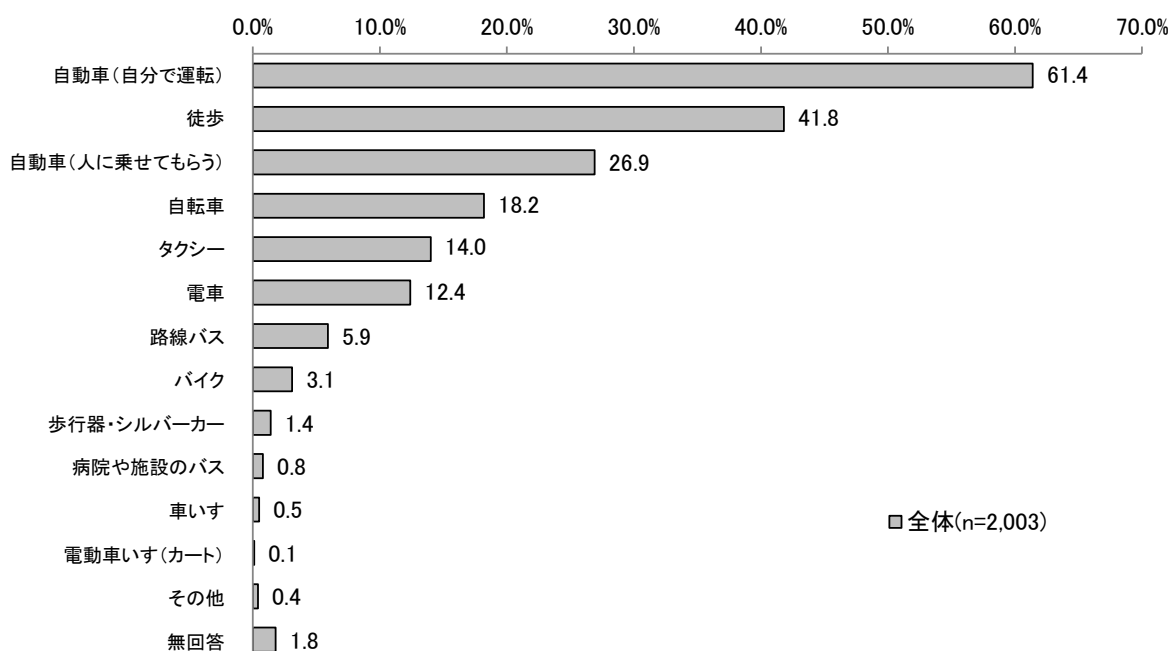
単位：％

		調査数「人」	足腰などの痛み	交通手段がない	トイレの心配（失禁など）	外での楽しみがない	経済的に出られない	病気	問題の障害（聞こえの問題など）	目の障害	障害（脳卒中の後遺症など）	その他	無回答
全 体		475	52.2	21.5	21.3	19.8	14.7	13.5	10.3	8.0	3.6	16.0	1.9
性・年齢別	【男性 計】	176	41.5	9.7	22.2	23.9	14.8	16.5	10.8	8.0	8.0	13.6	2.3
	65～69歳	30	23.3	6.7	23.3	26.7	30.0	16.7	3.3	6.7	13.3	16.7	3.3
	70～74歳	45	20.0	8.9	11.1	28.9	15.6	17.8	6.7	4.4	6.7	20.0	－
	75～79歳	33	33.3	6.1	21.2	30.3	21.2	24.2	6.1	15.2	－	12.1	3.0
	80～84歳	34	61.8	5.9	35.3	14.7	5.9	17.6	14.7	5.9	5.9	5.9	5.9
	85歳以上	34	73.5	20.6	23.5	17.6	2.9	5.9	23.5	8.8	14.7	11.8	－
	【女性 計】	299	58.5	28.4	20.7	17.4	14.7	11.7	10.0	8.0	1.0	17.4	1.7
	65～69歳	27	51.9	7.4	18.5	14.8	25.9	14.8	7.4	3.7	－	22.2	－
	70～74歳	63	42.9	17.5	12.7	22.2	15.9	17.5	3.2	1.6	1.6	27.0	4.8
	75～79歳	65	60.0	26.2	16.9	26.2	15.4	9.2	4.6	7.7	1.5	15.4	1.5
	80～84歳	79	57.0	40.5	24.1	12.7	13.9	12.7	12.7	12.7	1.3	15.2	－
	85歳以上	65	76.9	35.4	29.2	10.8	9.2	6.2	20.0	10.8	－	10.8	1.5
	無回答	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
状況別	一般	173	30.1	20.8	9.2	20.8	15.6	8.7	6.4	7.5	2.3	22.5	1.7
	総合事業	302	64.9	21.9	28.1	19.2	14.2	16.2	12.6	8.3	4.3	12.3	2.0
	判定不可	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
圏域別	行橋	161	49.7	20.5	21.7	19.3	17.4	13.7	11.2	8.1	4.3	13.0	1.9
	今元	55	49.1	14.5	21.8	23.6	10.9	14.5	16.4	10.9	3.6	20.0	1.8
	仲津	74	59.5	29.7	27.0	21.6	13.5	10.8	12.2	5.4	4.1	16.2	－
	泉	62	46.8	12.9	22.6	14.5	8.1	16.1	6.5	4.8	1.6	27.4	3.2
	中京	50	56.0	18.0	8.0	20.0	14.0	14.0	8.0	10.0	6.0	18.0	2.0
	長峽	73	54.8	30.1	21.9	20.5	19.2	12.3	6.8	9.6	1.4	8.2	2.7
	無回答	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
小学校区別	行橋	62	51.6	17.7	19.4	24.2	8.1	16.1	4.8	4.8	9.7	11.3	1.6
	行橋南	57	42.1	15.8	28.1	15.8	26.3	14.0	14.0	8.8	－	10.5	1.8
	椿市	10	70.0	40.0	20.0	20.0	－	30.0	10.0	10.0	－	－	10.0
	稗田	18	55.6	27.8	11.1	16.7	5.6	16.7	11.1	5.6	5.6	16.7	5.6
	延永	63	52.4	28.6	22.2	20.6	22.2	9.5	6.3	9.5	1.6	9.5	1.6
	今川	32	56.3	12.5	6.3	21.9	18.8	12.5	6.3	12.5	6.3	18.8	－
	泉	62	46.8	12.9	22.6	14.5	8.1	16.1	6.5	4.8	1.6	27.4	3.2
	今元	46	50.0	15.2	17.4	28.3	13.0	13.0	17.4	10.9	4.3	19.6	2.2
	菟島	9	44.4	11.1	44.4	－	－	22.2	11.1	11.1	－	22.2	－
	仲津	74	59.5	29.7	27.0	21.6	13.5	10.8	12.2	5.4	4.1	16.2	－
	行橋北	42	57.1	31.0	16.7	16.7	19.0	9.5	16.7	11.9	2.4	19.0	2.4
	無回答	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－

(3) 外出時の移動手段

問2 (9) 外出する際の移動手段は何ですか (いくつでも)

図表－58 外出時の移動手段



外出時の移動手段は「自動車（自分で運転）」(61.4%)の割合が最も高く6割強を占めており、次いで「徒歩」(41.8%)、「自動車（人に乗せてもらう）」(26.9%)、「自転車」(18.2%)、「タクシー」(14.0%)となっている。

性・年齢別にみると、「自動車（自分で運転）」、「自転車」では、ほとんどの年齢層で男性が女性に比べ割合が高くなっている。一方で「自動車（人に乗せてもらう）」、「タクシー」では、各年齢層で女性が男性に比べ高くなっている。このほか「徒歩」では85歳以上において男性が女性に比べて11.7ポイント高くなっている。

総合事業該当状況別にみると、一般高齢者では「自動車（自分で運転）」(69.1%)が最も高く、次いで「徒歩」(45.7%)となっている。総合事業対象者では「自動車（自分で運転）」(45.9%)が最も高く、次いで「自動車（人に乗せてもらう）」(38.5%)となっている。

圏域別にみると、「自動車（自分で運転）」では今元(66.8%)が、「徒歩」では行橋(49.0%)が他の圏域と比べて最も高くなっている。

小学校区別にみると、「自動車（自分で運転）」では稗田校区(71.4%)が(サンプル数の少ない簗島校区は除く)、「徒歩」では行橋北校区(54.7%)が他の校区と比べて最も高くなっている。

図表－５９ 性・年齢別、該当状況別、圏域別、小学校区別 外出時の移動手段

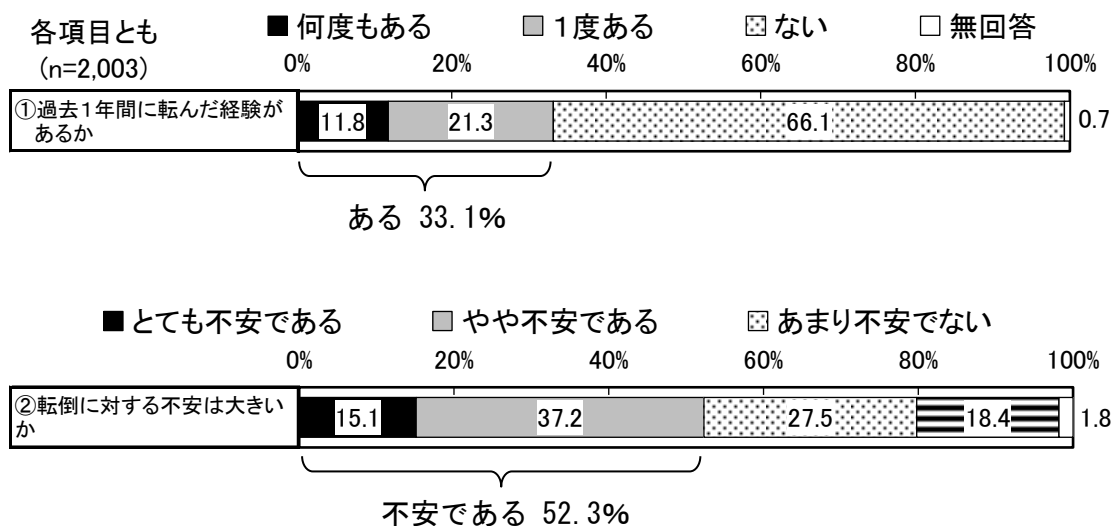
単位：％																
		調査数 「人」	自動車 （自分で運 転）	徒歩	自動車 （人に乗せて もらう）	自転車	タクシ ー	電車	路線バ ス	バイク	カー ・歩行 器・シル バー	病院や 施設のバ ス	車い す	電動 車いす （カー ト）	その他	無回 答
全 体		2,003	61.4	41.8	26.9	18.2	14.0	12.4	5.9	3.1	1.4	0.8	0.5	0.1	0.4	1.8
性・年 齢 別	【男性 計】	912	78.1	42.1	14.3	21.2	7.8	12.2	3.5	4.6	0.8	0.7	0.7	0.1	0.2	1.8
	65～69歳	180	87.2	42.8	10.0	16.1	4.4	18.3	3.3	7.2	－	－	－	－	－	2.2
	70～74歳	289	85.8	38.4	8.7	19.0	4.8	11.1	1.7	4.2	0.3	－	0.7	－	0.3	1.4
	75～79歳	220	84.1	47.7	11.4	27.3	5.5	11.8	4.1	4.1	－	0.9	－	－	－	0.9
	80～84歳	136	68.4	39.7	22.8	22.8	12.5	9.6	5.9	5.1	2.2	1.5	1.5	－	－	2.9
	85歳以上	87	33.3	42.5	35.6	20.7	23.0	8.0	4.6	1.1	3.4	2.3	2.3	1.1	1.1	2.3
	【女性 計】	1,091	47.4	41.6	37.5	15.7	19.2	12.6	7.9	1.9	1.9	1.0	0.4	0.1	0.6	1.9
	65～69歳	186	81.2	41.9	26.9	12.4	7.5	17.7	2.7	1.6	0.5	0.5	－	－	1.1	－
	70～74歳	311	60.1	43.7	33.1	20.3	11.3	15.8	6.8	2.3	－	0.6	0.3	－	－	0.3
	75～79歳	258	48.8	45.0	35.3	14.0	16.3	11.6	9.3	2.3	1.2	1.2	0.4	－	0.4	3.1
	80～84歳	203	21.2	40.9	46.3	19.2	30.5	9.4	11.3	1.5	2.5	0.5	0.5	0.5	1.5	4.4
85歳以上	133	7.5	30.8	53.4	7.5	42.1	5.3	9.8	1.5	9.0	3.0	0.8	－	0.8	2.3	
	無回答	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－
状 況 別	一般	1,337	69.1	45.7	21.2	19.1	10.5	14.7	5.7	3.7	0.4	0.4	－	－	0.3	1.9
	総合事業 判定不可	665	45.9	34.1	38.5	16.2	21.1	7.8	6.3	2.0	3.3	1.8	1.5	0.3	0.8	1.7
		1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	100.0
圏 域 別	行橋	657	56.8	49.0	27.1	21.8	17.0	15.7	5.2	2.1	2.1	0.8	0.6	－	0.5	1.5
	今元	214	66.8	29.4	22.0	22.4	12.1	2.8	7.0	4.2	0.9	0.5	0.5	－	0.5	2.3
	仲津	292	58.9	37.7	28.4	11.0	12.0	15.1	6.8	1.7	1.4	1.7	0.7	0.7	0.7	4.1
	泉	313	64.2	48.2	26.2	16.0	8.9	13.4	6.1	4.8	－	1.3	0.3	－	0.3	1.6
	中京	215	66.0	36.3	27.9	14.4	13.0	10.7	7.0	3.3	0.9	－	0.9	－	0.5	0.5
	長峽	311	63.3	36.3	28.6	19.0	16.4	9.6	4.8	4.2	1.9	0.6	－	－	0.3	1.3
	無回答	1	100.0	100.0	－	100.0	－	100.0	－	－	－	－	－	－	－	－
小 学 校 区 別	行橋	243	59.3	46.1	24.3	22.6	14.4	17.7	3.3	2.1	2.1	0.8	1.2	－	0.8	1.6
	行橋南	233	55.8	47.6	30.5	22.3	17.6	18.9	5.6	3.0	2.1	0.9	－	－	－	2.1
	椿市	52	69.2	26.9	28.8	7.7	17.3	3.8	11.5	3.8	－	－	－	－	1.9	－
	稗田	98	71.4	34.7	29.6	12.2	13.3	10.2	8.2	4.1	－	－	1.0	－	－	1.0
	延永	259	62.2	38.2	28.6	21.2	16.2	10.8	3.5	4.2	2.3	0.8	－	－	－	1.5
	今川	117	61.5	37.6	26.5	16.2	12.8	11.1	6.0	2.6	1.7	－	0.9	－	0.9	－
	泉	313	64.2	48.2	26.2	16.0	8.9	13.4	6.1	4.8	－	1.3	0.3	－	0.3	1.6
	今元	179	65.9	30.2	21.2	24.0	12.8	2.8	6.7	4.5	1.1	－	－	－	0.6	2.8
	養島	35	71.4	25.7	25.7	14.3	8.6	2.9	8.6	2.9	－	2.9	2.9	－	－	－
	仲津	292	58.9	37.7	28.4	11.0	12.0	15.1	6.8	1.7	1.4	1.7	0.7	0.7	0.7	4.1
	行橋北	181	54.7	54.7	26.5	19.9	19.9	8.8	7.2	1.1	2.2	0.6	0.6	－	0.6	0.6
	無回答	1	100.0	100.0	－	100.0	－	100.0	－	－	－	－	－	－	－	－

2. 転倒について

(1) 転倒の状況

問2 (4)、(5) 転倒の状況

図表－60 転倒の状況



転倒の状況について①～②の2項目の状況について質問した。

不安要素がある人の割合（①は「何度もある」「1度ある」、②は「とても不安である」「やや不安である」の割合）は、①『過去1年間に転んだことがある』（33.1%）が3割強、②『転倒に対する不安が大きい』（52.3%）が5割強となっている。

性・年齢別にみると、②『転倒に対する不安が大きい』で、全ての年齢層で女性が男性に比べ不安要素がある人の割合が高くなっている。

総合事業該当状況別にみると、どちらの項目でも総合事業対象者が一般高齢者を大きく上回っている。

圏域別にみると、どちらの項目でも中京で他の圏域と比べて高くなっている（①『過去1年間に転んだことがある』中京（35.4%）、②『転倒に対する不安が大きい』中京（56.7%））。

小学校区別にみると、①『過去1年間に転んだことがある』では椿市校区（38.4%）が、②『転倒に対する不安が大きい』では今川校区（60.6%）が他の校区と比べて最も高くなっている。

図表－61 性・年齢別、該当状況別、圏域別、小学校区別 転倒の状況

不安要素がある人の割合
 (①は「何度もある」「1度ある」、②は「とても不安である」「やや不安である」)

単位：％

		調 査 数 「人」	①過去1年間に転んだ経験があるか	②転倒に対する不安は大きいのか
全 体		2,003	33.1	52.3
性・年 齢 別	【男性 計】	912	32.3	42.1
	65～69歳	180	25.0	36.1
	70～74歳	289	27.4	38.1
	75～79歳	220	32.7	38.7
	80～84歳	136	42.6	54.4
	85歳以上	87	47.1	57.5
	【女性 計】	1,091	33.8	60.9
	65～69歳	186	24.2	45.7
	70～74歳	311	28.6	56.3
	75～79歳	258	34.1	61.2
	80～84歳	203	40.4	70.0
85歳以上	133	48.9	78.2	
	無回答	－	－	－
状 況 別	一般	1,337	21.7	37.7
	総合事業	665	56.2	81.8
	判定不可	1	－	－
圏 域 別	行橋	657	34.0	51.7
	今元	214	34.1	52.3
	仲津	292	31.6	56.2
	泉	313	29.7	48.8
	中京	215	35.4	56.7
	長峽	311	34.4	50.5
	無回答	1	－	－
小 学 校 区 別	行橋	243	30.9	46.5
	行橋南	233	35.6	54.1
	椿市	52	38.4	59.6
	稗田	98	32.7	52.0
	延永	259	33.6	48.7
	今川	117	37.6	60.6
	泉	313	29.7	48.8
	今元	179	35.2	53.1
	養島	35	28.5	48.5
	仲津	292	31.6	56.2
	行橋北	181	36.0	55.8
	無回答	1	－	－

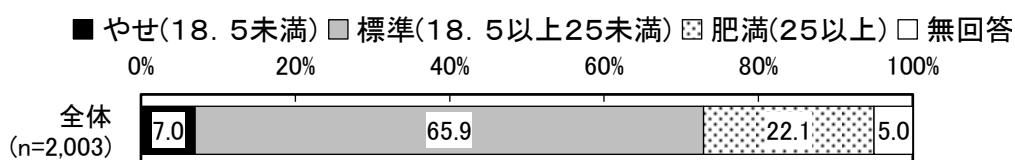
3. 口腔・栄養について

(1) 体重等の状況

問3 (1) 身長・体重

問3 (7) 6か月間で2～3kg以上の体重減少がありましたか。

図表－62 BMI

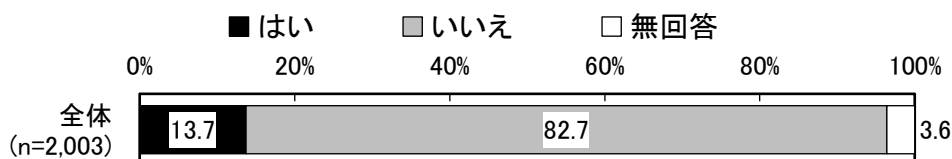


BMI [ボディ・マス・インデックス (Body Mass Index)]

…身長・体重から次の式で算出される肥満指数

(計算式) BMI = 体重 [kg] / (身長 [m] × 身長 [m])

図表－63 6か月間の体重減少の有無



身長・体重から算出したBMIで体格の状況を見ると、「標準」(65.9%)の割合が最も高く、次いで「肥満」(22.1%)、「やせ」(7.0%)となっている。

また、6か月間のうちに2～3kg以上の体重減少があった人は、全体の13.7%を占めている。

BMIを性・年齢別にみると、低栄養状態のおそれがある「やせ」の割合は、男性(4.9%)よりも女性(8.7%)で高く、全ての年齢層において女性の方が高くなっている。

総合事業該当状況別にみると、「やせ」の割合は、一般高齢者(5.4%)よりも総合事業対象者(10.2%)で高くなっている。

6か月間のうちに2～3kg以上の体重減少があった人について、性・年齢別にみると、女性(11.4%)よりも男性(16.4%)で高く、85歳以上を除いた全ての年齢層において男性の方が高くなっている。

総合事業該当状況別にみると、一般高齢者(9.9%)よりも総合事業対象者(21.2%)で高くなっている。

図表－64 性・年齢別、該当状況別 BMI

単位: %

		調査数 「人」	満や せ (18 ・ 5 未	2標 準 (18 ・ 5 以上	肥満 (25 以上)	無 回 答
全 体		2,003	7.0	65.9	22.1	5.0
性・ 年 齢 別	【男性 計】	912	4.9	66.7	24.2	4.2
	65～69歳	180	5.0	63.9	28.3	2.8
	70～74歳	289	3.5	67.5	26.6	2.4
	75～79歳	220	4.1	67.7	24.5	3.6
	80～84歳	136	9.6	65.4	17.6	7.4
	85歳以上	87	4.6	69.0	17.2	9.2
	【女性 計】	1,091	8.7	65.2	20.3	5.8
	65～69歳	186	11.3	63.4	23.1	2.2
	70～74歳	311	7.4	67.2	23.2	2.3
	75～79歳	258	5.8	71.7	17.8	4.7
	80～84歳	203	9.9	61.1	16.7	12.3
	85歳以上	133	12.0	56.4	20.3	11.3
	無回答	—	—	—	—	—
状 況 別	一般	1,337	5.4	69.0	21.6	4.0
	総合事業	665	10.2	59.7	23.2	6.9
	判定不可	1	—	—	—	100.0

図表－65 性・年齢別、該当状況別 6か月間の体重減少の有無

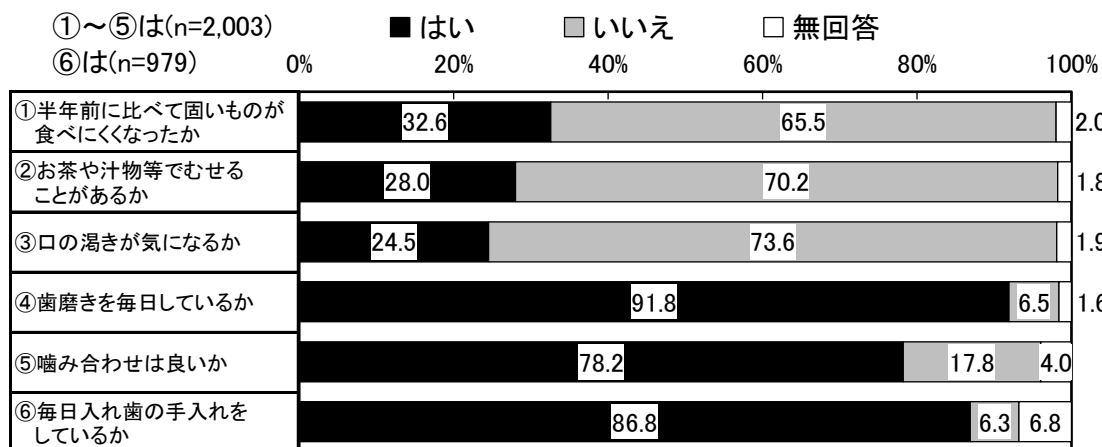
単位: %

		調査数 「人」	はい	いいえ	無 回 答
全 体		2,003	13.7	82.7	3.6
性・ 年 齢 別	【男性 計】	912	16.4	79.9	3.6
	65～69歳	180	16.1	79.4	4.4
	70～74歳	289	17.3	79.9	2.8
	75～79歳	220	17.7	79.5	2.7
	80～84歳	136	14.7	81.6	3.7
	85歳以上	87	13.8	79.3	6.9
	【女性 計】	1,091	11.4	85.1	3.6
	65～69歳	186	10.2	87.6	2.2
	70～74歳	311	9.6	88.7	1.6
	75～79歳	258	10.9	84.1	5.0
	80～84歳	203	11.8	82.8	5.4
	85歳以上	133	17.3	78.2	4.5
	無回答	—	—	—	—
状 況 別	一般	1,337	9.9	86.7	3.4
	総合事業	665	21.2	74.9	3.9
	判定不可	1	—	—	100

(2) 口腔の状況

問3 (2) ~ (5)、(6) ①② 口腔の状況

図表－66 口腔の状況



口腔の状況について①～⑥の6項目の状況について質問した。

不安要素がある人の割合（①～③は「はい」、④～⑥は「いいえ」）に着目すると、①『固いものが食べにくくなった』（32.6%）が最も高く、次いで②『お茶や汁物等でむせる』（28.0%）、③『口の渇きが気になる』（24.5%）となっている。

性・年齢別にみると、③『口の渇きが気になる』、⑤『噛み合わせが良くない』では、75歳以上の年齢層で女性の方が男性よりも割合が高くなっている。一方で、④『歯磨きを毎日していない』では、全ての年齢層で男性の方が女性よりも割合が高くなっている。

総合事業該当状況別にみると、総合事業対象者はいずれも一般高齢者の割合を上回っており、特に①『固いものが食べにくくなった』（66.8%）、②『お茶や汁物等でむせる』（60.9%）、③『口の渇きが気になる』（55.5%）ではその傾向が顕著である。

圏域別にみると、今元では①『固いものが食べにくくなった』（36.9%）で、行橋と仲津では②『お茶や汁物等でむせる』（ともに30.1%）で、仲津では⑤『噛み合わせが良くない』（22.9%）で、不安要素がある人の割合が他の圏域と比べて高くなっている。

小学校区別にみると、今元校区では①『固いものが食べにくくなった』（36.9%）で、行橋北校区では②『お茶や汁物等でむせる』（30.9%）で、今元校区では③『口の渇きが気になる』（30.7%）で、今川校区では⑤『噛み合わせが良くない』（23.1%）で、不安要素がある人の割合が他の校区と比べて高くなっている（サンプル数の少ない箕島校区は除く）。

図表－67 性・年齢別、該当状況別、圏域別、小学校区別 口腔の状況

不安要素がある人の割合（①～③は「はい」、④～⑥は「いいえ」）

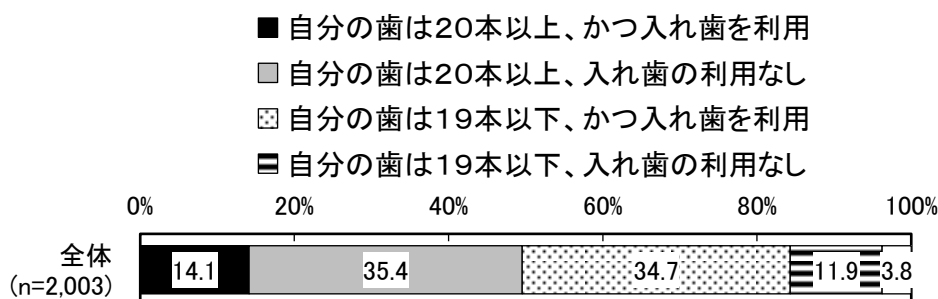
単位：％

		調査数「人」	① 半年前 に比べて 固く固 くない ものか	② お茶や 汁物等 でむせ ることが あるか	③ 口の渇 きが気 にな るか	④ 歯磨き を毎日 して いるか	⑤ 噛みあ わせは 良い か	調査数「人」	⑥ 毎日入 れ歯の 手入れ している か
全 体		2,003	32.6	28.0	24.5	6.5	17.8	979	6.3
性・ 年 齢 別	【男性 計】	912	32.0	27.1	23.0	9.2	18.9	459	7.8
	65～69歳	180	21.7	18.9	19.4	11.1	22.8	55	10.9
	70～74歳	289	30.8	23.9	23.2	7.3	18.0	131	9.9
	75～79歳	220	31.4	29.1	21.4	10.5	20.5	126	6.3
	80～84歳	136	36.0	39.0	28.7	7.4	13.2	91	6.6
	85歳以上	87	52.9	31.0	25.3	11.5	18.4	56	5.4
	【女性 計】	1,091	33.0	28.7	25.7	4.3	17.0	520	5.0
	65～69歳	186	20.4	22.6	20.4	2.2	15.6	48	10.4
	70～74歳	311	30.5	28.9	20.6	3.5	12.9	130	3.8
	75～79歳	258	29.8	30.2	26.7	3.5	15.9	136	5.9
	80～84歳	203	45.8	27.6	32.5	8.4	21.7	120	2.5
	85歳以上	133	42.9	35.3	32.3	4.5	23.3	86	5.8
	無回答	—	—	—	—	—	—	—	—
状 況 別	一般	1,337	15.6	11.6	9.1	5.2	10.5	576	4.7
	総合事業	665	66.8	60.9	55.5	9.2	32.6	403	8.7
	判定不可	1	—	—	—	—	—	—	—
圏 域 別	行橋	657	35.2	30.1	24.2	7.3	16.3	309	6.5
	今元	214	36.9	28.0	29.9	7.0	20.1	112	5.4
	仲津	292	33.6	30.1	24.7	5.8	22.9	153	7.2
	泉	313	24.9	24.6	22.0	6.7	14.7	140	6.4
	中京	215	29.3	24.2	25.1	7.0	19.1	100	5.0
	長峽	311	33.1	27.3	23.2	4.8	17.0	164	6.7
	無回答	1	—	—	—	—	—	1	—
小 学 校 区 別	行橋	243	32.5	30.0	23.5	7.4	16.0	105	5.7
	行橋南	233	35.6	29.6	23.2	7.3	16.7	117	7.7
	椿市	52	34.6	30.8	21.2	3.8	17.3	29	10.3
	稗田	98	22.4	20.4	26.5	8.2	14.3	46	4.3
	延永	259	32.8	26.6	23.6	5.0	17.0	135	5.9
	今川	117	35.0	27.4	23.9	6.0	23.1	54	5.6
	泉	313	24.9	24.6	22.0	6.7	14.7	140	6.4
	今元	179	36.9	29.1	30.7	5.6	21.2	96	5.2
	菟島	35	37.1	22.9	25.7	14.3	14.3	16	6.3
	仲津	292	33.6	30.1	24.7	5.8	22.9	153	7.2
	行橋北	181	38.1	30.9	26.5	7.2	16.0	87	5.7
	無回答	1	—	—	—	—	—	1	—

(3) 歯の数と入れ歯の利用状況

問3 (6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください。
(成人の歯の総本数は、親知らずを含めて32本です)

図表－68 歯の数と入れ歯の利用状況



歯の数と入れ歯の利用状況を尋ねたところ、「自分の歯は20本以上、入れ歯の利用なし」(35.4%)の割合が最も高く、次いで「自分の歯は19本以下、かつ入れ歯を利用」(34.7%)、「自分の歯は20本以上、かつ入れ歯を利用」(14.1%)、「自分の歯は19本以下、入れ歯の利用なし」(11.9%)となっている。

性・年齢別にみると、『自分の歯は20本以上』の割合は、男女ともに年齢層が上がるにつれて減少し、『入れ歯を利用』の割合は、男女ともに年齢層が上がるにつれて増加している。

総合事業該当状況別にみると、『自分の歯は20本以上』の割合は一般高齢者で57.3%、総合事業対象者で33.8%、『入れ歯を利用』の割合は一般高齢者で43.0%、総合事業対象者で60.6%となっており、いずれも差がみられる。

圏域別にみると、『自分の歯は20本以上』の割合は泉(55.0%)で他の圏域と比べて高く、『入れ歯を利用』の割合は長峽(52.7%)で他の圏域と比べて高くなっている。

小学校区別にみると、『自分の歯は20本以上』の割合は稗田校区(55.1%)で他の校区と比べて高く、『入れ歯を利用』の割合は椿市校区(55.8%)で他の校区と比べて高くなっている。

図表－69 性・年齢別、該当状況別、圏域別、小学校区別 歯の数と入れ歯の利用状況

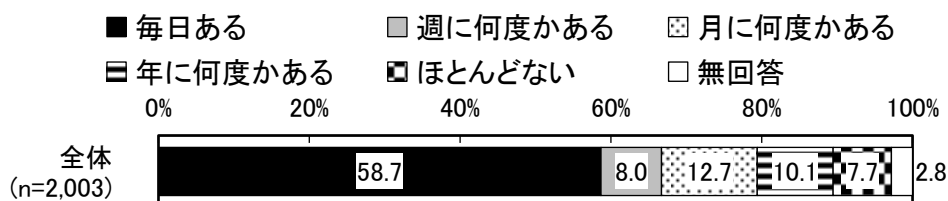
単位：％

		調査数 「人」	用上 自 、分 かつ 入れ 歯は 2 歯0 を本 利以	し上 自 、分 入れ 歯は の2 利0 用本 な以	用下 自 、分 かつ 入れ 歯は 1 歯9 を本 利以	し下 自 、分 入れ 歯は の1 利9 用本 な以	無 回 答	2 0 百 分 本 以 上 の 歯 は	「 入 れ 歯 を 利 用 」
全 体		2,003	14.1	35.4	34.7	11.9	3.8	49.5	48.8
性・ 年 齢 別	【男性 計】	912	14.5	34.1	35.9	12.1	3.5	48.6	50.4
	65～69歳	180	10.0	50.0	20.6	15.0	4.4	60.0	30.6
	70～74歳	289	14.9	37.4	30.4	15.9	1.4	52.3	45.3
	75～79歳	220	18.2	29.1	39.1	10.5	3.2	47.3	57.3
	80～84歳	136	16.2	24.3	50.7	4.4	4.4	40.5	66.9
	85歳以上	87	10.3	18.4	54.0	9.2	8.0	28.7	64.3
	【女性 計】	1,091	13.8	36.5	33.8	11.8	4.0	50.3	47.6
	65～69歳	186	8.6	59.1	17.2	14.5	0.5	67.7	25.8
	70～74歳	311	13.8	42.8	28.0	13.5	1.9	56.6	41.8
	75～79歳	258	18.6	33.3	34.1	8.5	5.4	51.9	52.7
	80～84歳	203	15.3	22.2	43.8	11.3	7.4	37.5	59.1
	85歳以上	133	9.8	18.0	54.9	11.3	6.0	27.8	64.7
	無回答	—	—	—	—	—	—	—	—
状 況 別	一般	1,337	15.0	42.3	28.0	10.8	3.8	57.3	43.0
	総合事業	665	12.3	21.5	48.3	14.3	3.6	33.8	60.6
	判定不可	1	—	—	—	—	100.0	—	—
圏 域 別	行橋	657	14.2	35.9	32.9	13.1	4.0	50.1	47.1
	今元	214	12.6	29.9	39.7	11.7	6.1	42.5	52.3
	仲津	292	12.0	31.2	40.4	12.0	4.5	43.2	52.4
	泉	313	14.4	40.6	30.4	11.5	3.2	55.0	44.8
	中京	215	16.3	38.6	30.2	12.1	2.8	54.9	46.5
	長峽	311	15.4	34.7	37.3	10.0	2.6	50.1	52.7
	無回答	1	—	—	100.0	—	—	—	—
小 学 校 区 別	行橋	243	13.6	41.2	29.6	11.1	4.5	54.8	43.2
	行橋南	233	15.0	30.9	35.2	14.6	4.3	45.9	50.2
	椿市	52	7.7	34.6	48.1	9.6	—	42.3	55.8
	稗田	98	15.3	39.8	31.6	12.2	1.0	55.1	46.9
	延永	259	17.0	34.7	35.1	10.0	3.1	51.7	52.1
	今川	117	17.1	37.6	29.1	12.0	4.3	54.7	46.2
	泉	313	14.4	40.6	30.4	11.5	3.2	55.0	44.8
	今元	179	12.8	31.3	40.8	9.5	5.6	44.1	53.6
	菟島	35	11.4	22.9	34.3	22.9	8.6	34.3	45.7
	仲津	292	12.0	31.2	40.4	12.0	4.5	43.2	52.4
	行橋北	181	13.8	35.4	34.3	13.8	2.8	49.2	48.1
	無回答	1	—	—	100.0	—	—	—	—

(4) 誰かと食事をとる頻度

問3 (8) どなたかと食事をとる機会がありますか。

図表-70 誰かと食事をとる頻度



誰かと食事をとる頻度を尋ねたところ、「毎日ある」(58.7%)の割合が最も高く、次いで「月に何度かある」(12.7%)、「年に何度かある」(10.1%)となっている。

性・年齢別にみると、「毎日ある」の割合は65～69歳を除いた全ての年齢層で、男性の方が女性より高くなっている。

総合事業該当状況別にみると、「毎日ある」の割合は総合事業対象者(54.0%)よりも一般高齢者(61.1%)の方が高くなっている。

世帯構成別にみると、1人暮らしでは「毎日ある」(8.1%)の割合が他の世帯と比べて極端に低く、「毎日ある」以外の項目で他の世帯と比べて高くなっている。

図表-71 性・年齢別、該当状況別、世帯構成別 誰かと食事をとる頻度

単位: %

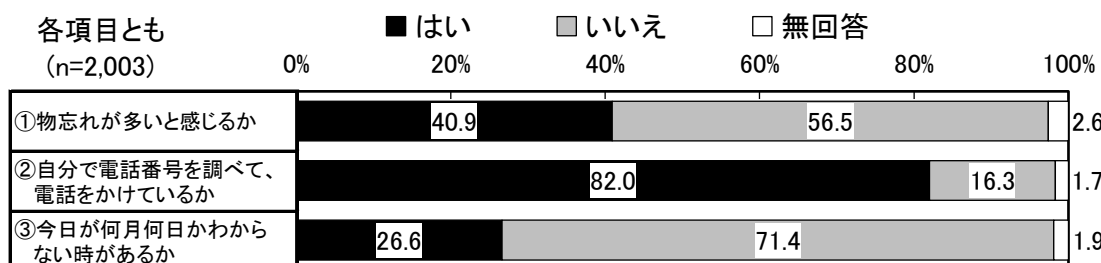
	調査数 [人]	毎日 ある	週に 何度 かある	月に 何度 かある	年に 何度 かある	ほと んど ない	無 回 答
全 体	2,003	58.7	8.0	12.7	10.1	7.7	2.8
性・ 年 齢 別	【男性 計】	912	62.8	6.0	9.3	9.5	2.9
	65～69歳	180	71.1	5.6	8.9	4.4	3.3
	70～74歳	289	61.6	7.6	9.7	10.0	1.7
	75～79歳	220	66.8	4.1	5.9	10.5	2.3
	80～84歳	136	56.6	7.4	12.5	10.3	3.7
	85歳以上	87	49.4	4.6	12.6	14.9	5.7
	【女性 計】	1,091	55.3	9.7	15.5	10.5	2.7
	65～69歳	186	77.4	9.1	6.5	4.8	-
	70～74歳	311	61.4	9.3	12.5	10.9	1.9
	75～79歳	258	54.7	8.5	15.9	10.9	3.9
	80～84歳	203	37.4	11.3	22.7	13.8	4.9
	85歳以上	133	38.3	11.3	23.3	12.0	3.0
	無回答	-	-	-	-	-	-
状 況 別	一般	1,337	61.1	7.2	12.8	10.1	2.8
	総合事業	665	54.0	9.8	12.5	10.1	2.7
	判定不可	1	-	-	-	-	100.0
世 帯 構 成 別	1人暮らし	396	8.1	18.4	29.8	21.0	3.0
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	934	69.8	4.8	8.9	9.0	2.6
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	91	70.3	8.8	8.8	3.3	5.5
	息子・娘との2世帯	218	75.2	7.3	6.0	5.5	1.8
	その他	292	76.4	4.5	7.2	5.5	2.4
	無回答	72	56.9	8.3	15.3	5.6	5.6

4. 認知機能について

(1) 物忘れの状況

問4 (1) ~ (3) 物忘れの状況

図表－72 物忘れの状況



物忘れの状況について①～③の3項目の状況について質問した。

不安要素がある人の割合（①・③は「はい」、②は「いいえ」）は、①『物忘れが多いと感じる』（40.9%）で最も高く、次いで③『今日が何月何日かわからない時がある』（26.6%）、②『自分で電話番号を調べて電話をかけていない』（16.3%）となっている。

性・年齢別にみると、全ての項目で、おおむね年齢層が上がるほど割合も高くなっている。

総合事業該当状況別にみると、全ての項目で、不安要素がある人の割合は総合事業対象者が一般高齢者を上回っており、特に①『物忘れが多いと感じる』（59.8%）、③『今日が何月何日かわからない時がある』（42.1%）ではその差が大きくなっている。

圏域別にみると、①『物忘れが多いと感じる』では、仲津（46.9%）の割合が他の圏域と比べて高くなっている。

小学校区別にみると、①『物忘れが多いと感じる』については、仲津校区（46.9%）の割合が、②『自分で電話番号を調べて電話をかけていない』については、泉校区（18.8%）の割合が、③『今日が何月何日かわからない時がある』については、椿市校区（34.6%）の割合が他の校区と比べて高くなっている。

図表－73 性・年齢別、該当状況別、圏域別、小学校区別 物忘れの状況
不安要素がある人の割合（①・③は「はい」、②は「いいえ」）

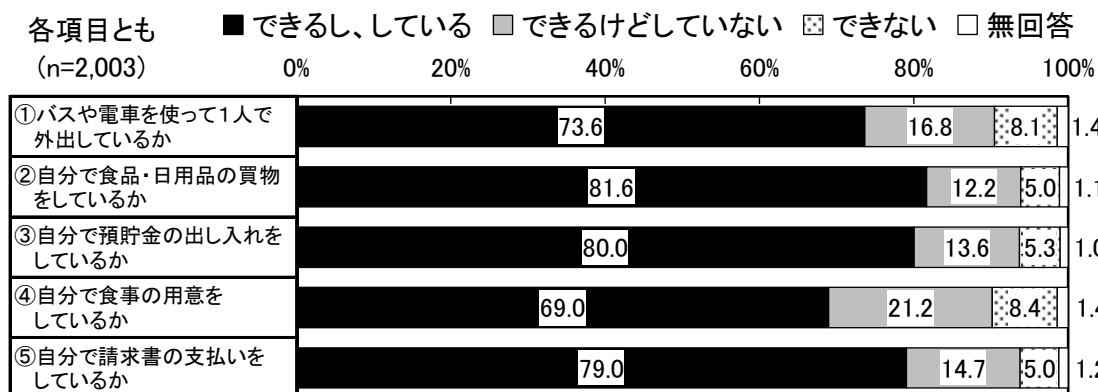
		単位：％			
		調査数 「人」	① 物忘れが多いと 感じるか	② 自分で電話を かけて番号を 覚えるか	③ かわか 今日が何月何日か あるか
全 体		2,003	40.9	16.3	26.6
性・ 年 齢 別	【男性 計】	912	38.7	19.5	26.9
	65～69歳	180	30.6	22.2	27.8
	70～74歳	289	37.7	17.6	25.6
	75～79歳	220	38.2	15.9	22.7
	80～84歳	136	51.5	16.2	29.4
	85歳以上	87	40.2	34.5	35.6
	【女性 計】	1,091	42.7	13.7	26.4
	65～69歳	186	33.9	16.1	14.0
	70～74歳	311	39.9	15.1	20.9
	75～79歳	258	36.4	8.5	25.2
	80～84歳	203	53.2	13.3	36.9
	85歳以上	133	57.9	17.3	42.9
	無回答	－	－	－	－
状 況 別	一般	1,337	31.5	12.9	18.9
	総合事業 判定不可	665	59.8	23.3	42.1
	判定不可	1	－	－	－
圏 域 別	行橋	657	40.6	16.6	23.9
	今元	214	38.8	13.1	26.2
	仲津	292	46.9	15.4	31.8
	泉	313	35.5	18.8	25.9
	中京	215	43.7	15.3	27.9
	長峽	311	40.8	17.0	27.7
	無回答	1	－	－	－
小 学 校 区 別	行橋	243	39.1	16.9	21.4
	行橋南	233	43.8	17.6	24.9
	椿市	52	36.5	9.6	34.6
	稗田	98	43.9	15.3	30.6
	延永	259	41.7	18.5	26.3
	今川	117	43.6	15.4	25.6
	泉	313	35.5	18.8	25.9
	今元	179	37.4	12.8	27.4
	蓑島	35	45.7	14.3	20.0
	仲津	292	46.9	15.4	31.8
	行橋北	181	38.7	14.9	26.0
	無回答	1	－	－	－

5. 日常生活について

(1) 手段的自立度（IADL）の状況

問4（4）～（8） 手段的自立度（IADL）の状況

図表－74 手段的自立度（IADL）の状況



買い物や金銭管理等の次の生活機能の水準をあらわす手段的自立度（IADL）の5項目の状況について質問した。

「できない」の割合は、④『自分で食事の用意をしていない』（21.2%）で最も高く、次いで、①『バスや電車を使って一人で外出していない』（16.8%）、⑤『自分で請求書の支払いをしていない』（14.7%）となっている。

性・年齢別にみると、全ての項目において、男女ともにおおむね年齢層が上がるほど「できない」の割合が高くなる傾向にある。①『バスや電車を使って一人で外出していない』については女性の方が男性より高い傾向にあり、特に85歳以上の女性（35.3%）が突出して高くなっている。また、④『自分で食事の用意をしていない』と⑤『自分で請求書の支払いをしていない』については、85歳以上を除いた全ての年齢層において男性の方が女性より高くなっている。

総合事業該当状況別にみると、全ての項目で一般高齢者に比べ、総合事業対象者で「できない」の割合が高くなっているが、特に①『バスや電車を使って一人で外出していない』（20.3%）でその差が大きい。

圏域別にみると、仲津ではすべての項目の割合が、他の圏域と比べて高くなっている。

小学校区別にみると、仲津校区ではすべての項目の割合が、他の校区と比べて高くなっている。

図表－75 性・年齢別、該当状況別、圏域別、小学校区別
手段的自立度（IADL）の状況
（「できない」の割合）

単位：％

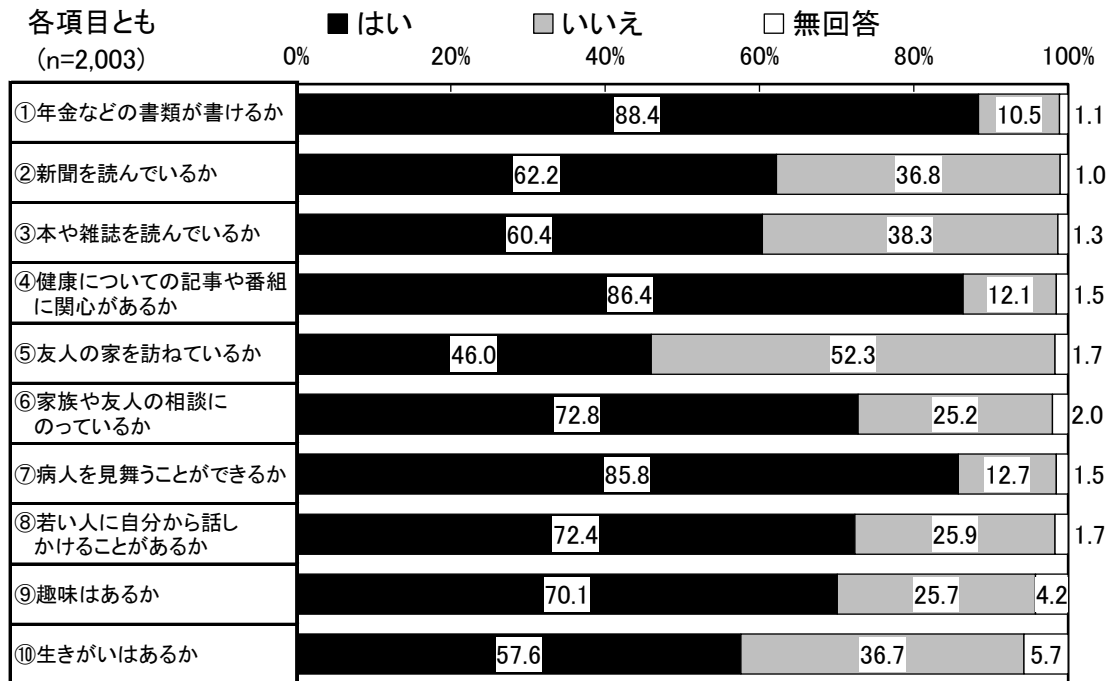
		調査数 「人」	①バスや 電車で出 ていつ	②自分で 食品・日 用	③自分で 預貯金 の出	④自分で 食事の 用意	⑤自分で 請求書 の支
全 体		2,003	8.1	5.0	5.3	8.4	5.0
性・ 年 齢 別	【男性 計】	912	6.1	5.0	7.6	14.7	6.8
	65～69歳	180	3.9	2.8	3.9	7.8	4.4
	70～74歳	289	4.2	3.5	6.2	12.1	5.9
	75～79歳	220	3.2	2.7	6.8	15.5	5.0
	80～84歳	136	6.6	4.4	8.1	17.6	5.1
	85歳以上	87	24.1	21.8	20.7	31.0	21.8
	【女性 計】	1,091	9.7	5.0	3.5	3.2	3.6
	65～69歳	186	2.2	1.6	0.5	0.5	1.1
	70～74歳	311	2.9	1.0	0.3	0.6	0.6
	75～79歳	258	3.9	2.7	0.4	0.8	0.4
	80～84歳	203	17.7	6.9	6.4	3.9	5.4
	85歳以上	133	35.3	21.1	16.5	16.5	17.3
	無回答	—	—	—	—	—	—
状 況 別	一般	1,337	2.0	0.7	1.9	5.0	1.1
	総合事業	665	20.3	13.7	12.3	15.3	12.9
	判定不可	1	—	—	—	—	—
圏 域 別	行橋	657	8.8	4.7	5.0	8.4	4.4
	今元	214	8.9	5.1	5.6	8.4	5.6
	仲津	292	9.6	7.5	7.2	9.9	6.8
	泉	313	7.0	4.8	5.4	7.7	5.1
	中京	215	8.4	5.6	4.7	7.0	5.6
	長峡	311	5.5	3.2	4.5	9.0	3.9
	無回答	1	—	—	—	—	—
小 学 校 区 別	行橋	243	7.8	4.5	4.5	8.6	4.5
	行橋南	233	9.4	4.3	5.2	9.9	3.9
	椿市	52	1.9	—	5.8	11.5	3.8
	稗田	98	9.2	5.1	5.1	7.1	5.1
	延永	259	6.2	3.9	4.2	8.5	3.9
	今川	117	7.7	6.0	4.3	6.8	6.0
	泉	313	7.0	4.8	5.4	7.7	5.1
	今元	179	8.9	5.0	6.7	8.9	6.1
	菟島	35	8.6	5.7	—	5.7	2.9
	仲津	292	9.6	7.5	7.2	9.9	6.8
	行橋北	181	9.4	5.5	5.5	6.1	5.0
	無回答	1	—	—	—	—	—

6. 社会参加について

(1) 社会参加の状況

問4 (9) ~ (18) 社会参加の状況

図表－76 社会参加の状況



※⑨の選択肢は「1.趣味あり」「2.思いつかない」

※⑩の選択肢は「1.生きがいあり」「2.思いつかない」

高齢者の知的活動や社会活動に係る10項目の状況について質問した。

これらの活動が低下していると思われる人の割合(①～⑧は「いいえ」、⑨⑩は「思いつかない」)に着目すると、⑤『友人の家を訪ねていない』(52.3%)で最も高く、次いで③『本や雑誌を読んでいない』(38.3%)、②『新聞を読んでいない』(36.8%)、⑩『生きがいと思いつかない』(36.7%)、⑧『若い人へ自ら話しかけない』(25.9%)となっている。

性・年齢別にみると、③『本や雑誌を読んでいない』、④『健康についての記事や番組に関心がない』、⑤『友人の家を訪ねていない』、⑥『家族や友人の相談にのっていない』、⑧『若い人へ自ら話しかけない』は全ての年齢層において男性の方が女性に比べて割合が高くなっている。一方、②『新聞を読んでいない』は全ての年齢層において女性の方が男性に比べて割合が高くなっている。

総合事業該当状況別にみると、いずれの項目でも一般高齢者に比べ、総合事業対象者で活動が低下していると思われる人の割合が高くなっている。

圏域別にみると、仲津では⑦『病人を見舞うことができない』(18.5%)と⑧『若い人へ自ら話しかけない』(33.6%)で他の圏域と比べて割合が高くなっている。

小学校区別にみると、仲津校区では⑦『病人を見舞うことができない』(18.5%)と⑧『若い人へ自ら話しかけない』(33.6%)で他の校区と比べて割合が高くなっている。

図表－７７ 性・年齢別、該当状況別、圏域別、小学校区別 社会参加の状況

(①～⑧は「いいえ」、⑨⑩は「思いつかない」の割合)

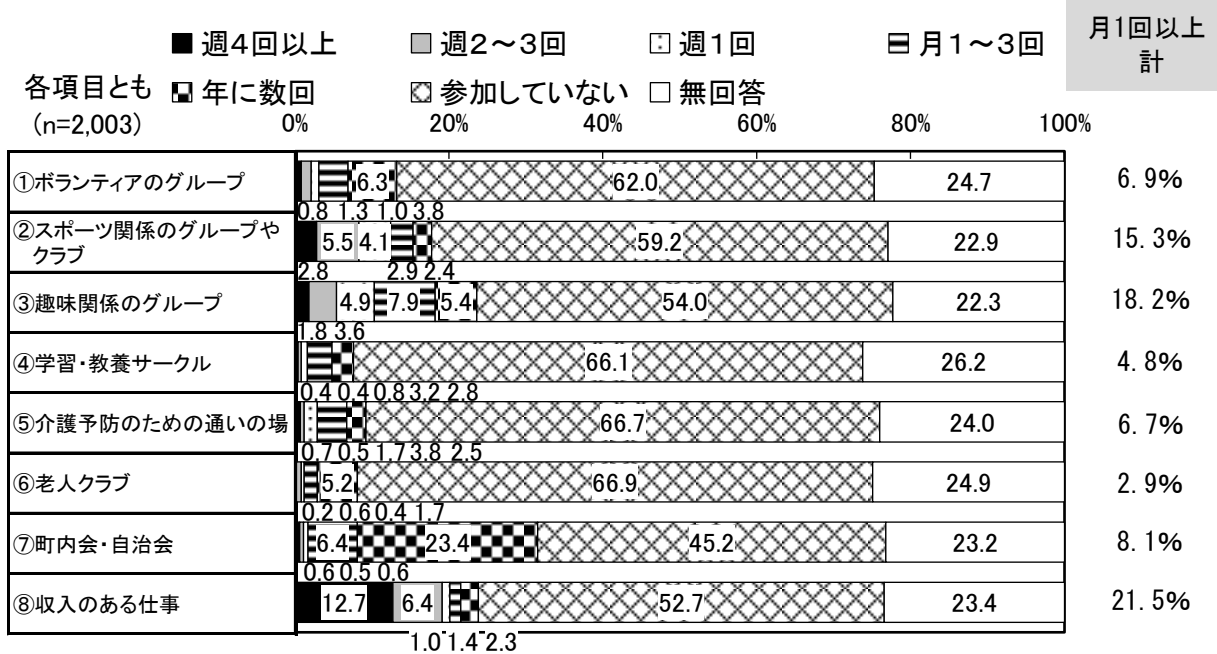
単位: %

単位：％												
		調査数「人」	①年金などの書類が書けるか	②新聞を読んでいるか	③本や雑誌を読んでいるか	④健康に関することや番組に心がけるか	⑤友人の家を訪ねてみるか	⑥家族や友人の相談にのっているか	⑦病人を見舞うことができるか	⑧若い人から話を聞けることがあるか	⑨趣味はあるか	⑩生きがいはあるか
全 体		2,003	10.5	36.8	38.3	12.1	52.3	25.2	12.7	25.9	25.7	36.7
性・年齢別	【男性 計】	912	9.3	32.6	44.3	17.5	60.2	30.6	12.1	30.5	26.1	40.7
	65～69歳	180	7.8	50.0	41.1	17.2	66.1	27.8	6.7	25.6	28.3	44.4
	70～74歳	289	4.8	39.8	41.2	21.5	60.6	29.1	8.7	29.1	25.6	41.9
	75～79歳	220	8.6	22.3	44.5	13.6	55.5	30.9	8.6	30.5	22.3	39.1
	80～84歳	136	11.0	16.2	48.5	16.2	52.9	28.7	22.1	34.6	30.1	37.5
	85歳以上	87	26.4	24.1	54.0	17.2	70.1	43.7	27.6	39.1	26.4	37.9
	【女性 計】	1,091	11.5	40.3	33.3	7.5	45.6	20.7	13.3	22.1	25.3	33.4
	65～69歳	186	1.6	53.8	31.2	8.1	43.0	13.4	3.2	15.6	24.2	33.3
	70～74歳	311	4.8	43.7	29.9	7.7	40.8	15.4	7.7	23.8	25.7	30.9
	75～79歳	258	7.4	39.5	31.8	5.0	44.6	17.8	9.7	18.2	20.5	31.4
	80～84歳	203	17.2	30.0	36.0	6.4	48.8	24.6	21.7	23.6	26.1	34.5
	85歳以上	133	39.8	30.8	42.9	12.8	57.9	42.9	34.6	32.3	33.8	41.4
	無回答	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
状況別	一般	1,337	4.3	35.1	32.8	10.5	46.9	18.4	6.1	20.6	20.2	31.3
	総合事業	665	23.0	40.3	49.3	15.3	63.2	38.9	26.0	36.7	36.7	47.7
	判定不可	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
圏域別	行橋	657	9.7	38.1	37.4	10.8	52.8	24.4	12.2	24.8	25.6	38.5
	今元	214	14.5	34.1	39.3	15.9	51.4	20.6	12.1	24.8	28.5	34.1
	仲津	292	11.0	33.6	38.7	10.3	56.8	29.5	18.5	33.6	27.4	37.7
	泉	313	10.9	40.3	37.7	14.7	51.1	23.6	11.5	23.0	18.8	36.4
	中京	215	10.7	40.9	36.7	14.0	52.1	28.8	9.8	27.9	26.0	39.1
	長峽	311	8.4	32.8	40.8	10.0	48.9	25.4	12.2	23.5	28.9	32.5
	無回答	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
小学校区別	行橋	243	8.6	38.3	39.1	9.1	54.7	23.0	9.5	22.2	30.0	42.8
	行橋南	233	9.9	37.8	36.5	12.4	49.4	24.0	13.7	26.2	23.6	36.9
	椿市	52	5.8	40.4	44.2	9.6	53.8	21.2	5.8	13.5	30.8	38.5
	稗田	98	9.2	45.9	38.8	13.3	56.1	28.6	6.1	25.5	29.6	32.7
	延永	259	8.9	31.3	40.2	10.0	47.9	26.3	13.5	25.5	28.6	31.3
	今川	117	12.0	36.8	35.0	14.5	48.7	29.1	12.8	29.9	23.1	44.4
	泉	313	10.9	40.3	37.7	14.7	51.1	23.6	11.5	23.0	18.8	36.4
	今元	179	11.7	32.4	40.2	16.8	53.6	18.4	11.7	25.1	28.5	35.2
	菟島	35	28.6	42.9	34.3	11.4	40.0	31.4	14.3	22.9	28.6	28.6
	仲津	292	11.0	33.6	38.7	10.3	56.8	29.5	18.5	33.6	27.4	37.7
	行橋北	181	11.0	38.1	36.5	11.0	54.7	26.5	13.8	26.5	22.1	34.8
	無回答	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

(2) 地域活動や趣味活動への参加状況

問5 (1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか。
※①～⑧それぞれに回答してください

図表－78 地域活動や趣味活動への参加状況



8つの地域活動や趣味活動について参加頻度を質問した。

全活動とも「参加していない」が4割半ば～6割半ば程度を占めている。月1回以上参加している人の割合は⑧『収入のある仕事』(21.5%)が最も高く、次いで③『趣味関係のグループ』(18.2%)、②『スポーツ関係のグループやクラブ』(15.3%)となっている。

性・年齢別に月1回以上参加している人の割合をみると、⑧『収入のある仕事』では、全ての年齢層において男性の方が女性に比べて割合が高くなっている。一方で、⑤『介護予防のための通いの場』では、全ての年齢層において女性の方が男性に比べて割合が高くなっている。

総合事業該当状況別にみると、多くの項目で一般高齢者の方が月1回以上参加の割合が高くなっているものの、⑤『介護予防のための通いの場』については総合事業対象者(7.6%)の方の割合が高くなっている。

圏域別にみると、行橋では⑧『収入のある仕事』(24.2%)の割合が他の圏域と比べて高くなっている。

小学校区別にみると、椿市校区では②『スポーツ関係のグループやクラブ』(19.2%)、③『趣味関係のグループ』(25.0%)、⑦『町内会・自治会』(19.2%)の割合が、それぞれ他の校区と比べて高くなっている(サンプル数の少ない簗島校区は除く)。

図表－79 性・年齢別、該当状況別、圏域別、小学校区別
地域活動や趣味活動への参加状況
(「月1回以上参加」の割合)

単位: %

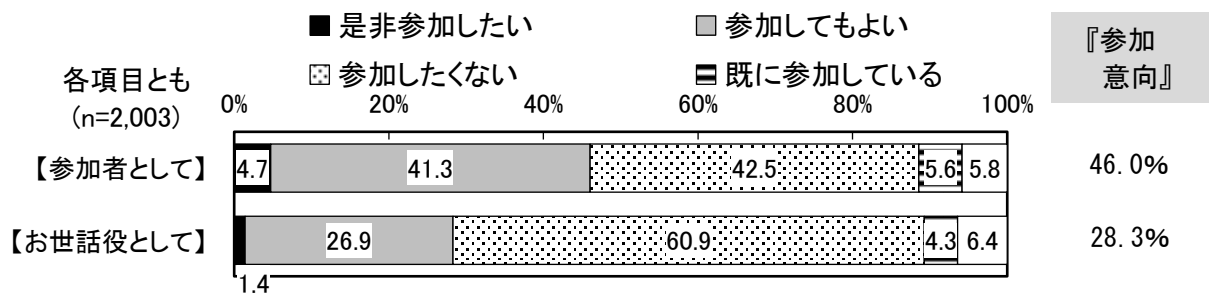
	調査数「人」	① ボランティアの グループ	② スポーツやク ラブ関係のグ ループ	③ 趣味関係のグ ループ	④ 学習・教養サー クル	⑤ 通いの場 介護予防のため の場	⑥ 老人クラブ	⑦ 町内会・自治会	⑧ 収入のある仕事
全 体	2,003	6.9	15.3	18.2	4.8	6.7	2.9	8.1	21.5
性・ 年 齢 別	【男性 計】	912	8.2	14.5	17.0	3.9	4.4	2.8	25.5
	65～69歳	180	6.2	12.8	13.9	3.9	1.2	0.6	46.7
	70～74歳	289	8.2	13.2	15.7	3.1	2.1	2.0	31.8
	75～79歳	220	11.0	18.3	18.6	4.6	7.8	3.7	18.3
	80～84歳	136	9.5	18.4	24.3	8.1	6.5	5.2	10.3
	85歳以上	87	3.4	8.0	12.5	0.0	6.7	4.6	2.3
	【女性 計】	1,091	6.0	16.2	19.3	5.6	8.7	3.1	18.3
	65～69歳	186	8.0	20.4	18.4	5.9	3.8	0.5	43.5
	70～74歳	311	6.7	19.3	22.4	5.1	5.2	2.2	22.8
	75～79歳	258	4.3	14.8	22.5	7.0	9.8	3.2	16.2
	80～84歳	203	6.9	13.8	18.7	5.9	13.3	5.4	2.5
	85歳以上	133	3.1	9.9	9.1	3.1	15.8	5.4	0.8
該 当 状 況 別	無回答	—	—	—	—	—	—	—	—
	一般	1,337	7.6	17.9	21.3	5.1	6.4	3.5	25.7
	総合事業 判定不可	665	5.9	10.6	12.5	4.6	7.6	2.0	13.4
圏 域 別	行橋	657	6.2	13.9	18.2	5.5	6.9	4.0	24.2
	今元	214	9.3	16.3	19.6	5.7	7.1	4.7	22.0
	仲津	292	5.5	14.0	15.8	2.6	6.9	2.0	18.1
	泉	313	5.1	18.2	17.2	6.4	7.7	1.6	20.5
	中京	215	7.0	14.9	20.5	4.2	8.8	4.7	21.8
	長峽	311	10.0	17.4	19.9	4.1	4.1	0.9	20.0
	無回答	1	100.0	—	—	—	—	—	—
小 学 校 区 別	行橋	243	4.9	11.5	14.4	3.7	3.2	4.1	27.1
	行橋南	233	7.3	13.4	21.5	6.1	7.8	3.9	24.5
	椿市	52	7.7	19.2	25.0	5.8	1.9	1.9	27.0
	稗田	98	6.1	17.3	21.4	2.0	9.1	5.1	25.5
	延永	259	10.4	17.0	18.9	3.9	4.7	0.8	18.6
	今川	117	7.8	12.9	19.6	6.0	8.6	4.3	18.8
	泉	313	5.1	18.2	17.2	6.4	7.7	1.6	20.5
	今元	179	7.9	16.7	18.4	6.2	7.9	2.8	20.0
	蓑島	35	17.2	14.4	25.8	2.9	2.9	14.3	31.4
	仲津	292	5.5	14.0	15.8	2.6	6.9	2.0	18.1
	行橋北	181	6.7	17.7	18.8	7.2	10.5	3.9	20.0
	無回答	1	100.0	—	—	—	—	—	—

(3) 地域づくりへの参加意向

問5(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか。

問5(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営(お世話役)として参加してみたいと思いますか。

図表-80 地域づくりへの参加意向



『参加者として』の参加意向、『お世話役として』の参加意向ともに「参加したくない」(『参加者として』(42.5%)、『お世話役として』(60.9%))の割合が最も高くなっており、次いで「参加してもよい」(『参加者として』(41.3%)、『お世話役として』(26.9%))の割合が高くなっている。

「是非参加したい」と「参加してもよい」を合わせた『参加意向』については、『参加者として』の『参加意向』が46.0%であるのに対し、『お世話役として』の『参加意向』は28.3%で、『参加者として』の参加意向の方が高くなっている。

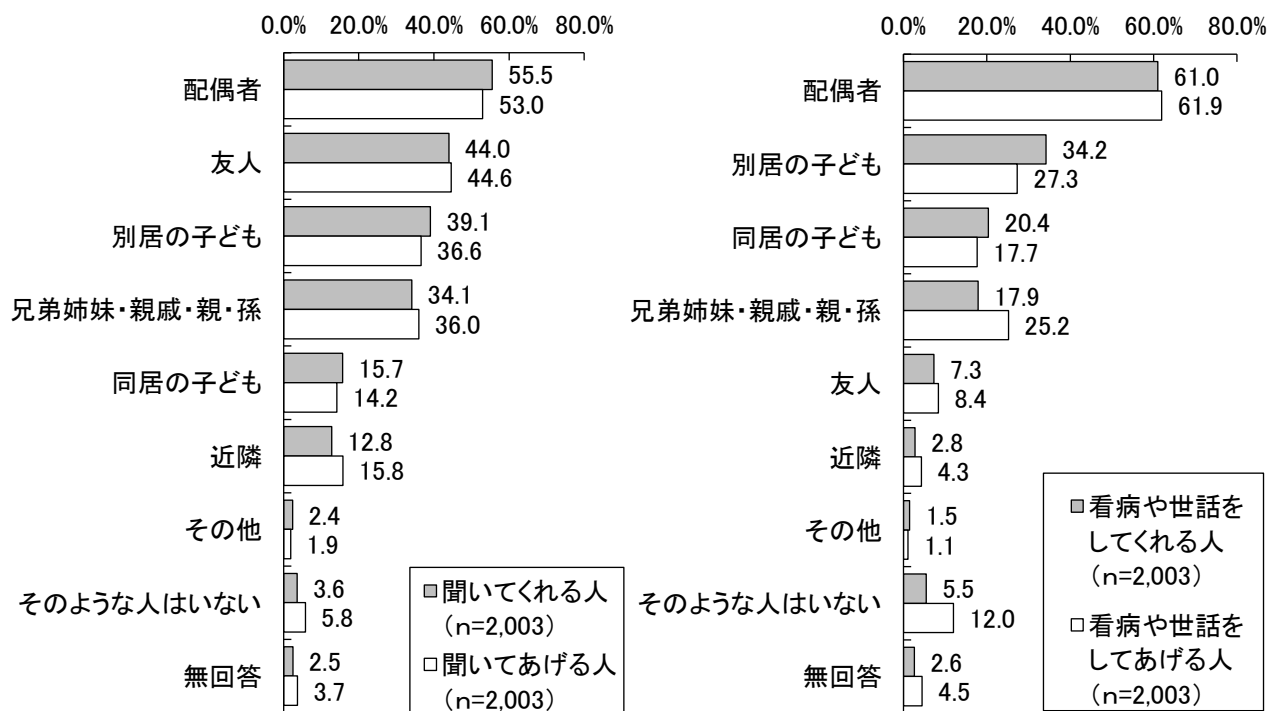
(4) たすけあいの状況

問6 (1)～(4) あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします。

図表－81 たすけあいの状況（複数回答）

【心配事や愚痴】

【病気になったときの看病や世話】



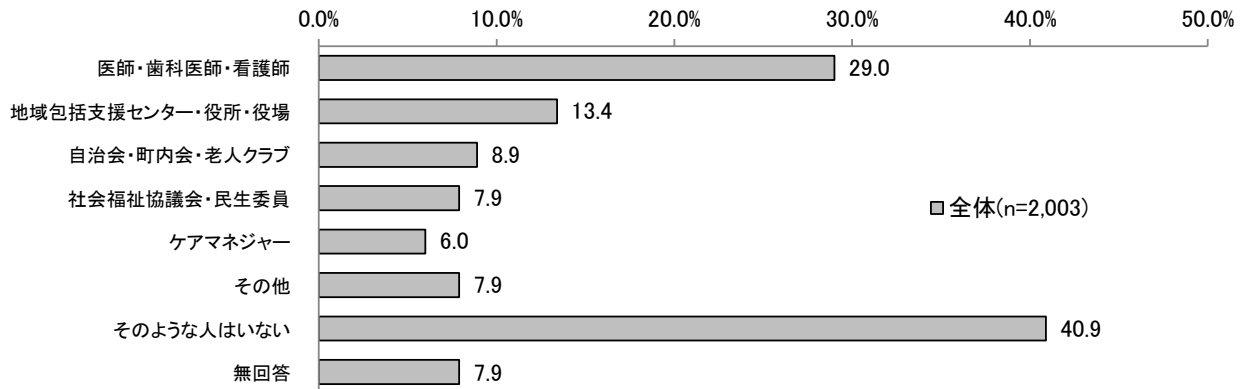
心配事や愚痴については、『聞いてくれる人』『聞いてあげる人』ともに「配偶者」の割合が5割強程度と最も高く、これに「友人」や「別居の子ども」、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が3～4割台で続いている。

病気で数日間寝込んだときの看病や世話についても、『看病や世話をしてくれる人』『看病や世話をしてくれる人』ともに「配偶者」の割合が6割を超えており、これに「別居の子ども」、「同居の子ども」、「兄弟姉妹・親戚・親・孫」が続いており、「友人」、「近隣」などの家族・親族以外の人は1割未満に留まっている。

(5) 家族や友人・知人以外の相談相手

問6 (5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください。
(いくつでも)

図表－82 家族や友人・知人以外の相談相手



家族や友人・知人以外の相談相手では「そのような人はいない」(40.9%)の割合が最も高く、具体的な相手としては「医師・歯科医師・看護師」(29.0%)の割合が最も高くなっている。

総合事業該当状況別には、「ケアマネジャー」の割合が、一般高齢者(3.4%)に比べ、総合事業対象者(11.1%)で高くなっている。

世帯構成別にみると、全ての世帯で「そのような人はいない」の割合が4割弱～5割弱程度と最も高く、次いで「医師、歯科医師、看護師」の割合が2割半ば～3割半ば程度である。また、夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)では「そのような人はいない」(49.5%)の割合が、他の世帯と比べて高くなっている。

図表－83 該当状況別、世帯構成別 家族や友人・知人以外の相談相手

単位：％										
		調査数「人」	自治会・町内会・老人クラブ	社会福祉協議会・民生委員	ケアマネジャー	医師・歯科医師・看護師	地域包括支援センター・役所・役場	その他	そのような人はいない	無回答
全 体		2,003	8.9	7.9	6.0	29.0	13.4	7.9	40.9	7.9
状況別	該当 一般	1,337	9.9	8.2	3.4	30.1	13.9	8.2	40.8	7.5
	総合事業	665	7.1	7.2	11.1	26.8	12.3	7.2	41.1	8.7
	判定不可	1	－	－	－	－	－	－	－	100.0
	世帯構成別 1人暮らし	396	7.1	8.3	6.6	26.8	15.7	9.6	38.9	7.3
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	934	9.2	8.7	6.1	29.2	14.6	7.0	41.9	8.0
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	91	5.5	4.4	－	25.3	9.9	7.7	49.5	9.9
	息子・娘との2世帯	218	8.7	7.8	6.9	25.7	11.5	5.0	44.5	7.8
	その他	292	11.0	5.8	4.8	34.6	9.6	10.3	39.0	5.5
	無回答	72	12.5	8.3	11.1	29.2	11.1	9.7	25.0	18.1

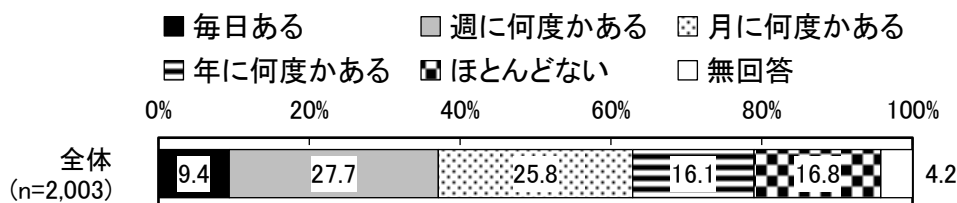
(6) 友人関係について

問6(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。

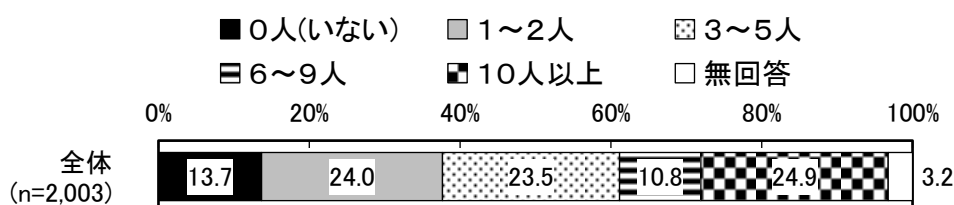
問6(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。
同じ人には何度会っても1人と数えることとします。

問6(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(いくつでも)。

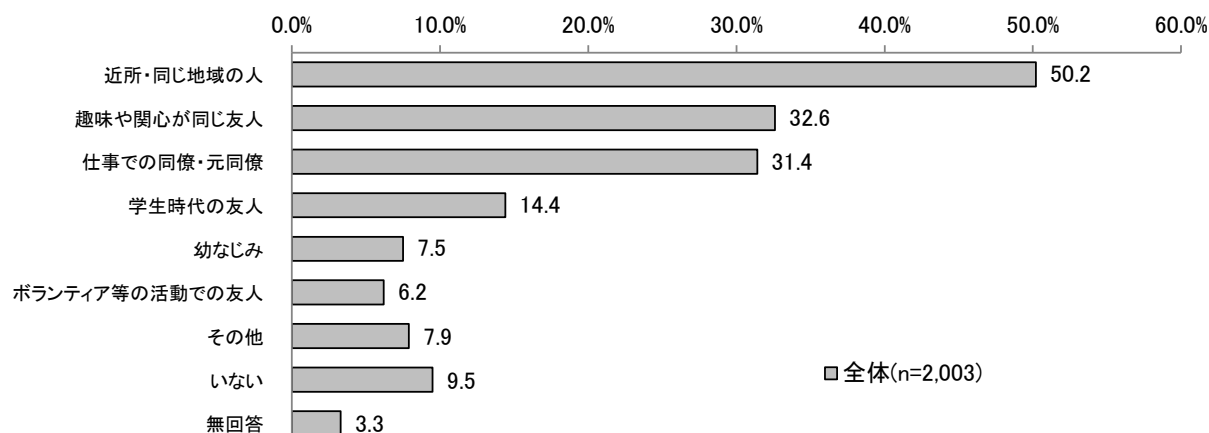
図表－84 友人・知人と会う頻度



図表－85 この1か月間に会った友人・知人の数



図表－86 よく会う友人・知人との関係



友人・知人と会う頻度は「月に何度かある」(27.7%)の割合が最も高く、次いで「週に何度かある」(25.8%)、「ほとんどない」(16.8%)となっている。

この1か月間に会った友人・知人の人数は「10人以上」(24.9%)や「1～2人」(24.0%)、「3～5人」(23.5%)の割合が高く、「0人(いない)」は13.7%であった。

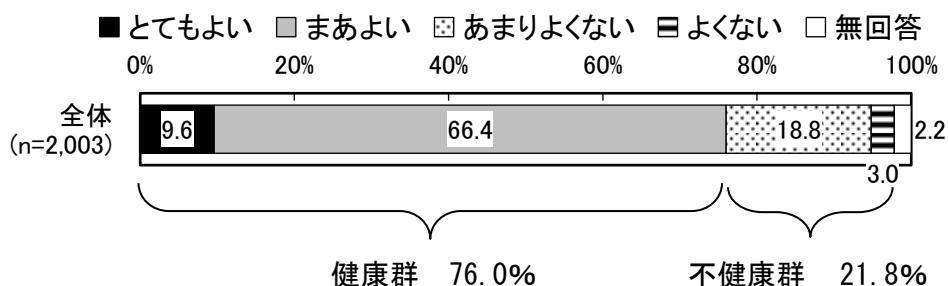
よく会う友人・知人との関係は「近所・同じ地域の人」(50.2%)が過半数を占め、次いで「趣味や関心が同じ友人」(32.6%)、「仕事での同僚・元同僚」(31.4%)となっている。

7. 健康について

(1) 主観的健康感

問7 (1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか。

図表－87 主観的健康感



高齢者の生活の質（QOL）の指標にもなっている主観的健康感については、「まあよい」（66.4％）の割合が最も高く、次いで「あまりよくない」（18.8％）となっている。「とてもよい」と「まあよい」を合わせた『健康群』が76.0％、「あまりよくない」と「よくない」を合わせた『不健康群』が21.8％となっている。

性・年齢別にみると、全ての年齢層で『不健康群』より『健康群』の割合が高くなっている。また、男女ともにおおむね年齢層が上がるにつれて『健康群』の割合が減少し『不健康群』の割合が増加する傾向にある。

総合事業該当状況別にみると、『不健康群』は一般高齢者の12.2％に対し、総合事業対象者は41.0％と大きな差がみられる。

圏域別にみると、仲津では『不健康群』の割合が28.4％と他の圏域と比べて高くなっている。

小学校区別にみると、仲津校区（28.4％）で『不健康群』の割合が他の校区と比べて高くなっている（サンプル数の少ない簗島校区は除く）。

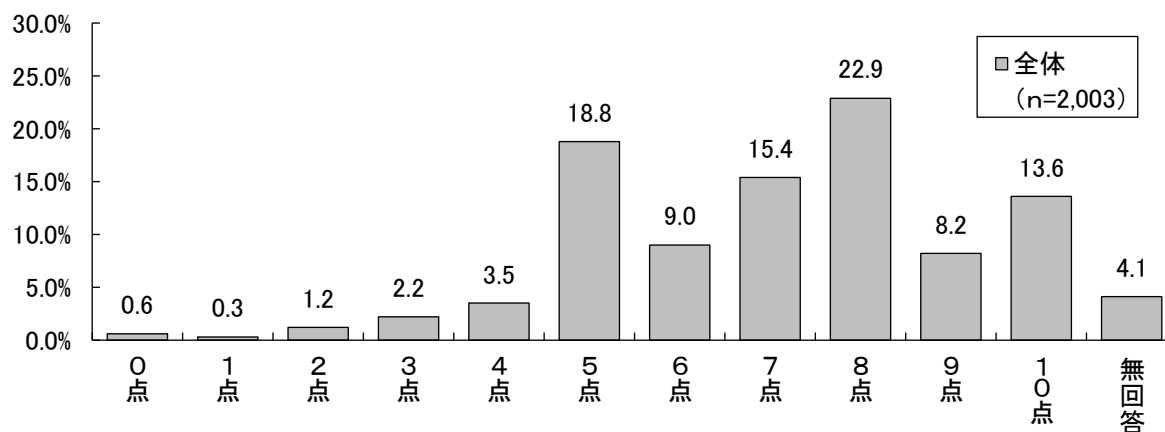
図表－88 性・年齢別、該当状況別、圏域別、小学校区別 主観的健康感の状況

								単位: %	
		調 査 数 「人」	と と も よ い	ま あ よ い	あ ま り よ く な い	よ く な い	無 回 答	『健康群』 (とても よい＋まあ よい)	『不健康群』 (あまり よくない＋ よくない)
全 体		2,003	9.6	66.4	18.8	3.0	2.2	76.0	21.8
性・年 齢 別	【男性 計】	912	8.9	64.1	21.2	2.5	3.3	73.0	23.7
	65～69歳	180	13.3	63.9	20.0	1.1	1.7	77.2	21.1
	70～74歳	289	8.3	70.2	16.3	2.4	2.8	78.5	18.7
	75～79歳	220	8.6	65.0	20.5	2.7	3.2	73.6	23.2
	80～84歳	136	5.9	57.4	25.7	4.4	6.6	63.3	30.1
	85歳以上	87	6.9	52.9	34.5	2.3	3.4	59.8	36.8
	【女性 計】	1,091	10.3	68.2	16.8	3.4	1.4	78.5	20.2
	65～69歳	186	14.5	73.7	9.7	1.6	0.5	88.2	7.8
	70～74歳	311	10.9	72.0	14.1	1.6	1.3	82.9	15.7
	75～79歳	258	9.3	71.3	15.9	1.6	1.9	80.6	17.5
	80～84歳	203	8.9	60.1	22.2	7.4	1.5	69.0	29.6
	85歳以上	133	6.8	57.9	26.3	7.5	1.5	64.7	33.8
無回答	-	-	-	-	-	-	-	-	
状 況 別	一般	1,337	13.5	72.5	11.3	0.9	1.9	86.0	12.2
	総合事業	665	2.0	54.1	33.8	7.2	2.9	56.1	41.0
	判定不可	1	-	-	-	-	100.0	-	-
圏 域 別	行橋	657	9.6	65.4	20.4	2.4	2.1	75.0	22.8
	今元	214	8.9	64.5	19.2	3.7	3.7	73.4	22.9
	仲津	292	7.9	61.6	22.9	5.5	2.1	69.5	28.4
	泉	313	10.9	70.6	14.1	2.6	1.9	81.5	16.7
	中京	215	7.4	71.2	18.1	2.3	0.9	78.6	20.4
	長峽	311	11.9	66.6	16.4	2.3	2.9	78.5	18.7
	無回答	1	100.0	-	-	-	-	-	-
小 学 校 区 別	行橋	243	11.5	63.4	20.2	3.3	1.6	74.9	23.5
	行橋南	233	8.6	66.5	21.5	1.7	1.7	75.1	23.2
	椿市	52	9.6	65.4	19.2	1.9	3.8	75.0	21.1
	稗田	98	7.1	71.4	17.3	2.0	2.0	78.5	19.3
	延永	259	12.4	66.8	15.8	2.3	2.7	79.2	18.1
	今川	117	7.7	70.9	18.8	2.6	-	78.6	21.4
	泉	313	10.9	70.6	14.1	2.6	1.9	81.5	16.7
	今元	179	9.5	66.5	17.9	2.8	3.4	76.0	20.7
	菟島	35	5.7	54.3	25.7	8.6	5.7	60.0	34.3
	仲津	292	7.9	61.6	22.9	5.5	2.1	69.5	28.4
	行橋北	181	8.3	66.9	19.3	2.2	3.3	75.2	21.5
	無回答	1	100.0	-	-	-	-	-	-

(2) 主観的幸福感

問7 (2) あなたは、現在どの程度幸せですか。
 (「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)

図表－89 主観的幸福感



現在の主観的幸福感を0～10点の点数で評価すると、「8点」(22.9%)が最も多く、次いで「5点」(18.8%)、「7点」(15.4%)となっている。

性・年齢別にみると、『8～10点』の割合は、全ての年齢層で女性の方が男性と比べて高くなっている。

総合事業該当状況別にみると、『8～10点』の割合が一般高齢者では52.0%に対し、総合事業対象者では30.2%と低くなっている。

圏域別にみると、『8～10点』の割合は長峽(47.3%)で他の圏域と比べて高くなっている。一方で仲津(39.7%)では他の圏域と比べて低くなっている。

小学校区別にみると、『8～10点』の割合は延永校区(47.8%)で他の校区と比べて高くなっている。

前問の主体的健康観別にみると、健康群では『8～10点』の割合が52.8%に対して、不健康群では20.7%と大きな差がみられる。

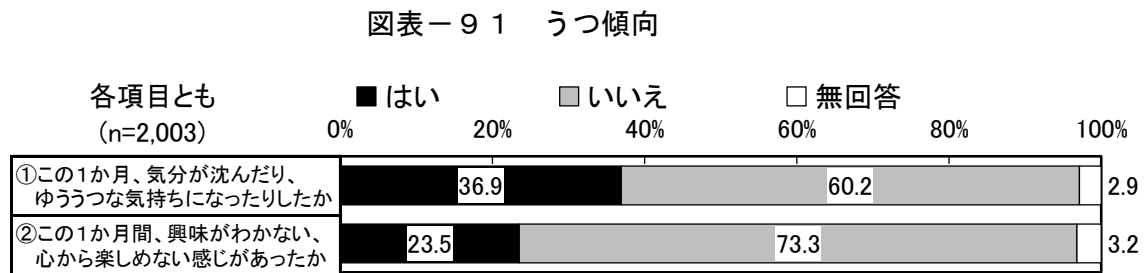
第4章 生活機能等に関する詳細調査項目【健康】

図表－90 性・年齢別、該当状況別、圏域別 小学校区別、主観的健康観別 主観の幸福感

単位：％																	
		調 査 数 〔人〕	0 点	1 点	2 点	3 点	4 点	5 点	6 点	7 点	8 点	9 点	1 0 点	無 回 答	『 0 〕 3 点 』	『 4 〕 7 点 』	『 8 〕 1 0 点 』
全 体		2,003	0.6	0.3	1.2	2.2	3.5	18.8	9.0	15.4	22.9	8.2	13.6	4.1	4.3	46.7	44.7
性・年 齢 別	【男性 計】	912	0.5	0.4	1.3	2.5	3.9	21.3	9.6	16.7	20.2	8.9	10.1	4.5	4.7	51.5	39.2
	65～69歳	180	0.6	0.6	1.7	4.4	4.4	16.7	10.0	16.1	25.6	10.0	8.3	1.7	7.3	47.2	43.9
	70～74歳	289	0.3	－	2.8	2.1	3.5	21.8	8.0	19.0	19.0	8.0	12.1	3.5	5.2	52.3	39.1
	75～79歳	220	0.9	0.5	－	2.7	4.1	21.8	11.4	13.2	22.3	8.6	9.5	5.0	4.1	50.5	40.4
	80～84歳	136	－	1.5	0.7	1.5	6.6	22.1	10.3	19.1	15.4	6.6	8.8	7.4	3.7	58.1	30.8
	85歳以上	87	1.1	－	－	1.1	－	26.4	9.2	14.9	14.9	13.8	10.3	8.0	2.2	50.5	39.0
	【女性 計】	1,091	0.6	0.3	1.1	1.9	3.2	16.8	8.4	14.4	25.2	7.6	16.6	3.8	3.9	42.8	49.4
	65～69歳	186	－	－	1.1	0.5	1.1	17.2	7.5	19.4	31.7	6.5	14.5	0.5	1.6	45.2	52.7
	70～74歳	311	0.3	1.0	1.3	1.6	3.9	14.1	9.3	13.8	29.3	8.7	14.1	2.6	4.2	41.1	52.1
	75～79歳	258	0.8	－	0.8	3.5	3.1	15.9	8.5	14.0	25.6	6.6	18.2	3.1	5.1	41.5	50.4
	80～84歳	203	1.5	－	0.5	1.5	5.4	15.3	8.9	12.8	17.2	8.4	20.7	7.9	3.5	42.4	46.3
	85歳以上	133	0.8	－	2.3	2.3	1.5	26.3	6.8	12.0	18.0	7.5	15.8	6.8	5.4	46.6	41.3
無回答	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
状 況 別	一般	1,337	0.1	0.1	0.7	1.4	2.4	17.1	8.5	14.7	25.2	10.5	16.3	3.1	2.3	42.7	52.0
	総合事業 判定不可	665	1.7	0.9	2.3	3.8	5.9	22.4	10.1	16.8	18.3	3.6	8.3	6.0	8.7	55.2	30.2
圏 域 別		1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	100.0	－	－	－
	行橋	657	1.1	－	1.1	2.4	3.2	18.3	10.0	14.6	21.8	8.7	15.4	3.5	4.6	46.1	45.9
	今元	214	0.5	－	0.9	2.8	1.9	16.4	7.5	17.3	28.5	6.1	12.1	6.1	4.2	43.1	46.7
	仲津	292	0.7	－	1.0	3.1	4.1	22.9	9.6	15.8	22.6	6.8	10.3	3.1	4.8	52.4	39.7
	泉	313	－	0.6	1.6	2.2	3.5	19.5	8.0	13.7	24.9	9.3	11.8	4.8	4.4	44.7	46.0
	中京	215	0.5	1.4	0.9	0.5	4.2	20.5	11.2	15.3	21.9	6.0	12.6	5.1	3.3	51.2	40.5
	長峽	311	0.3	0.6	1.6	1.6	4.5	16.1	6.8	17.4	20.6	10.0	16.7	3.9	4.1	44.8	47.3
	無回答	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	100.0	－	－	－	－	－
小 学 校 区 別	行橋	243	0.8	－	1.2	2.9	3.3	17.7	11.5	12.3	23.0	9.1	14.8	3.3	4.9	44.8	46.9
	行橋南	233	0.4	－	0.4	3.4	3.4	16.3	9.4	15.9	21.0	9.4	16.7	3.4	4.2	45.0	47.1
	椿市	52	1.9	1.9	－	－	3.8	15.4	5.8	23.1	19.2	9.6	15.4	3.8	3.8	48.1	44.2
	稗田	98	1.0	1.0	－	1.0	6.1	20.4	10.2	11.2	28.6	6.1	10.2	4.1	3.0	47.9	44.9
	延永	259	－	0.4	1.9	1.9	4.6	16.2	6.9	16.2	20.8	10.0	17.0	3.9	4.2	43.9	47.8
	今川	117	－	1.7	1.7	－	2.6	20.5	12.0	18.8	16.2	6.0	14.5	6.0	3.4	53.9	36.7
	泉	313	－	0.6	1.6	2.2	3.5	19.5	8.0	13.7	24.9	9.3	11.8	4.8	4.4	44.7	46.0
	今元	179	－	－	0.6	2.8	2.2	16.8	7.8	16.8	29.1	6.1	12.3	5.6	3.4	43.6	47.5
	養島	35	2.9	－	2.9	2.9	－	14.3	5.7	20.0	25.7	5.7	11.4	8.6	8.7	40.0	42.8
	仲津	292	0.7	－	1.0	3.1	4.1	22.9	9.6	15.8	22.6	6.8	10.3	3.1	4.8	52.4	39.7
	行橋北	181	2.2	－	1.7	0.6	2.8	21.5	8.8	16.0	21.0	7.2	14.4	3.9	4.5	49.1	42.6
	無回答	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	100.0	－	－	－	－	－
主 体 的 健康観別	健康群	1,522	0.1	0.1	0.3	1.0	2.2	16.5	8.6	16.5	26.1	9.7	17.0	1.8	1.5	43.8	52.8
	不健康群	436	2.3	1.4	4.4	6.7	8.7	28.2	10.3	12.6	13.8	3.7	3.2	4.8	14.8	59.8	20.7
	無回答	45	－	－	－	－	－	6.7	8.9	6.7	2.2	－	－	75.6	0.0	22.3	2.2

(3) うつ傾向について

問7 (3) ~ (4) うつ傾向について



うつ傾向についてみると、不安要素がある人の割合（①②ともに「はい」の割合）は、①『この1か月間、ゆううつな気持ちになったりした』が36.9%、②『この1か月間、心から楽しめない感じがよくあった』が23.5%となっている。

性・年齢別の割合をみると、①『この1か月間、ゆううつな気持ちになったりした』では、全ての年齢層において女性の方が男性に比べて高くなっている。②『この1か月間、心から楽しめない感じがよくあった』でも、65～69歳を除く全ての年齢層で女性の方が男性に比べて高くなっている。

総合事業該当状況別の割合をみると、総合事業対象者はいずれも一般高齢者の割合を大きく上回っている。

圏域別にみると、①『この1か月間、ゆううつな気持ちになったりした』では、仲津（39.7%）で他の圏域と比べて高くなっている。②『この1か月間、心から楽しめない感じがよくあった』では、仲津（27.1%）で他の圏域と比べて高くなっている。

小学校区別にみると、①『この1か月間、ゆううつな気持ちになったりした』では、行橋北校区（42.0%）で他の校区と比べて高くなっている。②『この1か月間、心から楽しめない感じがよくあった』では、今川校区（28.2%）で他の校区と比べて割合が高くなっている。

図表－92 性・年齢別、該当状況別、圏域別、小学校区別 うつ傾向

不安要素がある人の割合（「はい」の割合）

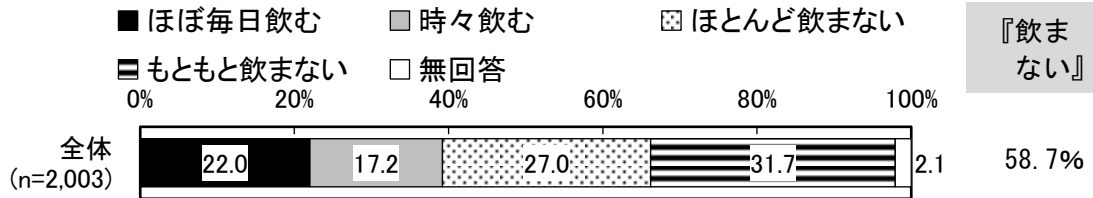
単位：％

		調査数「人」	①この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつになったりしたか	②この1か月間、興味がわかない、楽しい、面白い、よかった
全 体		2,003	36.9	23.5
性・年齢別	【男性 計】	912	31.5	22.1
	65～69歳	180	30.6	22.8
	70～74歳	289	27.7	21.1
	75～79歳	220	37.3	20.5
	80～84歳	136	36.0	24.3
	85歳以上	87	24.1	25.3
	【女性 計】	1,091	41.4	24.6
	65～69歳	186	41.9	21.0
	70～74歳	311	43.1	23.5
	75～79歳	258	41.5	21.7
	80～84歳	203	36.9	27.6
	85歳以上	133	43.6	33.1
	無回答	－	－	－
全 体		2,003	36.9	23.5
状況該当別	一般	1,337	28.3	15.9
	総合事業	665	54.3	38.8
	判定不可	1	－	－
全 体		2,003	36.9	23.5
圏域別	行橋	657	38.8	23.9
	今元	214	36.9	22.0
	仲津	292	39.7	27.1
	泉	313	31.6	20.8
	中京	215	39.1	24.2
	長峽	311	34.1	22.5
	無回答	1	－	－
全 体		2,003	36.9	23.5
小学校区別	行橋	243	36.2	23.9
	行橋南	233	39.1	24.0
	椿市	52	32.7	17.3
	稗田	98	36.7	19.4
	延永	259	34.4	23.6
	今川	117	41.0	28.2
	泉	313	31.6	20.8
	今元	179	36.3	22.3
	蓑島	35	40.0	20.0
	仲津	292	39.7	27.1
	行橋北	181	42.0	23.8
	無回答	1	－	－

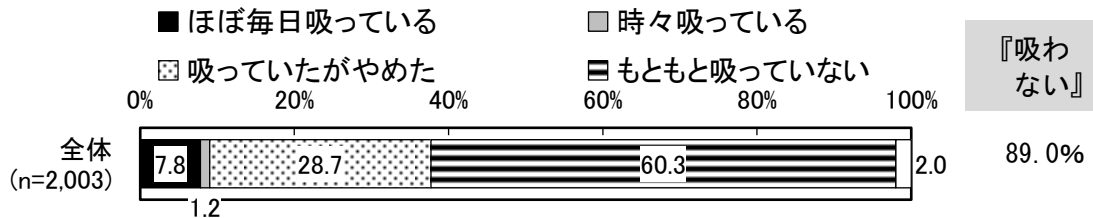
(4) 飲酒・喫煙の状況

問7(5) お酒は飲みますか。
問7(6) タバコは吸っていますか。

図表－93 飲酒の頻度



図表－94 喫煙の頻度



飲酒の頻度は「もともと飲まない」(31.7%)の割合が最も高く、次いで「ほとんど飲まない」(27.0%)となっており、これらを合わせると『飲まない』人が58.7%となっている。

喫煙の頻度でも、「もともと吸っていない」(60.3%)の割合が最も高く、次いで「吸っていたがやめた」(28.7%)となっており、これらを合わせると『吸わない』人が89.0%となっている。

性・年齢別にみると、飲酒の頻度は女性より男性で高く、男性では「ほぼ毎日飲む」が38.9%を占める。喫煙の頻度も女性より男性で高く、男性では「ほぼ毎日吸っている」が14.3%を占める。

図表－95 性・年齢別 飲酒の頻度、喫煙の頻度

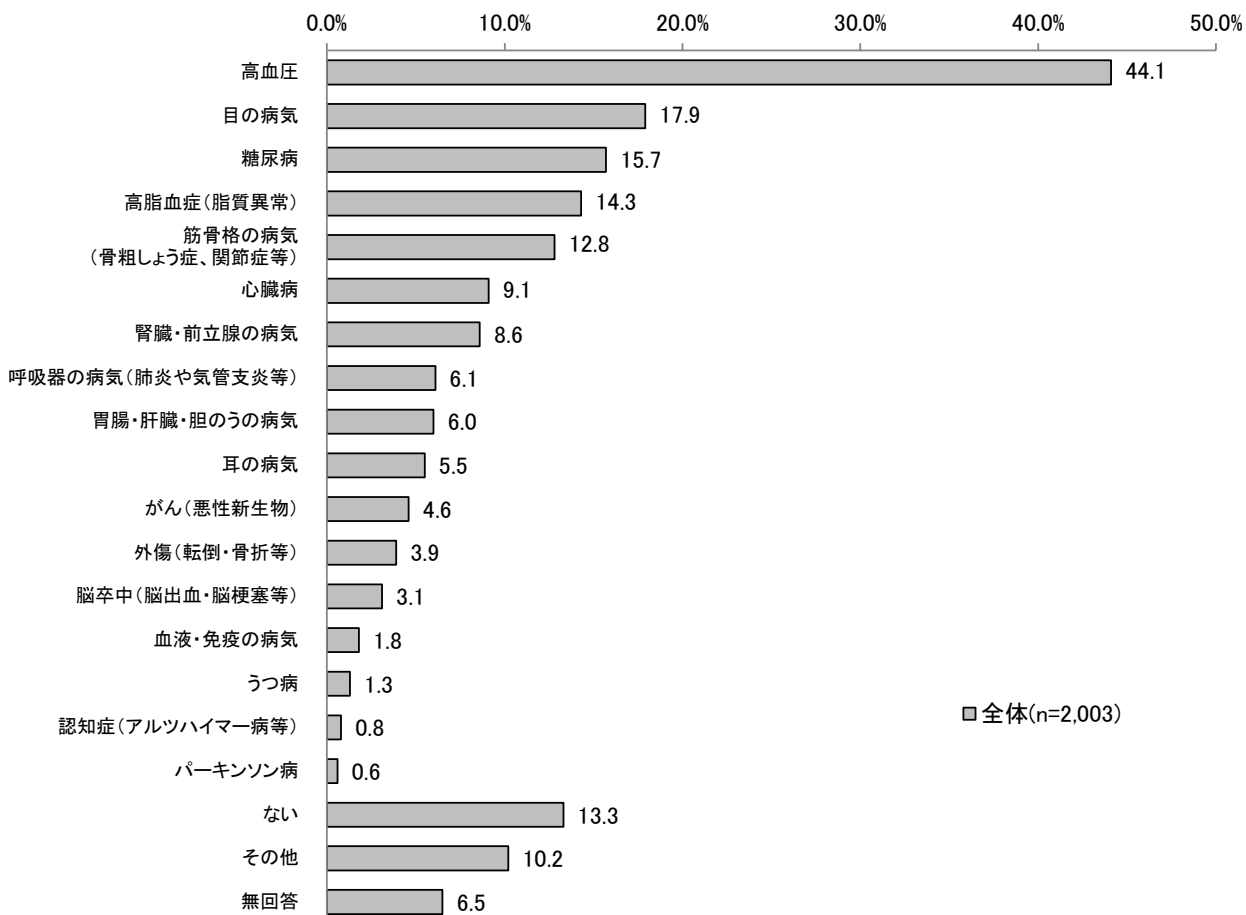
単位: %

		調 査 数 「人」	飲酒の頻度					喫煙の頻度				
			ほ ぼ 毎 日 飲 む	時 々 飲 む	ほと んど ない	も と も と ない	無 回 答	吸 っ て い る	時 々 吸 っ て い る	吸 っ て い た が や め た	も と も と い ない	無 回 答
全 体		2,003	22.0	17.2	27.0	31.7	2.1	7.8	1.2	28.7	60.3	2.0
性・年 齢 別	【男性 計】	912	38.9	18.8	23.9	15.6	2.9	14.3	1.8	54.4	26.8	2.9
	65～69歳	180	43.3	21.7	22.2	11.1	1.7	21.7	3.3	49.4	24.4	1.1
	70～74歳	289	39.1	19.0	24.2	15.6	2.1	19.0	1.0	56.1	21.5	2.4
	75～79歳	220	38.6	20.5	22.3	15.5	3.2	9.5	1.4	58.6	27.3	3.2
	80～84歳	136	35.3	14.7	26.5	17.6	5.9	5.9	2.2	52.2	33.8	5.9
	85歳以上	87	35.6	13.8	26.4	21.8	2.3	8.0	1.1	51.7	36.8	2.3
	【女性 計】	1,091	7.8	15.9	29.6	45.2	1.5	2.4	0.7	7.1	88.4	1.4
	65～69歳	186	10.2	23.1	34.9	31.7	—	5.9	0.5	9.7	83.3	0.5
	70～74歳	311	7.7	19.3	32.2	39.5	1.3	2.3	1.3	9.6	85.9	1.0
	75～79歳	258	10.1	14.7	26.0	47.7	1.6	3.1	0.4	5.8	89.9	0.8
	80～84歳	203	4.9	9.9	28.1	55.2	2.0	—	0.5	4.4	92.6	2.5
	85歳以上	133	4.5	9.8	25.6	57.1	3.0	—	0.8	4.5	91.7	3.0
無回答	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	

(5) 疾病の状況

問7 (7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (いくつでも)

図表-96 現在治療中、または後遺症のある病気



現在治療中、または後遺症のある病気では「高血圧」(44.1%)の割合が最も高く、次いで「目の病気」(17.9%)、「糖尿病」(15.7%)、「高脂血症(脂質異常)」(14.3%)、「筋骨格の病気(骨粗しょう症、関節症等)」(12.8%)が続いている。

治療中・後遺症のある病気のうち、主なものについて、性・年齢別及び総合事業該当状況別に該当者の割合（有病率）をみている。

「高血圧」の有病率は、男性45.2%、女性43.3%で男性の割合が高くなっている。
総合事業該当状況別にみると、一般高齢者が42.3%、総合事業対象者で47.8%となっている。

「糖尿病」の有病率は、男性20.1%、女性12.0%で男性の割合が高くなっている。
総合事業該当状況別にみると、一般高齢者が14.4%、総合事業対象者18.3%となっている。

「筋骨格の病気」の有病率は、男性4.9%、女性19.4%で女性の割合が高くなっている。
総合事業該当状況別にみると、一般高齢者が8.4%、総合事業対象者で21.8%となっている。

「心臓病」の有病率は、男性12.4%、女性6.4%で男性の割合が高くなっている。
総合事業該当状況別にみると、一般高齢者が8.0%、総合事業対象者で11.4%となっている。

「がん」の有病率は、男性5.0%、女性4.3%で男性の割合が若干高くなっている。
総合事業該当状況別にみると、一般高齢者が3.7%、総合事業対象者で6.5%となっている。

「脳卒中」の有病率は、男性4.4%、女性2.0%で男性の割合が高くなっている。
総合事業該当状況別にみると、一般高齢者が2.2%、総合事業対象者で5.0%となっている。

「認知症」の有病率は、男性1.1%、女性0.5%で女性の割合が若干高くなっている。
総合事業該当状況別にみると、一般高齢者が0.2%、総合事業対象者で2.0%となっている。

図表－97 性・年齢別、該当状況別 治療中・後遺症のある病気（主要7疾病）

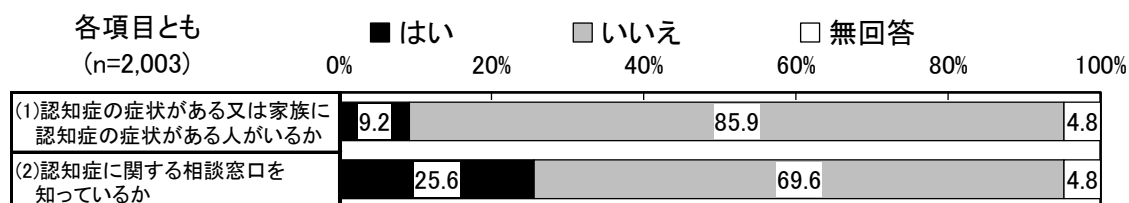
		単位：%								
		調 査 数 「人」	高 血 圧	糖 尿 病	等し よう 症、 関節 症	筋 骨 格の 病 気（ 骨粗 鬆 症）	心 臓 病	が ん （悪 性新 生物 ）	脳 卒 中 （脳 出 血・ 脳 梗 塞等 ）	認 知 症（ アル ツ ハ イ マ ー 病 等 ）
全 体		2,003	44.1	15.7	12.8	9.1	4.6	3.1	0.8	
性・ 年 齢 別	【男性 計】	912	45.2	20.1	4.9	12.4	5.0	4.4	1.1	
	65～69歳	180	39.4	22.8	7.2	5.0	4.4	5.6	—	
	70～74歳	289	44.6	21.5	1.7	11.4	3.1	4.8	0.7	
	75～79歳	220	59.5	20.5	3.6	16.4	5.0	2.7	0.9	
	80～84歳	136	35.3	16.2	7.4	11.0	8.8	4.4	2.9	
	85歳以上	87	37.9	14.9	10.3	23.0	6.9	4.6	2.3	
	【女性 計】	1,091	43.3	12.0	19.4	6.4	4.3	2.0	0.5	
	65～69歳	186	35.5	10.2	16.1	2.7	5.4	1.1	—	
	70～74歳	311	37.9	11.6	17.7	4.8	4.2	1.9	0.6	
	75～79歳	258	44.6	13.2	15.9	5.0	2.7	1.6	0.8	
	80～84歳	203	50.7	13.8	23.6	8.9	4.4	3.0	0.5	
	85歳以上	133	52.6	10.5	28.6	14.3	6.0	3.0	0.8	
無回答	—	—	—	—	—	—	—	—		
全 体		2,003	44.1	15.7	12.8	9.1	4.6	3.1	0.8	
状 況 別	該 当 一 般	1,337	42.3	14.4	8.4	8.0	3.7	2.2	0.2	
	総 合 事 業	665	47.8	18.3	21.8	11.4	6.5	5.0	2.0	
	判 定 不 可	1	—	—	—	—	—	—	—	

8. 自身や家族の認知症の有無や認知症に関する相談窓口の把握について

問8（1）認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか

問8（2）認知症に関する相談窓口を知っていますか

図表－98 認知症について



認知症についてみると、①『認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか』では「はい」が9.2%、②『認知症に関する相談窓口を知っていますか』では、「はい」が25.6%となっている。

性・年齢別にみると、②『認知症に関する相談窓口を知っていますか』では、85歳以上を除く全ての年齢層で女性の方が男性に比べて割合が高くなっている。

総合事業該当状況別でみると、①『認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか』では総合事業対象者（12.5%）の割合が高く、②『認知症に関する相談窓口を知っていますか』では一般高齢者（28.1%）の割合が高くなっている。

圏域別にみると、①『認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか』では仲津（9.9%）の割合が高く、②『認知症に関する相談窓口を知っていますか』では今元（28.0%）の割合が高くなっている。

小学校区別にみると、①『認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか』では行橋南校区（10.7%）の割合が高く、②『認知症に関する相談窓口を知っていますか』では今元校区（29.1%）の割合が高くなっている。

図表－99 性・年齢別、該当状況別、圏域別 小学校区別 認知症について

		単位: %		
	調査数 「人」	①認知症の 家族に 症状が ある人 がいますか	②認知症に 関する 相談窓 口を知 っている 割合	
全 体		2,003	9.2	25.6
性・年 齢 別	【男性 計】	912	8.6	23.0
	65～69歳	180	10.6	24.4
	70～74歳	289	6.6	20.4
	75～79歳	220	7.3	25.5
	80～84歳	136	11.8	25.0
	85歳以上	87	9.2	19.5
	【女性 計】	1,091	9.8	27.7
	65～69歳	186	10.2	32.3
	70～74歳	311	10.3	28.0
	75～79歳	258	10.1	30.2
	80～84歳	203	8.9	25.6
	85歳以上	133	9.0	18.8
無回答	－	－	－	
全 体		2,003	9.2	25.6
該 当 状 況 別	一般	1,337	7.6	28.1
	総合事業 判定不可	665	12.5	20.5
		1	－	－
全 体		2,003	9.2	25.6
圏 域 別	行橋	657	9.4	25.9
	今元	214	8.4	28.0
	仲津	292	9.9	25.0
	泉	313	9.3	24.6
	中京	215	9.3	23.3
	長峡	311	8.7	26.4
	無回答	1	－	－
全 体		2,003	9.2	25.6
小 学 校 区 別	行橋	243	8.6	23.0
	行橋南	233	10.7	27.9
	椿市	52	7.7	26.9
	稗田	98	10.2	25.5
	延永	259	8.9	26.3
	今川	117	8.5	21.4
	泉	313	9.3	24.6
	今元	179	8.4	29.1
	蓑島	35	8.6	22.9
	仲津	292	9.9	25.0
	行橋北	181	8.8	27.1
	無回答	1	－	－

令和6年度

日常生活圏域二一ズ調査
【調査票】



調査票記入後は、3つ折りにし同封の返信用封筒に入れて、
12月27日(金)までに投函してください。

記 入 日	令和 年 月 日
調査票を記入されたのはどなたですか。○をつけてください。	
1. あて名のご本人が記入	
2. ご家族が記入 (あて名のご本人からみた続柄：_____)	
3. その他（具体的に：_____）	

※以下はあて名のご本人の情報を記入してください



電 話 番 号			
年 齢 ・ 性 別	() 歳	男 ・ 女	
生 年 月 日	大 正 ・ 昭 和	年 月 日	

行橋市介護保険課

は じ め に

皆様にはますますご健勝のこととお慶び申し上げます。

日頃から行橋市の介護保険事業にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

高齢者の皆様が健康で活力あふれる生活を送るためには、病気の予防だけではなく、徐々に忍び寄る老化のサインをいち早く発見し、適切に対応することが大切です。

そのため、行橋市では毎年市内にお住まいで65歳以上のうち、3,000人の方に対して、お住まいの地域ごとの「高齢者の健康づくりや介護予防の必要性に関する実態調査」を実施しています。これは「どこに、」「どのような支援を必要としている方が、」「どの程度生活されているか。」を把握するため、厚生労働省が示した調査項目方法で実施するものです。

なお、収集した個人情報は健康情報という利用者様にとって大切な個人情報であるという認識にたち、行橋市個人情報保護条例に基づき適正に取り扱いますことをお約束いたしますので、ご同意の上、調査にご協力くださるようお願い申し上げます。

記 入 に 際 し て の お 願 い

- 1.この調査の対象者は、令和6年10月1日現在、65歳以上の方です。
- 2.ご回答にあたっては表紙ラベルのあて名のご本人についてお答えいただけますが、ご家族の方がご本人の代わりに回答されたり、ご一緒に回答されてもかまいません。
- 3.ご回答にあたっては質問をよくお読みいただき、該当する番号を○で囲み、数字を記入する欄は右詰め（例、

0	6	2
---	---	---

 kg）でご記入ください。
- 4.この調査で使う用語の意味は、以下の通りです。
介護…介護保険のサービスを受けている場合のほか、認定を受けていない場合でも、常時ご家族などの援助を受けている状態
介助…ご自分の意思により、一時的に他人に援助を頼んでいる状態
- 5.この調査についてのお問い合わせは下記までお願いいたします。
- 6.調査票記入後は、3つ折りで同封の返信用封筒に入れてお送りください。

（お問い合わせ先） 行橋市介護保険課高齢者支援係

[電話]0930-25-1111 （内線）1175

問 1	あなたのご家族や生活状況について	
(1) 家族構成をお教えてください		
1. 1 人暮らし 2. 夫婦 2 人暮らし (配偶者 65 歳以上) 3. 夫婦 2 人暮らし (配偶者 64 歳以下) 4. 息子・娘との 2 世帯 5. その他		
(2) あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか		
1. 介護・介助は必要ない 2. 何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない 3. 現在、何らかの介護を受けている (介護認定を受けずに家族などの介護を受けている場合も含む)		
【(2) において「1. 介護・介助は必要ない」以外の方のみ】		
①介護・介助が必要になった主な原因はなんですか (いくつでも)		
1. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等) 2. 心臓病 3. がん (悪性新生物) 4. 呼吸器の病気 (肺炎等) 5. 関節の病気 (リウマチ等) 6. 認知症 (アルツハイマー病等) 7. パーキンソン病 8. 糖尿病 9. 腎疾患 (透析) 10. 視覚・聴覚障害 11. 骨折・転倒 12. 脊椎損傷 13. 高齢による衰弱 14. その他 () 15. 不明		
【(2) において「3. 現在、何らかの介護を受けている」の方のみ】		
②主にどなたの介護、介助を受けていますか (いくつでも)		
1. 配偶者 (夫・妻) 2. 息子 3. 娘 4. 子の配偶者 5. 孫 6. 兄弟・姉妹 7. 介護サービスのヘルパー 8. その他 ()		

(3) 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか

- | | | |
|-------------|-------------|--------|
| 1. 大変苦しい | 2. やや苦しい | 3. ふつう |
| 4. ややゆとりがある | 5. 大変ゆとりがある | |

(4) お住まいは一戸建て、または集合住宅のどちらですか

- | | |
|---|---|
| 1. 持家（一戸建て） | 2. 持家（集合住宅） |
| 3. <small>こうえいちんたいじゅうたく</small>
公営賃貸住宅 | 4. <small>みんかんちんたいじゅうたく</small>
民間賃貸住宅（一戸建て） |
| 5. <small>みんかんちんたいじゅうたく</small>
民間賃貸住宅（集合住宅） | 6. 借家 |
| 7. その他 | |

問2 からだを動かすことについて

(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っていますか

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっていますか

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(3) 15分位続けて歩けますか

- | | | |
|--------------|---------------|---------|
| 1. できるし、している | 2. できるけどしていない | 3. できない |
|--------------|---------------|---------|

(4) 過去1年間に転んだ経験がありますか

- | | | |
|----------|---------|-------|
| 1. 何度もある | 2. 1度ある | 3. ない |
|----------|---------|-------|

(5) 転倒に対する不安は大きいですか

1. とても不安である 2. やや不安である 3. あまり不安でない 4. 不安でない

(6) 週に1回以上は外出していますか

1. ほとんど外出しない 2. 週1回 3. 週2～4回 4. 週5回以上

(7) 昨年と比べて外出の回数が減っていますか

1. とても減っている 2. 減っている
3. あまり減っていない 4. 減っていない

(8) 外出を控えていますか

1. はい 2. いいえ

【(8)で「1. はい」(外出を控えている)の方のみ】

①外出を控えている理由は、次のどれですか(いくつでも)

1. 病気 2. 障害(脳卒中^{しょうがい のうそっちゅう}の後遺症^{こういしょう}など)
3. 足腰などの痛み 4. トイレの心配(失禁など)
5. 耳の障害(聞こえの問題など) 6. 目の障害
7. 外での楽しみがない 8. 経済的に出られない
9. 交通手段がない 10. その他()

(9) 外出する際の移動手段は何ですか (いくつでも)

- | | | |
|-----------------|----------------------------------|--------|
| 1. 徒歩 | 2. 自転車 | 3. バイク |
| 4. 自動車 (自分で運転) | 5. 自動車 (人に乗せてもらう) | 6. 電車 |
| 7. 路線バス | 8. 病院や施設のバス | 9. 車いす |
| 10. 電動車いす (カート) | 11. 歩行器・シルバーカー | |
| 12. タクシー | 13. その他 () | |

問3 食べることについて

(1) 身長・体重

身長 cm

体重 kg

(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなりましたか

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(3) お茶や汁物等でむせることがありますか

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(4) 口の渇きが気になりますか

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(5) 歯磨き (人にやってもらう場合も含む) を毎日していますか

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(6) 歯の数と入れ歯の利用状況をお教えてください (成人の歯の総本数は、親知らずを含めて 32 本です)
1. 自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用 2. 自分の歯は 20 本以上、入れ歯の利用なし
3. 自分の歯は 19 本以下、かつ入れ歯を利用 4. 自分の歯は 19 本以下、入れ歯の利用なし
①噛み合わせは良いですか
1. はい 2. いいえ
②【(6) で「1. 自分の歯は 20 本以上、かつ入れ歯を利用」「3. 自分の歯は 19 本以下、 かつ入れ歯を利用」の方のみ】 毎日入れ歯の手入れをしていますか
1. はい 2. いいえ
(7) 6 か月間で 2 ～ 3 kg 以上の体重減少がありましたか
1. はい 2. いいえ
(8) どなたかと食事をともにする機会がありますか
1. 毎日ある 2. 週に何度がある 3. 月に何度がある
4. 年に何度がある 5. ほとんどない

問4 毎日の生活について

(1) 物忘れが多いと感じますか	
1. はい	2. いいえ
(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけることをしていますか	
1. はい	2. いいえ

(3) 今日が何月何日かわからない時がありますか

1. はい

2. いいえ

(4) バスや電車を使って1人で外出していますか（自家用車でも可）

1. できるし、している

2. できるけどしていない

3. できない

(5) 自分で食品・日用品の買物をしていますか

1. できるし、している

2. できるけどしていない

3. できない

(6) 自分で食事の用意をしていますか

1. できるし、している

2. できるけどしていない

3. できない

(7) 自分で請求書の支払いをしていますか

1. できるし、している

2. できるけどしていない

3. できない

(8) 自分で預貯金の出し入れをしていますか

1. できるし、している

2. できるけどしていない

3. できない

(9) 年金などの書類（役所や病院などに出す書類）が書けますか

1. はい

2. いいえ

(10) 新聞を読んでいますか

1. はい

2. いいえ

(11) 本や雑誌を読んでいますか

1. はい

2. いいえ

(12) 健康についての記事や番組に関心がありますか	
1. はい	2. いいえ
(13) 友人の家を訪ねていますか	
1. はい	2. いいえ
(14) 家族や友人の相談にのっていますか	
1. はい	2. いいえ
(15) 病人を見舞うことができますか	
1. はい	2. いいえ
(16) 若い人に自分から話しかけることがありますか	
1. はい	2. いいえ
(17) 趣味はありますか	
1. 趣味あり	_____ ()
2. 思いつかない	
(18) 生きがいがありますか	
1. 生きがいあり	_____ ()
2. 思いつかない	

問5 地域での活動について

(1) 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか

※① - ⑧それぞれに回答してください

	週4回 以上	週2 ～3回	週1回	月1 ～3回	年に 数回	参加して いない
① ボランティアのグループ	1	2	3	4	5	6
② スポーツ関係のグループやクラブ	1	2	3	4	5	6
③ 趣味関係のグループ	1	2	3	4	5	6
④ 学習・教養サークル	1	2	3	4	5	6
⑤ いきいきサロン、 交流ステーション等 介護予防のための通 いの場	1	2	3	4	5	6
⑥ 老人クラブ	1	2	3	4	5	6
⑦ 町内会・自治会	1	2	3	4	5	6
⑧ 収入のある仕事	1	2	3	4	5	6

(2) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に参加者として参加してみたいと思いますか

1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している

(3) 地域住民の有志によって、健康づくり活動や趣味等のグループ活動を行って、いきいきした地域づくりを進めるとしたら、あなたはその活動に企画・運営（お世話役）として参加してみたいと思いますか

1. 是非参加したい 2. 参加してもよい 3. 参加したくない 4. 既に参加している

問 6	たすけあいについて あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします		
(1) あなたの心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人（いくつでも）			
1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人 7. その他（ ） 8. そのような人はいない			
(2) 反対に、あなたが心配事や愚痴（ぐち）を聞いてあげる人（いくつでも）			
1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人 7. その他（ ） 8. そのような人はいない			
(3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人（いくつでも）			
1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人 7. その他（ ） 8. そのような人はいない			
(4) 反対に、看病や世話をしてあげる人（いくつでも）			
1. 配偶者 2. 同居の子ども 3. 別居の子ども 4. 兄弟姉妹・親戚・親・孫 5. 近隣 6. 友人 7. その他（ ） 8. そのような人はいない			

(5) 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手を教えてください
(いくつでも)

- | | |
|---------------------|-----------------|
| 1. 自治会・町内会・老人クラブ | 2. 社会福祉協議会・民生委員 |
| 3. ケアマネジャー | 4. 医師・歯科医師・看護師 |
| 5. 地域包括支援センター・役所・役場 | 6. その他 |
| 7. そのような人はいない | |

(6) 友人・知人と会う頻度はどれくらいですか。

- | | | |
|------------|------------|------------|
| 1. 毎日ある | 2. 週に何度かある | 3. 月に何度かある |
| 4. 年に何度かある | 5. ほとんどない | |

(7) この1か月間、何人の友人・知人と会いましたか。
同じ人には何度会っても1人と数えることとします。

- | | | |
|------------|----------|---------|
| 1. 0人(いない) | 2. 1～2人 | 3. 3～5人 |
| 4. 6～9人 | 5. 10人以上 | |

(8) よく会う友人・知人はどんな関係の人ですか。(いくつでも)

- | | | |
|-------------------|---------------|------------|
| 1. 近所・同じ地域の人 | 2. 幼なじみ | 3. 学生時代の友人 |
| 4. 仕事での同僚・元同僚 | 5. 趣味や関心が同じ友人 | |
| 6. ボランティア等の活動での友人 | | |
| 7. その他 | 8. いない | |

問7 健康について

(1) 現在のあなたの健康状態はいかがですか

1. とてもよい 2. まあよい 3. あまりよくない 4. よくない

(2) あなたは、現在どの程度幸せですか
(「とても不幸」を0点、「とても幸せ」を10点として、ご記入ください)

とても 不幸											とても 幸せ
0点	1点	2点	3点	4点	5点	6点	7点	8点	9点	10点	

(3) この1か月間、気分が沈んだり、ゆううつな気持ちになったりすることがありましたか

1. はい 2. いいえ

(4) この1か月間、どうしても物事に対して興味がわかない、あるいは心から楽しめない感じがよくありましたか

1. はい 2. いいえ

(5) お酒は飲みますか

1. ほぼ毎日飲む 2. 時々飲む 3. ほとんど飲まない
4. もともと飲まない

(6) タバコは吸っていますか

1. ほぼ毎日吸っている 2. 時々吸っている 3. 吸っていたがやめた
4. もともと吸っていない

(7) 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか (いくつでも)

- | | | |
|----------------------|--------------------------|-------------------|
| 1. ない | 2. 高血圧 | 3. 脳卒中 (脳出血・脳梗塞等) |
| 4. 心臓病 | 5. 糖尿病 | 6. 高脂血症 (脂質異常) |
| 7. 呼吸器の病気 (肺炎や気管支炎等) | | 8. 胃腸・肝臓・胆のうの病気 |
| 9. 腎臓・前立腺の病気 | 10. 筋骨格の病気 (骨粗しょう症、関節症等) | |
| 11. 外傷 (転倒・骨折等) | 12. がん (悪性新生物) | 13. 血液・免疫の病気 |
| 14. うつ病 | 15. 認知症 (アルツハイマー病等) | 16. パーキンソン病 |
| 17. 目の病気 | 18. 耳の病気 | 19. その他 () |

問8 認知症にかかる相談窓口の把握について

(1) 認知症の症状がある又は家族に認知症の症状がある人がいますか

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

(2) 認知症に関する相談窓口を知っていますか

- | | |
|-------|--------|
| 1. はい | 2. いいえ |
|-------|--------|

■■■以上で調査は終了です。ご協力ありがとうございました■■■

2. 生活機能等の評価・判定方法

本調査の分析については、国の「介護予防・日常生活圏域二一ズ調査実施の手引き」における分析手法を参考としている。

(1) 基本チェックリストによる介護予防事業対象者及びリスク該当者

【介護予防事業対象者】

- ・ 要介護状態等となるおそれの高い状態にある65歳以上の者。
- ・ 介護予防事業対象者の決定方法は次のとおり。

基本チェックリスト20項目について、以下①～④のいずれかに該当する者

①虚弱・・・うつ予防・支援関係の項目を除く20項目のうち10項目以上に該当

問番号	内容	回答			
問2	(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか	0 できるし、している	0 できるけどしていない	1 できない	
問2	(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているか	0 できるし、している	0 できるけどしていない	1 できない	
問2	(3) 15分位続けて歩いているか	0 できるし、している	0 できるけどしていない	1 できない	
問2	(4) 過去1年間に転んだ経験があるか	1 何度もある	1 1度ある	0 ない	
問2	(5) 転倒に対する不安は大きい	1 とても不安である	1 やや不安である	0 あまり不安でない	0 不安でない
問2	(6) 週に1回以上は外出しているか	1 ほとんど外出しない	1 週1回	0 週に2～4回	0 週5回以上
問2	(7) 昨年と比べて外出の回数が減っているか	1 とても減っている	1 減っている	0 あまり減っていない	0 減っていない
問3	(1) 身長・体重 BMI	BMI<18.5 なら「1」点			
問3	(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなったか	1 はい	0 いいえ		
問3	(3) お茶や汁物等でむせることがあるか	1 はい	0 いいえ		
問3	(4) 口の渇きが気になるか	1 はい	0 いいえ		
問3	(7) 6か月間で2～3kg以上の体重減少があったか	1 はい	0 いいえ		
問4	(1) 周りの人から物忘れがあるといわれるか	1 はい	0 いいえ		
問4	(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけているか	0 はい	1 いいえ		
問4	(3) 今日が何月何日かわからない時があるか	1 はい	0 いいえ		
問4	(4) バスや電車で使って1人で外出しているか	0 できるし、している	0 できるけどしていない	1 できない	
問4	(5) 自分で食品・日用品の買物をしているか	0 できるし、している	0 できるけどしていない	1 できない	
問4	(8) 自分で預貯金の出し入れをしているか	0 できるし、している	0 できるけどしていない	1 できない	
問4	(13) 友人の家を訪ねているか	0 はい	1 いいえ		
問4	(14) 家族や友人の相談にのっているか	0 はい	1 いいえ		

②運動器・・・運動器の機能向上 5 項目のうち 3 項目以上に該当

問番号	内容	回答			
問2	(1) 階段を手すりや壁をつたわずに昇っているか	0 できるし、 している	0 できるけど していない	1 できない	
問2	(2) 椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているか	0 できるし、 している	0 できるけど していない	1 できない	
問2	(3) 15分位続けて歩いているか	0 できるし、 している	0 できるけど していない	1 できない	
問2	(4) 過去 1 年間に転んだ経験があるか	1 何度もある	1 1度ある	0 ない	
問2	(5) 転倒に対する不安は大きい	1 とても不安 である	1 やや不安 である	0 あまり不安 でない	0 不安でない

③栄養・・・栄養改善 2 項目の全てに該当

問番号	内容	回答			
問3	(1) 身長・体重 BMI	BMI < 18.5 なら「1」点			
問3	(7) 6 か月間で 2 ～ 3 kg 以上の体重減少があったか	1 はい	0 いいえ		

④口腔・・・口腔機能の向上 3 項目のうち 2 項目以上に該当

問番号	内容	回答			
問3	(2) 半年前に比べて固いものが食べにくくなったか	1 はい	0 いいえ		
問3	(3) お茶や汁物等でむせることがあるか	1 はい	0 いいえ		
問3	(4) 口の渇きが気になるか	1 はい	0 いいえ		

[リスク該当者]

- ・総合事業対象者の要件には入っていないが、閉じこもり、認知症、うつ傾向の高い者。
- ・リスク対象者の決定方法は次のとおり。

①閉じこもり予防・・・閉じこもり予防・支援項目（問 2（6））に該当

問番号	内容	回答			
問2	(6) 週に 1 回以上は外出しているか	1 ほとんど 外出しない	1 週1回	0 週に2～4回	0 週5回以上

②認知症予防・・・認知症予防・支援に関する 3 項目のいずれかに該当

問番号	内容	回答			
問4	(1) 物忘れが多いと感じるか	1 はい	0 いいえ		
問4	(2) 自分で電話番号を調べて、電話をかけているか	0 はい	1 いいえ		
問4	(3) 今日が何月何日かわからない時があるか	1 はい	0 いいえ		

③うつ予防・・・うつ予防・支援に関する 2 項目のいずれかに該当

問番号	内容	回答			
問7	(3) ゆうつな気持ちになったりすることがある	1 はい	0 いいえ		
問7	(4) 心から楽しめない感じがよくある	1 はい	0 いいえ		

(2) 老研式活動能力指標による評価

老研式活動能力指標は、日常生活動作（ADL）の測定ではとらえられない高次の生活能力を評価するために開発された13項目の評価指標で、在宅高齢者の生活機能の評価に適したものと考えられている。

なお、手段的自立度、知的能動性、社会的役割の3つの下位尺度について評価することも可能となっている。本調査では、各尺度ごとに1つでも「できない」もしくは「いいえ」と回答した方について「低下者」と分類し集計を行っている。

【手段的自立度（IADL）】

問番号		内容	回答		
問4	(4)	バスや電車を使って1人で外出しているか	1 できるし、している	1 できるけどしていない	0 できない
問4	(5)	自分で食品・日用品の買物をしているか	1 できるし、している	1 できるけどしていない	0 できない
問4	(6)	自分で食事の用意をしているか	1 できるし、している	1 できるけどしていない	0 できない
問4	(7)	自分で請求書の支払をしているか	1 できるし、している	1 できるけどしていない	0 できない
問4	(8)	自分で預貯金の出し入れをしているか	1 はい	0 いいえ	

【知的能動性】

問番号		内容	回答		
問4	(9)	年金などの書類が書けるか	1 はい	0 いいえ	
問4	(10)	新聞を読んでいるか	1 はい	0 いいえ	
問4	(11)	本や雑誌を読んでいるか	1 はい	0 いいえ	
問4	(12)	健康についての記事や番組に関心があるか	1 はい	0 いいえ	

【社会的役割】

問番号		内容	回答		
問4	(13)	友人の家を訪ねているか	1 はい	0 いいえ	
問4	(14)	家族や友人の相談にのっているか	1 はい	0 いいえ	
問4	(15)	病人を見舞うことができるか	1 はい	0 いいえ	
問4	(16)	若い人に自分から話しかけることがあるか	1 はい	0 いいえ	

令和6年度
日常生活圏域ニーズ調査
調査結果報告書

令和7年3月

発行：行橋市 福祉部 介護保険課

〒824-8601 福岡県行橋市中央1丁目1番1号

TEL：0930-25-1111

FAX：0930-26-3017
